

2019年度

シ ラ バ ス

桐生大学 短期大学部

アート・デザイン学科

講義コード	40010001
講義名	英会話
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	4 時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C030
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

主に、英語の日常会話を聞き取って、理解する練習をします。英語を話せるようにするには、まず聞き取れなくてはなりません。発音やイントネーションだけでは不十分です。聞き取った英語の文法や語法の意味内容を瞬時に理解すること、つまり、英文を読むときにするような訳読は、リスニングの場合、あり得ないわけです。少なくとも、これが英語の聞き取りで最初にひっかかるところです。それができるようになるためにはなるべく多くの英語を聞き取り、話す練習しかありません。この講義はその練習のきっかけ作りを目指します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

口語英語を聞き取り、話せるようにする。デザイナーやアーティストとして作品などを説明できるような英語力の下地を作ります。

到達目標

英語でコミュニケーションを図るために必要不可欠な最低限のスキル、例えば、日常生活での英語表現や海外旅行で観光をするときのやりとりなどを聞き分け、理解する。TOEICで450点以上の英語力を身に付ける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	導入	英語を聞き取れるようにするためにはどうすべきか考えます	
第2回	英語の聞き取りと会話	Hi, is this seat taken?	予習：30分程度 復習：30分程度
第3回	〃	That's a lovely T-shirt.	予習：30分程度 復習：30分程度
第4回	〃	Pardon?	予習：30分程度 復習：30分程度
第5回	〃	I really enjoyed it.	予習：30分程度

			復習：30分程度
第6回	//	Is that right?	予習：30分程度 復習：30分程度
第7回	//	How about you?	予習：30分程度 復習：30分程度
第8回	//	Thank you so much.	予習：30分程度 復習：30分程度
第9回	//	Excuse me, but...	予習：30分程度 復習：30分程度
第10回	//	This is my fault.	予習：30分程度 復習：30分程度
第11回	//	I'd rather not say.	予習：30分程度 復習：30分程度
第12回	//	Could you tell me the way to the station?	予習：30分程度 復習：30分程度
第13回	//	How about next Sunday?	予習：30分程度 復習：30分程度
第14回	//	I'll think about it.	予習：30分程度 復習：30分程度
第15回	//	That's a good idea, but...	予習：30分程度 復習：30分程度

教科書

村田和代、他 (2016). 今まで気づけなかった会話のコツ. 桐原書店

参考書

教室で適宜指示します。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上：試験の点数(80%)と教室での発言やその内容など(20%)。

課題等に対する フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント

予習・復習用の音声教材を用意します。それを聞き取って出席することを前提に講義をします。試験問題はそこから出ます。音声教材をしっかりと聞いておいてください。完全に聞き取れる必要はありません。聞き取れなかったところをチェックして講義に臨んでください。その後、聞き取ったと同時に話の内容が英語のままで理解できるまで何度も聞き直してください。

オフィス・アワー

基本的には、私の空いた時間ならいつでも来室してください。ただ、それなりの話をするつもりなら、予約を取ってください。

講義コード	40020001	
講義名	文章と表現	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
代表曜日	木曜日	
代表時限	3 時限	
区分	基礎科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C010	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 野口 周一	指定なし

授業の概要と教育目標

世の中の不幸な出来事は、たいていコミュニケーション不足に原因があります。「書くこと」と「話すこと」はコミュニケーションの主要な手段です。とすれば、「書く能力」と「話す能力」を磨かないと、不幸な出来事に出会う可能性が高くなります。「言語資本」という言葉があるように、言葉を操る能力は、あなたにとって重要な財産です。
また、アート・デザイン学科に学ぶあなたにとって、「自分の作品のコンセプト」を語れることは大きな意味を持ちます。
本講義は上記の能力を養う第一歩となるように学んでいきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科に学ぶ皆さんが、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、必要最小限の社会人能力を身に付けること。

到達目標

「書く能力」「話す能力」「自分の作品のコンセプトを語る」――これらができるようになること。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	授業の位置付け、進め方について説明します。 【ALについて】 まず最初に自己紹介をして、授業担当者がチェックしてみせる。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第2回	自己紹介①	自己紹介の事例を紹介し、そのポイントについて考える。 【ALについて】 事例研究を行ない、それを発表し、意見交換をする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自

			らチェックする。
第3回	自己紹介②	実際に教室で自己紹介をしてみる。 【ALについて】 自己紹介文を書き、発表し、どこに問題があるかを議論する。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第4回	自己紹介③	前回の自己紹介の反省点を踏まえて、書き直し、再度発表する。 【ALについて】 書き直した自己紹介について、意見交換をする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第5回	スピーチ①	スピーチの事例を紹介し、そのポイントについて考える。 【ALについて】 事例研究を行ない、それを発表し、意見交換をする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第6回	スピーチ②	クラスの仲間に向けて、テーマを決めてスピーチしてみよう。 【ALについて】 テーマを決めて、各自スピーチ分を書き、スピーチする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第7回	スピーチ③	クラスの仲間に向けて、テーマを決めてスピーチしてみよう。 【ALについて】 テーマを決めて、各自スピーチ分を書き、スピーチする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第8回	良い文章とは①	事例を通して、そのポイントを考える。 【ALについて】 事例研究を行ない、それを発表し、意見交換をする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第9回	良い文章とは②	自分の文章の「長所」と「欠点」についてかんがえる。 【ALについて】 自分の文章を素材に、それを発表し、意見交換をする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第10回	記憶に残る文章とは	事例を通して、そのポイントを考える。 【ALについて】 自分が取り上げた事例について発表し、意見交換をする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第11回	ストレスのない文章とは	事例を通して、そのポイントを考える。 【ALについて】 自分が取り上げた事例について発表し、意見交換をする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自

			らチェックする。
第12回	履歴書の作成 ①	事例を通して、そのポイントを考える。 【ALについて】 自分を取り上げた事例について発表し、意見交換をする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第13回	履歴書の作成 ②	何を書くか、自分にとってのポイントを決め、実際に書いてみる。 【ALについて】 実際に文章を書く。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第14回	履歴書の作成 ③	自分のポイントについて、発表し、意見交換をする。 【ALについて】 自分のポイントについて、発表し、意見交換をする。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。
第15回	履歴書の作成 ④	履歴書について、担当者が最終チェックを行なう。 【ALについて】 指摘された箇所について、担当者と質疑応答を行なう。	予習：60分 毎回のテーマについて事前準備をする。 復習：30分 各自反省点を踏まえ、自らチェックする。

教科書

特に使用しない。必要に応じてプリントを使用する。

参考書

テーマに応じて、適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上（発表内容：5割、授業への取組み姿勢：5割）

課題等に対する フィードバックの方法

原則として授業終了後に行なう。

履修のポイント

テーマを楽しむこと。義務感でやっても力はつきませんね！！

オフィス・アワー

火曜日、12：30～13：20、野口研究室

講義コード	40030001
講義名	心理学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	4 時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C011
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

ものを見ること、覚えること、考えること、泣いたり笑ったりすることなど、私たちが意識するとしなやかにかかわらず、人のあらゆる活動に心はかかわっている。心理学は、そのような私たちの心のはたらきを明らかにすることを目的としているが、そのはたらきはさまざまである。本講義では、人の心の多様なはたらきについて取り上げる。授業は講義形式で行うが、テーマによって視聴覚にうったえる試みもする予定である。なお、人の心のはたらきについての基礎知識を習得し、人に対する理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解することを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、多様な人間の特性のうち、心的特性も加味したデザイナーやアーティストとして活躍できるような基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

1. 心理学で使われる専門用語（知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求など）の意味を理解する。
2. 心理学における心の考え方・捉え方（理論）について理解する。
3. 日常的な出来事を心理学の理論に沿って理解する。
4. 人の心の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	心理学のいろいろ	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など） 心理学の系譜を概観しながら、どのようなことが明らかにされてきているのか、日常生活のトピックスを取り上げる。	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
			予習90分：教科

第2回	知覚心理学	錯視をはじめとし、見えの不思議を取り上げる。	書pp.20-34を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	学習心理学	テスト勉強で何かを覚えるだけでなく、知らず知らず身につけてしまう学習について取り上げる。	予習90分：教科書pp.34-43を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	認知心理学	記憶や思考について取り上げる。	予習90分：教科書pp.43-54を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	人格心理学	パーソナリティの理解やとらえ方について取り上げる。	予習90分：教科書pp.56-70を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	発達心理学①	発達の基本概念について取り上げる。	予習90分：教科書pp.71-83を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	発達心理学②	自分らしさを作り上げる過程から死を迎えるまでの発達について取り上げる。	予習90分：教科書pp.84-101を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	社会心理学①	対人関係における印象形成、対人魅力、恋愛について取り上げる。	予習90分：教科書pp.102-118を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	社会心理学②	人を動かす心理学について取り上げる。	予習90分：教科書pp.119-135を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	社会心理学③	援助行動と攻撃行動について取り上げる。	予習90分：教科書pp.136-148を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	健康心理学①	心の健康、適応について取り上げる。	予習90分：教科書pp.149-158を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	健康心理学②	ストレスについて取り上げる。	予習90分：教科書pp.158-163を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

第13回	健康心理学③	心の健康の維持、回復について取り上げる。	予習90分：教科書pp.164-171を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	臨床心理学	無意識の発見から明らかになった知見について取り上げる。心の病と心理療法について取り上げる。	復習90分：配布資料を見直す。
第15回	社会現象	心理学から見た社会現象について取り上げる。	予習90分：教科書pp.172-182を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

藤本忠明他 『ワークショップ心理学』 ナカニシヤ出版

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。
筆記試験40% レポート・課題30% 授業への積極性・態度30%

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習では、主に授業内容の復習として配布資料・ノートのとまとめを勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11号館第8研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

講義コード	40040001
講義名	日本国憲法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	4 時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C031
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

社会保障費の増大と消費税増税、地方自治体の消滅可能性、働き方改革など、国の課題は山積している。そんな中、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、大学生全員が選挙権を有することになってから、すでに何回かの選挙が行われている。本講座においては、私たちの生活や安全に大きな関わりをもつ国の基本法である日本国憲法を素材に、私たちの生活を考えていく予定である。

憲法の基本原理とその根底に流れる思想を学習した後、われわれの生活に深く関わりのある現代的なトピックを取り上げ、できる限りくらしとの関わりに留意しながら、主権者としての判断能力を身につけられるよう、学習していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

憲法を素材として、私たちの生活を身近な問題からグローバルなテーマまで多角的に理解できるようにする。憲法に関わる社会におけるさまざまな現象を科学的に理解し、そうした学修成果を社会で実践的に活用できるよう学修する。

到達目標

1. 憲法とは何か、また法令の基本構造、および法令における憲法の位置づけを理解する。
2. 憲法に規定されている基本的人権は何か、またその具体的内容について理解する。
3. 国の政治のしくみについて、憲法はどう規定しているかを理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	憲法の意味	現在、日本国憲法に関してどのような問題が生じているのかについて学習した後、憲法とはどのような法かを学習する。立憲主義についても学習する。	予習90分： シラバスを読み、授業計画について把握する。 復習90分： ハンドアウト第1回に記載している内容を読んで、復習する。
	日本	日本国憲法の制定過程について、第二次大戦後からGHQによる憲法案の提示、国会での審議等につ	予習90分： ハンドアウト第2回を読

第2回	国憲法の誕生	いて、VTRに沿って学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 憲法の制定過程についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	む。 復習90分：ハンドアウト第2回に記載してある内容を読んで、復習する。
第3回	日本国憲法の基本原理(1)	日本国憲法の基本原理である「国民主権」について、規定と意味について学習する。さらに、「基本的人権の尊重」に関する規定とその概要について学習する。	予習90分：ハンドアウト第3回を読む。 復習90分：ハンドアウト第3回に記載してある憲法や関連法令の条文を読んで、復習する。
第4回	日本国憲法の基本原理(2)	日本国憲法の基本原理である「平和主義」について、規定内容を学習し、さらに日本の防衛政策の現状、安保関連法制との関係について、学習する。	予習90分：ハンドアウト第4回を読む。 復習90分：ハンドアウト第4回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。
第5回	法の下の平等	憲法が保障している法の下の平等の意義・内容について学習する。現実に生じている平等をめぐる問題について、判例を素材として検討する。	予習90分：ハンドアウト第5回を読む。 復習90分：ハンドアウト第5回に記載してある憲法や関連法令の条文、判例、その他の内容を読んで、復習する。
第6回	精神的自由(1)	信教の自由を中心に学習する。なぜ認められる必要があるのか、その歴史的沿革、内容について学習する。また、政教分離原則について学習し、信教の自由に関する判例と政教分離に関する判例を素材として、学習する。	予習60分：ハンドアウト第6回を読む。 復習120分：ハンドアウト第6回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第7回	精神的自由(2)	表現の自由の意義とその内容について、学習する。また、プライバシー権との関係についても学習する。さらに、表現の自由・プライバシー権をめぐる判例を検討する。 〈アクティブ・ラーニング〉 表現の自由とプライバシー権に関する判例のうちいくつかを取り上げ、議論する。	予習60分：ハンドアウト第7回を読む。 復習120分：ハンドアウト第7回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、議論について、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第8回	法定手続きの保障 人身の自由	憲法が保障する「人身の自由」について学習した後、刑法との関係について理解する。また、犯罪と刑罰制度の概要を学習し、特に死刑制度について、その現状とそれに対する議論を検討する。 中間確認テスト(30分間)を実施する。	予習90分：ハンドアウト第8回を読む。 復習90分：ハンドアウト第8回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第9回	社会権(1)	社会権と区分される人権について学習した後、「生存権」と「労働基本権」についてその概要を学習する。	予習90分：ハンドアウト第9回を読む。 復習90分：ハンドアウト第9回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。

第10回	社会権(2)	労働者に関わる人権と「教育を受ける権利」について学習し、理解する。	予習 分：ハンドアウト第 回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第10回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。返却されたテストの誤った部分について、正解を検討しておく。
第11回	立法	国会のさまざまな権能、国権における地位について概観する。衆議院と参議院の関係、国会の意思決定過程、具体的な役割について学習する。さらに、選挙制度についても、学習する。	予習120分：ハンドアウト第11回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第11回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第12回	行政	内閣の地位・役割について、学習する。「議院内閣制」の内容とメリット、内閣総理大臣の選出方法、国务大臣の任免、さらに内閣の具体的な役割、意思決定の方法等について、主に学習する。 ※授業終了時にレポートを提出する。課題は「憲法に関するニュースもしくは課題を法学的に検討する。」A4用紙1枚以上を条件とする。	予習120分：ハンドアウト第12回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第12回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第13回	司法	裁判のしくみについて、概要を学習した後、刑事裁判で取り入れられている裁判員制度について、VTRに沿って学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 裁判員裁判に関するVTRに対するコメントを発表する。	予習60分：ハンドアウト第13回を読む。 復習120分：ハンドアウト第13回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。発表されたコメントについて、自分の意見と対照させる。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第14回	天皇・地方自治・憲法改正	憲法が規定する「象徴天皇」の地位・権能、またそれを規定している皇室典範について、学習する。また、地方自治に関する規定内容について学習し、さらに、憲法改正の手続、憲法改正に関する各政党・学界・国民の考え方について理解する。	予習60分：ハンドアウト第14回を読む。ハンドアウト8～14を確認する。 復習120分：ハンドアウト第14回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第15回	全体のまとめ	これまでの学習について、全体をまとめ、憲法を取り巻く状況とその課題について検討する。 最終確認テスト(30分間)を実施する。	予習90分：ハンドアウト8～14を確認する。 復習90分：最終確認テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

『目で見える憲法』初宿正典・大沢秀介・他 編著 (有斐閣)

参考書
『ポケット六法』 山下友信・山口厚 編集代表 （有斐閣）
成績評価の方法・基準
平常点（授業への参加度・学習態度・授業内課題等） [30%] 、レポート [30%] 、確認テスト [40%] を総合して評価。総合点50点以上で単位認定する。
課題等に対する フィードバックの方法
第8回に実施する中間確認テストの解答例と解説は、第11回の授業時に行う予定である。採点した答案は、第10回の授業時に返却する予定である。第12回に提出を義務づけたレポートについては、採点および講評記載の後、第15回の授業時に返却する予定である。第15回の最終確認テストについては、解答例及び解説を「桐生大学学生共有フォルダー」の「アート・デザイン学科1年・憲法」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。採点した答案については、希望する者には返却する。11号館3階研究室11に取りに来ること。
履修のポイント
教員免許を取得しようとする学生は、必ず履修すること。
オフィス・アワー
月・水・金曜日, 11時～15時（授業時間以外）, 11号館3階研究室11

講義コード	40050001
講義名	マーケティング
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C032
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 飯島 正義	指定なし

授業の概要と教育目標

授業では、マーケティング一般の基礎知識を学ぶとともに、サービス業に関係するマーケティングの内容についても学んでいきます。授業は講義形式で行いますが、授業内容の理解を確認するため「確認プリント」を実施する予定です。この科目は「商業施設補」の指定教科（商業一般に関する科目）の一つにもなっており、多様な社会ニーズ、変化に対応できる知識を修得していくことを目標としています。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連では、3. 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している、という項目と関連しています。本講義を通して、社会に関する多様な知識を修得していくことを目指します。

到達目標

1. マーケティングの基礎知識を修得できるようになる。
2. サービス業に関係するマーケティングについても知識を深めることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	マーケティングとは何か	オリエンテーション（授業内容、進め方、成績評価等） マーケティングとは何かについて学びます。	予習90分：シラバスをよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第2回	マーケティングの成立事情	マーケティングがアメリカで誕生した理由、また日本にどのように入ってきたのかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
	マーケティング	自社を取り巻く外部環境、自社	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復

第3回	グ戦略（１） 環境分析	について分析する内部分析について学びます。	予習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第4回	マーケティング グ戦略（２） 目標設定	自社の実績を踏まえて、どのような目標を立てたらよいかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第5回	マーケティング グ戦略（３） マーケティング グ・ミックス	製品・価格・流通・プロモーションの４つのマーケティング戦略をどのように組み合わせるかを学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第6回	マーケティング グ戦略（４） 戦略の見直し	マーケティング戦略を実施してみて、それをどのように評価し見直すかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第7回	マーケティング グ・ミックス （１）製品政策	どのような製品を開発したらよいのか、ブランドの構築・維持にはどのようなことをすべきかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第8回	マーケティング グ・ミックス （２）価格政策	どのように価格を設定したらよいかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第9回	マーケティング グ・ミックス （３）流通政策	流通経路の選択、SCM（サプライチェーン・マネジメント）について学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第10回	マーケティング グ・ミックス （４）プロモーション	プロモーション（販売促進）の手法について学びます	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第11回	事例（１）	花王（クイックルワイパーの開発とマーケティング）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第12回	事例（２）	ライオン（部屋干しトップの開発とマーケティング）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第13回	事例（３）	パイロット（消えるボールペン・フリクションボールの開発）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第14回	事例（４）	オリエンタルランド（東京ディズニーランド）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第15回	事例（５）	ユニクロとしまむら	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。

使用しません。プリント資料を配布します。
参考書
必要に応じて紹介します。
成績評価の方法・基準
単位認定50点以上 筆記試験60%、平常点（確認プリントの提出、授業への取り組みなど）40%
課題等に対する フィードバックの方法
確認プリント等については、原則として次週返却します。
履修のポイント
授業のポイントの整理・まとめを着実に積み重ねて下さい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。

講義コード	40060001
講義名	アートと数学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	4 時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C012
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

数学と美術やデザインとの関係を、数学的な視点から考えていく。そのため、この講義では作図や計算などを行いながら、数学的な知識の理解とそれが美術やデザインにどのように生かされているのかを具定例を通して見ていく。さらに広く現代の数学で話題となっていることも紹介していく。

そのため、数学的な知識の理解と美術やデザインとの関連性の理解を目標に、授業を進める。また、授業ではグループワークなどを実施し、Moodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業は、アート・デザイン学科のDP「「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している」に関連している。数学を通して、我々の生活空間を見直すことで、多面的な見方を身に付け、専門科目での「対象の理解と多様な表現」に結びついていく。

到達目標

- ・数学的な規則が人間に与える影響、芸術やデザインに与える影響を理解する
- ・自身の作品制作における表現に数学を活かすことができる

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	授業について	授業の内容、進め方、人間の感性と数学のイメージ	予習60分：シラバスを確認し、これまでの経験から数学についてのイメージを考える 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第2回	美術・デザインと数学	数学と芸術・デザイン	予習60分：芸術の歴史と数学との関連を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う

第3回	数学的デザイン	点・線・円・多角形とデザイン 課題：幾何学的模様の図形を考える	予習60分：幾何学を利用したデザインを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う、課題を考える
第4回	ゲーム理論	パラドックス、ゲーム理論	予習60分：日常生活にある論理的な考え方とは何かを考える 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第5回	統計	暮らしの中の統計	予習60分：身の回りにある数値データを見つける 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第6回	黄金比(1)	黄金比と芸術、自然(1)	予習60分：芸術と黄金比の関係を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第7回	黄金比(2)	黄金比と芸術、自然(2)	予習60分：黄金比と自然との関係を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第8回	白銀比	日本人と白銀比 課題：黄金比・白銀比を利用したデザインを考える	予習60分：白銀比と芸術・建造物との関係を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第9回	自然数・奇数	数の概念、四則演算とデザイン、自然数、奇数と日本人 【アクティブラーニングの内容】 グループワーク：数が持つイメージについて検討し、それを表現する	予習60分：慣例的に使用されている数の組合せなどを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第10回	素数	素数とリーマン予想	予習60分：素数を利用したデザインを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第11回	次元	次元と図形表現	予習60分：我々の住んでいる世界の次元について考える 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第12回	平面の数学	平面図形の移動、回転、鏡映、拡大・縮小、シンメトリー図形	予習60分：シンメトリーの図形や建造物などを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第13回	タイル張り	タイル張り、エッシャー 課題：エッシャー風繰り返しデザインを作成	予習60分：エッシャーの作品を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第14回	トポロジー	グラフ理論、2次元閉曲面、ポアンカレ予想	予習60分：ポアンカレ予想について調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
			予習60分：フラクタル図形にどのような

第15回	フラクタル図形	コッホ曲線、マンデルブロ集合	なものがあるか調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
教科書			
「デザインのための数学」牟田淳（オーム社）			
参考書			
「アートのための数学」牟田淳（オーム社）、「雪月花の数学」桜井進（祥伝社）、「数学に隠された能カーデザインの数理学」石田恭嗣（数研出版）			
成績評価の方法・基準			
単位認定50点以上。授業中の課題70%とレポート30%による評価、試験は行わない。			
課題等に対する フィードバックの方法			
課題を課し、そのフィードバックは、個別に返却もしくは、全体へのコメントという形で行うので、理解に役立ててください。			
履修のポイント			
苦手意識を持たないで、じっくりと考えることが大切です。評価は課題で行いますので、必ず提出してください。課題について自分で調べ、考えることを習慣にしてください。			
オフィス・アワー			
火曜日の昼休み。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。また、研究室は9号館3階第11研究室。			

講義コード	40070001
講義名	メディアと情報
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	3 時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C033
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

コンピュータやインターネットの発展により、我々の生活は大きく様変わりし始めた。特にコミュニケーション方法や情報表現方法の進展は、我々人間の感覚にも大きな影響を与え、誰もが持っている「表現したい」という意識を大きく揺さぶり始めている。この講義では、コンピュータグラフィックスなどの情報処理技術、インターネットなどの通信技術の発展によってもたらされた人間の表現能力・コミュニケーション能力の拡大及び我々の生活やビジネスなどについて取り上げ、表現手段の基礎として、コンピュータグラフィックスを中心に様々なメディアを扱うための知識を修得し、自分自身の作品制作で選択・利用できるようになることを目的とする。また、授業ではMoodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業とアート・デザイン学科のDPとの関連は、「「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解」にある。我々の生活空間について、「環境」「コミュニケーション」をICTという側面から検討することで、多面的に理解する力を養い、専門科目での「対象の理解と多様な表現」を行うための基礎力となっている。

到達目標

- ・CGを始めとして、画像、映像など様々なメディアによるコミュニケーションや表現方法、システムについて理解する。
- ・デジタルメディアが人間の生活に与える影響、芸術やデザインに与える影響を敏感に感じ取り、自身の作品制作における表現の幅が広げられる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	コミュニケーションと情報	コミュニケーション、コミュニケーションデザイン 【アクティブラーニングの内容】 グループディスカッション：コミュニケーションデザインに必要な要素	予習30分：シラバスの確認 復習120分：配布資料の復習とシステムの確認、授業の振り返り

第2回	表現の基礎 1	視覚の現象性と視覚化表現 形と色	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第3回	表現の基礎 2	タイポグラフィ、ピクトグラムとダイアグラム 【アクティブラーニングの内容】 グループワーク：新しいピクトグラムの考案と発表	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第4回	知的財産権	知的財産権とは 【アクティブラーニングの内容】 グループディスカッション：知的財産権を守るためにはどうすればよいか	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第5回	技術の基礎	ハードウェア	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第6回	技術の基礎 2	デジタルの基礎、アナログとデジタル、ソフトウェア	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第7回	2次元グラフィックス 1	2次元グラフィックス	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第8回	2次元グラフィックス 2	グラフィックスと写真撮影	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第9回	インターネットの技術基礎	インターネットとその技術的な基礎	予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第10回	情報化社会	日常生活・ビジネスの変化など情報技術の進展による変化について	予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第11回	Webにおける情報デザイン	Webにおける情報の構造など	予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第12回	3次元CGの制作 1	映像制作とCG作成、空間・位置の表現、立体の作成	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第13回	3次元CGの制作 2	コンピュータアニメーション技法と映像表現技術	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
		3次元CGとコンピュータアニメー	予習90分：教科書・Moodle上

第14回	3次元CGの制作3	ション (レンダリング、シェーディングなど)	の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第15回	まとめ	授業のまとめと確認のための試験	予習90分：授業全体の疑問点整理 復習90分：授業全体を通しての振り返り

教科書

「入門CGデザイン 改訂新版 CG制作の基礎」(財団法人 画像情報教育振興協会)

参考書

「入門Webデザイン」「入門マルチメディア ITで変わるライフスタイル」「Webデザイン」「デジタル映像表現」(財団法人 画像情報教育振興協会)

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。授業中に課す振り返り課題など40%、確認のための試験60%。

課題等に対する フィードバックの方法

毎回の授業を振り返りとして、重要ポイントをMoodleの掲示板に記載してもらい、フィードバックは全体へのコメントとしておこなう。
それ以外の課題も個別もしくは全体へのコメントととしておこなうので、参考にしてください。

履修のポイント

コンピュータやインターネットに興味を持ち、積極的に関わっていくことが必要です。なお、この科目は「教職科目」「商業施設士補」の科目であるため、履修には注意をすること。
日々の評価点を積み重ねて評価しますので、公欠を含め、欠席した場合は資料や課題の確認をしてください。

オフィス・アワー

火曜日の昼休み。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。また、研究室は9号館3階第11研究室。

講義コード	40080001
講義名	生活と環境
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	4 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C013
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

地球環境問題は多岐にわたると同時に、私たちのすぐ身近に存在している。大気や水質の変化、土壌の汚染と劣化、生態系の危機など、日々の新聞にいずれかの環境問題の記事が必ず見られる。この講義では、私たちの生活のなかで生じている環境問題を、大気や水、土壌の汚染、私たちの社会がかかえる廃棄物・エネルギー問題、自然環境の変化など、個々の話題に着目して論じる。同時に、大気汚染、生態系の危機、エネルギー問題などについて、問題点を明確にし、解決策を探る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

今日、世界規模で生じている地球環境問題について興味を持続し、たとえば廃棄物の削減や省エネルギーを意識した活動など、社会に出ても環境問題を考えた生き方ができる人材を育てる。アート・デザイン学科のディプロマポリシーにある「環境」や「コミュニケーション」の側面から、人間の生活空間について多面的に理解する能力を養う。

到達目標

今後、ますますクローズアップされてくる地球環境問題について、すこしでも地球環境の現状への興味をかきたて、これから社会に出たあとでも環境に配慮した生活ができるようにする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	公害問題と環境問題	環境問題と公害問題について違いを理解する。過去に起こった大気汚染による公害問題を知る。また、これに関連して、大気汚染についてどんな法律があるのかを見ていく。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト12頁～14頁、55頁～60頁を見ておく。復習は19頁2.1の問題を考える。
第2回	大気汚染	中国から日本へ渡ってくるの大気汚染物質について知る。大気汚染の原因となる物質について理解する。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト60頁～63頁を見ておく。復習として、67頁の問題をやってみる。次の授業時に解答する。

第3回	原子力発電所からの放射能汚染（環境被害）	2011年3月の東日本大震災では多くの人命が失われ、同時に福島原子力発電所の事故で放射能汚染が広がった。原子力発電所の事故により、どのような環境汚染が広がることになったのか、その概略を見ていく。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前配布プリントを読んでおく。復習は配布プリントを見直し、不足があれば調べてプリントに記入する。
第4回	地球温暖化の現状と海洋の酸性化	地球規模で気候変動が生じていることや、CO2が増加している事実をデータで知り、今後予想される災害や海洋の変化などについて知る。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト101頁～105頁を見ておく。復習は配布プリントを見直し、不足があれば調べてプリントに記入する。99頁7.9の問題を解いてみる。
第5回	生態系と日本列島の自然環境	生態系という概念を理解し、日本列島の自然環境の多様性に触れる。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト111頁～121頁を見ておく。復習は122頁9.3について調べまとめる。
第6回	廃棄物の種類と関連法規	廃棄物量の現状や循環型社会を目指す法整備が進められていることを知る。包装容器の再利用の道を探る。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト123頁～125頁を見ておく。江戸のリサイクル社会についてまとめる（141頁～147頁）。
第7回	パッケージの機能とデザイン	商品等を包むパッケージについて、さまざまな機能、デザイン、素材について学ぶ。＜アクティブラーニング＞パッケージの再利用、活用事例について考える。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト126頁～128頁、133、134頁を見ておく。復習として140頁、10.8をやってみる。
第8回	エネルギー問題	枯渇性エネルギー、再生可能エネルギーにはどのようなものがあるかを知る。電気やガス、ガソリンといったエネルギー源の消費推移等を知る。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト106頁～108頁を見ておく。復習は148頁11.4を考えてみる。
第9回	エコロジカルフットプリントの世界地図	WWFが発行するレポートに載る「エコロジカルフットプリントの世界地図」をもとに、これから社会をつくる私たちが、目指すべき人間社会はどのようなものであるかを考える。	予習として配布プリントの穴埋めをしておく（90分）。テキスト6頁～9頁を読んでおく。復習は配布プリントを見直し、不足があれば調べてプリントに記入する。
第10回	貧困が招く環境破壊	世界の不平等を理解し、発展途上国といわれる国々でとりかえしのつかない破壊が生じている現状を見ていく。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト4頁～5頁を見ておく。復習は配布プリントを見直し、不足があれば調べてプリントに記入する。
第11回	国際的な環境問題をふせぐための条約	野生生物保護や廃棄物の越境を防ぐための国際的な取り決めを知る。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト15頁～19頁を見ておく。復習は配布プリントを見直し、不足があれば調べてプリントに記入する。
第12回	淡水と海水、水質の変化	地球上における淡水の割合を知り、淡水や海水がひどく汚染されている現実を知る。水質汚染を防ぐ方法について考える。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト41頁～49頁を見ておく。40頁、3.1の問題を解いてみる。

			る。
第13回	アラル海の悲劇	世界第4位の湖であったアラル海が消滅の危機にある。人間の事業活動が地球規模で環境破壊を招くことを知る。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前に配布プリントの穴埋めをしておく。復習はアラル海の消滅までの経緯をまとめる。
第14回	大地の劣化、砂漠化	アジアやアフリカなど、世界各地で進行する砂漠化の現状を知る。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト1頁～4頁を見ておく。復習は9頁、1.6の問題について記述してみる。
第15回	ドネラ・メドウズが提唱する幸せの条件	現代のモノと情報があふれる人間社会が抱える環境問題をふり返し、人間らしく生きるために必要な事物は何であるかを考える。	予習の時間90分、テキスト141頁～148頁を読んでおく。復習の時間は90分で、テキスト9頁1.5の問題について記述してみる。

教科書

鈴木孝弘『新しい環境科学』改訂2版（駿河台出版）

参考書

講義のなかで必要なときに紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定 50 点以上 課題の提出（20％）、期末試験（80％）をもとに総合的に評価する。

課題等に対する フィードバックの方法

提出された課題は、こちらでチェックし、記述レポート等は添削し、補足説明を付して返却する。また細かくチェックできないときはレポート等を授業時間内で返却し、解説し、場合によっては模範解答を掲示、または配布する。

履修のポイント

求められた配布プリントの提出や、レポート課題はかならず提出すること。環境問題に関するニュースや新聞記事等を読み理解しておく。配布プリントは記入漏れがないようにしておく。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みの時間をオフィス・アワーとする。9号館3階の第10研究室に来ること。

講義コード	40090001
講義名	健康とスポーツ
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	4 時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C034
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 高見 達也	指定なし

授業の概要と教育目標

運動は健康で生き生きと過ごすために欠かせない大切な要素の一つである。生涯を通じて運動に親しみ実践していけるかどうかは青年期の取り組み如何による。基礎的な体力づくりのためのトレーニング方法の理論を学び、また運動実践能力を高める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

自己身体運動の理解と分析を行い、生涯を通じて運動を実践できる基盤となる学修を行う。コミュニケーションとして、人に対する理解を深める方法も養う。

到達目標

グループワークにより話し合い、確認し合いながら、コミュニケーションをとって技能を高め合っていく。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	授業概要、諸注意、メディカルチェック、体力と身体機能・トレーニング理論・生涯スポーツについて	
第2回	総合運動能力測定	運動能力測定の方法と実施	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第3回	総合運動能力測定	運動能力測定の実施 測定結果発表	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【復習】 運動能力を基に、自分の課題を振り返る
		レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習①) 【アクティブラーニング】	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。

第4回	球技Ⅰ	バレーボールの基本であるオーバーハンドパスについて実践し、技術の特性を理解する	【予習】 バレーボールのルールについて調べる
第5回	球技Ⅰ	レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習②) 【アクティブラーニング】 バレーボールの基本であるアンダーハンドパスについて実践し、技術の特性を理解する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第6回	球技Ⅰ	レクリエーションバレーボールの実践(戦術①) 【アクティブラーニング】 バレーボールの基本であるサーブの種類を体験し、自分に合っているものを見つける	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第7回	球技Ⅰ	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム①)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第8回	球技Ⅰ	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム②)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第9回	球技Ⅰ	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム③)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第10回	球技Ⅱ	バスケットボールの実践(基礎練習①) 【アクティブラーニング】 パスの種類を理解し、特徴や特性を体感する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【予習】 バスケットボールのルールについて調べる
第11回	球技Ⅱ	バスケットボールの実践(基礎練習②) 【アクティブラーニング】 シュートの種類を理解し、特徴や特性を体感する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第12回	球技Ⅱ	バスケットボールの実践(ゲーム①)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第13回	球技Ⅱ	バスケットボールの実践(ゲーム②)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第14回	球技Ⅱ	バスケットボールの実践(ゲーム③)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第15回	球技Ⅱ	バスケットボールの実践(ゲーム④)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

特に無し

成績評価の方法・基準
単位認定50点以上 【実技試験60%、授業内確認テスト20%、授業内の安全性（ルール等の厳守）20%】
課題等に対する フィードバックの方法
基本的なルールについて学習をし、体力・技術の弱点を克服するように努めること。 授業中に全体としての講評をコメントする
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
授業日の授業開始もしくは授業終了後に体育館等で相談に応じます。

講義コード	40100001
講義名	コンピュータ基礎演習Ⅰ
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	3 時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C014
学年	1学年
担当教員	

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチエル	指定なし

授業の概要と教育目標

情報技術（IT）革命でビジネスや社会は大幅にかわり、現代社会ではコンピュータリテラシーが必要になった。そこで、この科目では、Word, Power Pointやインターネットの実践的な知識と技能の習得をめざす。
この授業は商業施設士補資格の指定教科となっている。アプリケーションソフト（Word, PowerPoint)やインターネットに関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーの向上を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目標とする。
これにおいて情報処理能力が求められているため、文章作成やプレゼンテーションに関する知識や技術を養うことを目指ものとする。

到達目標

- ①アプリケーションソフト（Word, Power Point)の基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
- ②インターネットを利用した情報検索や情報発現を学び、インターネットを使いこなす。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	パソコンの基本操作	パソコンの構成とソフトウェア、WindowsOSの基礎知識、インターネットの基礎、メールアカウントの設定、情報モラル	予習90分：PCの操作法を再確認する。 復習90分：教科書1章を見直す。
第2回	Word入門・文書の入力	Word 2016の画面構成、日本語入力システム、文字の入力、文書の入力、保存と読み込み	予習90分：教科書2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。

第3回	Wordの活用 (1-1)	編集機能 1	予習90分：教科書3,4章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	Wordの活用 (1-2)	編集機能 2	予習90分：教科書4章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	Wordの活用 (2-1)	クリップアート、ワードアート、図形描画	予習90分：教科書5章 (p.95-117)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	Wordの活用 (2-2)	スマートアート、段組み・ドロップキャップ	予習90分：教科書5章(p.118-127)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	Wordの応用 (1)	履歴書作成、はがき作成、グラフの挿入	予習90分：教科書6章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	Wordの応用 (2)	レポートの作成	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	Wordの応用 (3)	WORDによるプレゼンテーション	予習90分：教科書7章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	総括と学習到達度の確認 (Word実技)	1回目～9回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認テスト（Word実技テスト）を実施する。	予習90分：教科書1章-7章で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった部分を再確認する
第11回	インターネット	インターネットの概要、情報検索、情報と社会、情報とセキュリティ	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	PowerPointの活用 (1)	プレゼンテーションの基本、スライドの作成	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第13回	PowerPointの活用 (2) プレゼンテーションのテーマ、ストーリーづくり	インターネットトラブル事例集を参考に、プレゼンするテーマをPowerPointを用いて、電子紙芝居を作成する。 Group Work (アクティブ・ラーニング：ディスカッション&コラボレーション)	予習90分：前回に配布された資料を読む。インターネットトラブル事例集を参考に、プレゼンするテーマを考える。
第14回	PowerPointの活用 (3) プレゼンテーション	プレゼンテーションの実施 Group Work、(発表会は必修となります。)	予習90分：プレゼンテーションの練習をする。
第15回	PowerPointの活用 (4) プレゼンテーション	プレゼンテーションの実施 Group Work、(発表会は必修となります。)	予習90分：プレゼンテーションの練習をする。

教科書
30時間でマスター Word2016（Windows10対応） 実教出版 ISBN978-4-407-34020-4 実教出版編集部
参考書
30時間でマスター Office2016（Windows10対応） 実教出版 ISBN:978-4-407-34018-1 実教出版編集部
成績評価の方法・基準
単位認定：50 点以上 課題 20%, 実技試験 50%, プレゼンテーション 30%で評価する。 * 定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。
履修のポイント
上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com

講義コード	40110001
講義名	コンピュータ基礎演習Ⅱ
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	3 時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C035
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチエル	指定なし

授業の概要と教育目標

情報技術（IT）革命でビジネスや社会は大幅に変わりました。現代社会ではコンピュータリテラシーが必要になってきました。ここでは、Excel表計算処理をできるよう、知識と実技問題を通じて学ぶ実習を行う。
この授業は商業施設士補資格の指定教科となっている。表計算ソフト（Excel）に関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーを向上を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、表計算ソフトに関する知識や技術を養うことを目指ものとする。

到達目標

アプリケーションソフト（Excel）の基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。

- ① データを入力し、計算機能を使える能力
- ② 表やグラフを作成できる能力
- ③ データ分析ができる能力

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	Excel入門	Excelの基礎知識	予習90分：教科書1章、2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.4-44を見直す。
第2回	ワークシート活用（1）	合計と平均の計算（SUM・AVERAGE関数） 最大・最小（MAX・MIN関数）	予習90分：教科書3章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認す

			る。
第3回	ワークシート活用 (2)	データのカウント (COUNT・COUNTA関数) データの四捨五入・切り上げ・切捨て (ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN関数)	予習90分：教科書4章(例題8以外)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	グラフ作成 (1)	棒グラフ、積上げグラフ、折れ線グラフ、円グラフ	予習90分：教科書5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	グラフ作成 (2)	3Dグラフ、複合グラフ、ドーナツグラフ	予習90分：教科書6章(p.124-137)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	グラフ作成 (3)	レーダーチャートグラフ、XYグラフ、絵グラフ	予習90分：教科書6章(p.138-144)を読む。 復習91分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	ワークシート活用 (3)	条件の判定 (IF関数) とネスト	予習90分：教科書4章、例題8 (p.94-96)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	データベース入門 (1)	データの並べ替え、検索と置換、抽出	予習90分：教科書7章、(p.146-168)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	データベース入門 (2)	条件の書き方、データの集計	予習90分：教科書7章、(p.169-179)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	データベース入門 (3)	データベース関数	予習90分：教科書8章、(p.202-210)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	Excelの応用 (1)	関数 (RANK,LARGE,SMALL,VLOOKUP,HLOOKUP)	予習90分：教科書8章、(p.180-185)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。

第12回	Excelの応用 (2)	①インフォグラフィックとは ② 関心のあるテーマを考えて、オープン・データを用いて、EXCELでインフォグラフィックを作成。 アクティブラーニング： 「Think」 考え・「Search」 検索・「Do」 作成・実行	予習90分：インフォグラフィックについてインターネットで調べる。
第13回	Excelの応用 (3)	Excelを用いて、インフォグラフィックの作成	予習90分：収集したデータを分析し、ストーリーを考える
第14回	総括と学習到達度の確認 (Excelの実技)	1 回目～11 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認テスト（実技テスト）を実施する。	予習90分：教科書3-8章を見直す。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第15回	総括と学習到達度の確認 (インフォグラフィック)	プレゼンテーション(必修) (作成したインフォグラフィックを紹介・説明する)	予習90分：第13回の授業で学習した内容を再確認する。

教科書

30時間でマスター Excel2016 (Windows10対応) 実教出版 ISBN:978-4-407-34021-1
実教出版編集部

参考書

30時間でマスター Office2016 (Windows10対応) 実教出版 ISBN:978-4-407-34018-1
実教出版編集部

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上
課題 10%, 実技試験 50%, 応用課題 40%で評価する。

* 定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

- ① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
- ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

- ① 上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
- ② 「コンピュータ基礎演習1」を履修済みであることが望ましい。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

講義コード	40120001
講義名	デザイン基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C111
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

美しさを「造形的にバランスのとれたもの」と捉えた場合、色、かたち（点、線、面）、質を意識しながら、創出されたイメージが美しく表現（具現化）できるような構成力を養うことを目指し、演習を行なう。本科目では、3種類の演習課題を通して、学生それぞれの美に対する感覚を追求すると共に、構成力や支持体、絵の具の扱い方に対する基礎的な知識・技術を深めることを、教育の目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」との関連として、造形的にバランスのとれた美しいデザインを創出する力を養う。

到達目標

構成力とイメージの表現力を習得することが、到達目標である。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	造形演習1 前提講義	アクティブ・ラーニング：参考作品を紹介しながら、デザイン基礎の概念や造形理論、色、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。水張りやエスキース等を含む演習の準備。	予習45分： 必要な画材・素材の準備
第2回	造形演習1	水張りやエスキース等を含む演習の準備、制作、個別指導	復習45分： 造形演習

			の制作
第3回	造形演習2	制作、個別指導	予習45分：造形演習の制作
第4回	造形演習2	制作、個別指導	復習45分：造形演習の制作
第5回	造形演習3	制作、個別指導	予習45分：造形演習の制作
第6回	造形演習3	制作、個別指導	復習45分：造形演習の制作
第7回	造形演習4	制作、個別指導	予習45分：造形演習の制作
第8回	造形演習4	制作、個別指導	復習45分：造形演習の制作
第9回	造形演習5 講評会	アクティブ・ラーニング：講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	予習45分：講評会準備
第10回	造形演習5 講評会	アクティブ・ラーニング：講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	復習45分：講評会の振り返り
第11回	色彩演習1 前提講義	色彩理論、画材説明、演習準備、制作、個別指導	予習45分：必要な画材・素材の準備
第12回	色彩演習1	制作、個別指導	復習45分：色彩演習の制作
第13回	色彩演習2	制作、個別指導	予習45分：色彩演習の制作
第14回	色彩演習2	制作、個別指導	復習45分：色彩演習の制作
			予

第15回	色彩演習3	制作、個別指導	習45分：色彩演習の制作
第16回	色彩演習3	制作、個別指導	復習450分：色彩演習の制作
第17回	色彩演習4	制作、個別指導	予習45分：色彩演習の制作
第18回	色彩演習4	制作、個別指導、作品提出	復習45分：色彩演習の制作
第19回	構成演習1 前提講義	構成理論、参考作品紹介、水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース	予習45分：必要な画材・素材の準備
第20回	構成演習1	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース	復習45分：構成演習の制作
第21回	構成演習2	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導	予習45分：構成演習の制作
第22回	構成演習2	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導	復習45分：構成演習の制作
第23回	構成演習3	制作、個別指導	予習45分：構成演習の制作
第24回	構成演習3	制作、個別指導	復習45分：構成演習の制作
第25回	構成演習4	制作、個別指導	予習45分：構成演習の制作
第26回	構成演習4	制作、個別指導	復習45分：構成演習の制作
第27回	構成演習5	制作、個別指導	予習45分：構成演習の制作
			復

第28回	構成 演習5	制作、個別指導	習45分： 構成演習 の制作
第29回	構成 演習6 講評 会	アクティブ・ラーニング：講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	予 習45分： 講評会準 備
第30回	構成 演習6 講評 会	アクティブ・ラーニング：講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	復 習45分： 講評会の 振り返り

教科書

使用しない

参考書

ヨハネス・イッテン色彩論（大智浩訳）

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 造形演習30% 色彩演習10% 構成演習40% 授業への参加度20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想・付箋コメント等、フィードバックを各自授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

音楽や文学など、他分野の「構成」についても観察してみる。主体的に制作をおこない、構成力を高める。

オフィス・アワー

水曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館103教室

講義コード	40120002
講義名	デザイン基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C111
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

美しさを「造形的にバランスのとれたもの」と捉えた場合、色、かたち（点、線、面）、質を意識しながら、創出されたイメージが美しく表現（具現化）できるような構成力を養うことを目指し、演習を行なう。本科目では、3種類の演習課題を通して、学生それぞれの美に対する感覚を追求すると共に、構成力や支持体、絵の具の扱い方に対する基礎的な知識・技術を深めることを、教育の目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」との関連として、造形的にバランスのとれた美しいデザインを創出する力を養う。

到達目標

構成力とイメージの表現力を習得することが、到達目標である。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	造形演習1 前提講義	アクティブ・ラーニング：参考作品を紹介しながら、デザイン基礎の概念や造形理論、色、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。水張りやエスキース等を含む演習の準備。	予習45分： 必要な画材・素材の準備
第2回	造形演習1	水張りやエスキース等を含む演習の準備、制作、個別指導	復習45分： 造形演習

			の制作
第3回	造形演習2	制作、個別指導	予習45分：造形演習の制作
第4回	造形演習2	制作、個別指導	復習45分：造形演習の制作
第5回	造形演習3	制作、個別指導	予習45分：造形演習の制作
第6回	造形演習3	制作、個別指導	復習45分：造形演習の制作
第7回	造形演習4	制作、個別指導	予習45分：造形演習の制作
第8回	造形演習4	制作、個別指導	復習45分：造形演習の制作
第9回	造形演習5 講評会	アクティブ・ラーニング：講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	予習45分：講評会準備
第10回	造形演習5 講評会	アクティブ・ラーニング：講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	復習45分：講評会の振り返り
第11回	色彩演習1 前提講義	色彩理論、画材説明、演習準備、制作、個別指導	予習45分：必要な画材・素材の準備
第12回	色彩演習1	制作、個別指導	復習45分：色彩演習の制作
第13回	色彩演習2	制作、個別指導	予習45分：色彩演習の制作
第14回	色彩演習2	制作、個別指導	復習45分：色彩演習の制作
			予

第15回	色彩演習3	制作、個別指導	習45分：色彩演習の制作
第16回	色彩演習3	制作、個別指導	復習450分：色彩演習の制作
第17回	色彩演習4	制作、個別指導	予習45分：色彩演習の制作
第18回	色彩演習4	制作、個別指導、作品提出	復習45分：色彩演習の制作
第19回	構成演習1 前提講義	構成理論、参考作品紹介、水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース	予習45分：必要な画材・素材の準備
第20回	構成演習1	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース	復習45分：構成演習の制作
第21回	構成演習2	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導	予習45分：構成演習の制作
第22回	構成演習2	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導	復習45分：構成演習の制作
第23回	構成演習3	制作、個別指導	予習45分：構成演習の制作
第24回	構成演習3	制作、個別指導	復習45分：構成演習の制作
第25回	構成演習4	制作、個別指導	予習45分：構成演習の制作
第26回	構成演習4	制作、個別指導	復習45分：構成演習の制作
第27回	構成演習5	制作、個別指導	予習45分：構成演習の制作
			復

第28回	構成 演習5	制作、個別指導	習45分： 構成演習 の制作
第29回	構成 演習6 講評 会	アクティブ・ラーニング：講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	予 習45分： 講評会準 備
第30回	構成 演習6 講評 会	アクティブ・ラーニング：講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	復 習45分： 講評会の 振り返り

教科書

使用しない

参考書

ヨハネス・イッテン色彩論（大智浩訳）

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 造形演習30% 色彩演習10% 構成演習40% 授業への参加度20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想・付箋コメント等、フィードバックを各自授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

音楽や文学など、他分野の「構成」についても観察してみる。主体的に制作をおこない、構成力を高める。

オフィス・アワー

水曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館103教室

講義コード	40130001
講義名	絵画基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C112
学年	1学年
担当教員	

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では静物画や風景、人物画を描き絵画の基礎を学習します。静物画では器物やレンガ、植物や果物などを組み合わせたモチーフを鉛筆でデッサンし、アクリル系水彩絵具で薄く着色する「鉛筆淡彩」という技法を学びます。また、人物クロッキーや室内風景を写真などの活用も図りながら制作します。そして描くことの基礎的な力を身につけて、優れたデザイナーやアーティストを育成することを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、絵を描く基礎を学習することは必要不可欠です。描くことの基礎力を見につけることは、作品制作、創作活動の基本となるところです。そして将来的な展望として、教職必修でもある本授業は、絵を描くことを通して心豊かな人を育てる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

描くことの基礎的な力を身につけて心豊かな人を育て、優れたデザイナーやアーティストを育成することを目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	人物クロッキー①	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写することを試みる。	予習 4 5 分：クロッキー帳などに身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第2回	人物クロッキー②	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写することを試みる。 [アクティブ・ラーニングの内容] 描写した作品をディスカッション	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。

		ン、意見交換する。	
第3回	静物画 実習 Ⅰ①	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ B 3 パネルに水張りを行う。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第4回	静物画 実習 Ⅰ②	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ クロッキー帳などにエスキース、構図をを決める。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第5回	静物画 実習 Ⅰ③	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ 構図を決め、鉛筆で下描きをする。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第6回	静物画 実習 Ⅰ④	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ 鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第7回	静物画 実習 Ⅰ⑤	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ 鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第8回	静物画 実習 Ⅰ⑥	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ 鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第9回	静物画 実習 Ⅰ⑦	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ アクリル絵具で着色する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第10回	静物画 実習 Ⅰ⑧	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ アクリル絵具で着手する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第11回	静物画 実習 Ⅰ⑨	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ アクリル絵具で着手する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第12回	静物画 実習 Ⅰ⑩	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ アクリル絵具で着手する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第13回	室内風景画実習①	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・ クロッキー帳にエスキース、構図を決める。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第14回	室内風景画実習②	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・ B 3 ケント紙に構図を決め、鉛筆で下描きをする。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第15回	室内風景画実習③	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・ 鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第16回	室内風景画実習④	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・ 鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。

第17回	室内風景画実習⑤	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第18回	室内風景画実習⑥	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第19回	室内風景画実習⑦	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第20回	室内風景画実習⑧	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第21回	静物画実習Ⅱ①	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・B 3 パネル水張りを行う。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第22回	静物画実習Ⅱ②	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第23回	静物画実習Ⅱ③	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第24回	静物画実習Ⅱ④	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第25回	静物画実習Ⅱ⑤	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第26回	静物画実習Ⅱ⑥	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第27回	静物画実習Ⅱ⑦	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第28回	静物画実習Ⅱ⑧	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第29回	静物画実習Ⅱ⑨	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第30回	静物画実習Ⅱ⑩	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。

る。

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定 50 点以上

課題 80 %、授業への参加度 20 %

課題等に対する フィードバックの方法

実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却します。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、12:30～13:20（昼休み）

1号館111研究室で行う。

講義コード	40130002
講義名	絵画基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C112
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では静物画や風景、人物画を描き絵画の基礎を学習します。静物画では器物やレンガ、植物や果物などを組み合わせたモチーフを鉛筆でデッサンし、アクリル系水彩絵具で薄く着色する「鉛筆淡彩」という技法を学びます。また、人物クロッキーや室内風景を写真などの活用も図りながら制作します。そして描くことの基礎的な力を身につけて、優れたデザイナーやアーティストを育成することを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、絵を描く基礎を学習することは必要不可欠です。描くことの基礎力を見につけることは、作品制作、創作活動の基本となるところです。そして将来的な展望として、教職必修でもある本授業は、絵を描くことを通して心豊かな人を育てる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

描くことの基礎的な力を身につけて心豊かな人を育て、優れたデザイナーやアーティストを育成することを目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	人物クロッキー①	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写することを試みる。	予習 4 5 分：クロッキー帳などに身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第2回	人物クロッキー②	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写することを試みる。 [アクティブ・ラーニングの内容] 描写した作品をディスカッション	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。

		ン、意見交換する。	
第3回	静物画 実習 Ⅰ①	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ B 3 パネルに水張りを行う。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第4回	静物画 実習 Ⅰ②	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ クロッキー帳などにエスキース、構図をを決める。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第5回	静物画 実習 Ⅰ③	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ 構図を決め、鉛筆で下描きをする。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第6回	静物画 実習 Ⅰ④	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ 鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第7回	静物画 実習 Ⅰ⑤	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ 鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第8回	静物画 実習 Ⅰ⑥	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ 鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第9回	静物画 実習 Ⅰ⑦	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ アクリル絵具で着色する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第10回	静物画 実習 Ⅰ⑧	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ アクリル絵具で着手する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第11回	静物画 実習 Ⅰ⑨	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ アクリル絵具で着手する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第12回	静物画 実習 Ⅰ⑩	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・ アクリル絵具で着手する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第13回	室内風景画実習①	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・ クロッキー帳にエスキース、構図を決める。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第14回	室内風景画実習②	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・ B 3 ケント紙に構図を決め、鉛筆で下描きをする。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第15回	室内風景画実習③	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・ 鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第16回	室内風景画実習④	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・ 鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。

第17回	室内風景画実習⑤	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第18回	室内風景画実習⑥	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第19回	室内風景画実習⑦	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第20回	室内風景画実習⑧	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第21回	静物画実習Ⅱ①	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・B 3 パネル水張りを行う。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第22回	静物画実習Ⅱ②	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第23回	静物画実習Ⅱ③	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第24回	静物画実習Ⅱ④	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第25回	静物画実習Ⅱ⑤	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第26回	静物画実習Ⅱ⑥	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第27回	静物画実習Ⅱ⑦	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第28回	静物画実習Ⅱ⑧	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。
第29回	静物画実習Ⅱ⑨	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。	予習 4 5 分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第30回	静物画実習Ⅱ⑩	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考に素描の練習をする。

る。

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定 50 点以上

課題 80 %、授業への参加度 20 %

課題等に対する フィードバックの方法

実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却します。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、12:30～13:20（昼休み）

1号館111研究室で行う。

講義コード	40140001
講義名	工芸基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C113
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教員	寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、「木」などの自然素材を用いた実用的な生活用品の制作を通して学びを得る授業である。生活空間で使用される身近な「工芸」を題材に3課題の制作をおこない、素材を活かした機能性と審美性（美術的な美しさ）が両立した人々の生活を豊かにしていくための「ものづくり」を実践する。制作過程では、生活空間で使用する箸やカトラリーを題材に、機能を意識した素材の可能性を自分の感覚でさぐり、理想とする造形を想像して、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。作品の考察と教員の講評からは、今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力につながる示唆を得る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、生活空間で使用される身近な「工芸」を題材としている。また、ディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、本講座では、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。および、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

本講座の到達目標は、制作を通して素材や道具に対する理解を深め、工芸の基礎的な知識と制作技術を習得することである。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	道具についての説明（道具の使い方、木の種類・ワックスの種類等）	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分

			授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	箸の制作	デザイン作成、制作プランを立てる	上記参照
第3回	同上	糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	同上	削り出し	上記参照
第5回	同上	削り出し、研磨	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	同上	塗装、作品提出 講評会 <アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	上記参照
第7回	カトラリー制作	デザイン作成、制作プランを立てる	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第8回	同上	デザイン作成、制作プランを立てる	上記参照
第9回	同上	糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	同上	削り出し	上記参照
第11回	同上	同上	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第12回	同上	同上	上記参照
第13回	同上	同上	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	同上	研磨	上記参照
			予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう

第15回	同上	研磨、塗装	復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第16回	同上	塗装、作品提出 講評会 <アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	上記参照
第17回	プレート制作	デザイン作成、制作プランを立てる	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第18回	同上	同上	上記参照
第19回	同上	糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第20回	同上	同上	上記参照
第21回	同上	削り出し	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第22回	同上	同上	上記参照
第23回	同上	同上	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第24回	同上	同上	上記参照
第25回	同上	同上	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第26回	同上	同上	上記参照
第27回	同上	削り出し、研磨	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第28回	同上	研磨、塗装	上記参照
			予習：45分

第29回	同上	削り出し、塗装	授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第30回	同上	塗装、作品提出 講評会 <アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定：50点以上

1. 学習態度・授業への参加度
 2. 作品点／課題提出80%以上が評価対象（完成度・オリジナリティ・提出期限）
- 上記1および2の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位認定する

※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする。

オフィス・アワー

山本：月 16：30-18：10 山本研究室（131）
寺村：月・火 12：30-13：20 寺村研究室（122）

講義コード	40140002
講義名	工芸基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C113
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教員	寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、「木」などの自然素材を用いた実用的な生活用品の制作を通して学びを得る授業である。生活空間で使用される身近な「工芸」を題材に3課題の制作をおこない、素材を活かした機能性と審美性（美術的な美しさ）が両立した人々の生活を豊かにしていくための「ものづくり」を実践する。制作過程では、生活空間で使用する箸やカトラリーを題材に、機能を意識した素材の可能性を自分の感覚でさぐり、理想とする造形を想像して、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。作品の考察と教員の講評からは、今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力につながる示唆を得る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、生活空間で使用される身近な「工芸」を題材としている。また、ディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、本講座では、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。および、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

本講座の到達目標は、制作を通して素材や道具に対する理解を深め、工芸の基礎的な知識と制作技術を習得することである。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	道具についての説明（道具の使い方、木の種類・ワックスの種類等）	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分

			授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	箸の制作	デザイン作成、制作プランを立てる	上記参照
第3回	同上	糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	同上	削り出し	上記参照
第5回	同上	削り出し、研磨	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	同上	塗装、作品提出 講評会 <アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	上記参照
第7回	カトラリー制作	デザイン作成、制作プランを立てる	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第8回	同上	デザイン作成、制作プランを立てる	上記参照
第9回	同上	糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	同上	削り出し	上記参照
第11回	同上	同上	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第12回	同上	同上	上記参照
第13回	同上	同上	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	同上	研磨	上記参照
			予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう

第15回	同上	研磨、塗装	復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第16回	同上	塗装、作品提出 講評会 <アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	上記参照
第17回	プレート制作	デザイン作成、制作プランを立てる	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第18回	同上	同上	上記参照
第19回	同上	糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第20回	同上	同上	上記参照
第21回	同上	削り出し	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第22回	同上	同上	上記参照
第23回	同上	同上	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第24回	同上	同上	上記参照
第25回	同上	同上	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第26回	同上	同上	上記参照
第27回	同上	削り出し、研磨	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第28回	同上	研磨、塗装	上記参照
			予習：45分

第29回	同上	削り出し、塗装	授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第30回	同上	塗装、作品提出 講評会 <アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定：50点以上

1. 学習態度・授業への参加度
 2. 作品点／課題提出80%以上が評価対象（完成度・オリジナリティ・提出期限）
- 上記1および2の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位認定する

※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする。

オフィス・アワー

山本：月 16：30-18：10 山本研究室（131）
寺村：月・火 12：30-13：20 寺村研究室（122）

講義コード	40150001	
講義名	立体造形基礎（前期）	
(副題)	【教職必修】	
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	演習	
基準単位数	2	
代表曜日	金曜日	
代表時限	1 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C114	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教 員	◎ 森村 均	指定なし

授業の概要と教育目標

前半は自由に表現できる素材として粘土を使用して塑像を製作し、具象的な造形力と立体感覚を身につけます。
後半は素材の特性を生かした抽象作品を制作し、立体造形の基本と表現性の習得を目指します。

教育目標としては、立体的なものの見方や、三次元の表現を体験する事で造形力の幅を広げる事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座で学ぶ立体造形は、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

前半の具象表現に於いては、正確な形態模写のみならず、生命感の表現までを到達目標とし、後半の抽象表現ではメッセージ性のある空間構成本力の習得を目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	立体的なものの見方の研究	オリエンテーション・スケッチ	予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	"	"	"
第3回	立体的なものの見方の研究	デッサンによる研究	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	"	"	"

第5回	立体的なものの見方の研究	デッサンによる研究	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	"	"	"
第7回	立体的なものの見方の研究	完成・提出、全体講評	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	"	"	"
第9回	具象立体表現	「彫塑」制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	"	"	"
第11回	具象立体表現	「彫塑」制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	"	"	"
第13回	具象立体表現	「彫塑」制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	"	"	"
第15回	具象立体表現	「彫塑」制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	"	"	"
第17回	具象立体表現	完成・提出、全体講評	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	"	"	"
第19回	抽象立体表現	抽象作品制作のためのプランニング	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	"	"	"
第21回	抽象立体表現	作品制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	"	"	"
第23回	抽象立体表現	作品制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	"	"	"

第25回	抽象立体表現	作品制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	"	"	"
第27回	抽象立体表現	完成・提出	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	"	"	"
第29回	抽象立体表現	プレゼンテーション・講評（アクティブラーニング）	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	"	"	"

教科書
使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準
単位認定50点以上。課題評価70％ 平常点評価30％。 本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しません。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。
履修のポイント
積極的な姿勢で授業に臨んでください。
オフィス・アワー
金曜日 10:50～11:00 場所：5号館 501教室

講義コード	40150002	
講義名	立体造形基礎（後期）	
(副題)	【教職必修】	
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	後期	
講義区分	演習	
基準単位数	2	
代表曜日	金曜日	
代表時限	1 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C114	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教 員	◎ 森村 均	指定なし

授業の概要と教育目標

前半は自由に表現できる素材として粘土を使用して塑像を製作し、具象的な造形力と立体感覚を身につけます。
後半は素材の特性を生かした抽象作品を制作し、立体造形の基本と表現性の習得を目指します。

教育目標としては、立体的なものの見方や、三次元の表現を体験する事で造形力の幅を広げる事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座で学ぶ立体造形は、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

前半の具象表現に於いては、正確な形態模写のみならず、生命感の表現までを到達目標とし、後半の抽象表現ではメッセージ性のある空間構成力の習得を目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	立体的なものの見方の研究	オリエンテーション・スケッチ	予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	"	"	"
第3回	立体的なものの見方の研究	デッサンによる研究	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	"	"	"

第5回	立体的なものの見方の研究	デッサンによる研究	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	"	"	"
第7回	立体的なものの見方の研究	完成・提出、全体講評	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	"	"	"
第9回	具象立体表現	「彫塑」制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	"	"	"
第11回	具象立体表現	「彫塑」制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	"	"	"
第13回	具象立体表現	「彫塑」制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	"	"	"
第15回	具象立体表現	「彫塑」制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	"	"	"
第17回	具象立体表現	完成・提出、全体講評	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	"	"	"
第19回	抽象立体表現	抽象作品制作のためのプランニング	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	"	"	"
第21回	抽象立体表現	作品制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	"	"	"
第23回	抽象立体表現	作品制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	"	"	"

第25回	抽象立体表現	作品制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	"	"	"
第27回	抽象立体表現	完成・提出	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	"	"	"
第29回	抽象立体表現	プレゼンテーション・講評（アクティブラーニング）	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	"	"	"

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。課題評価70％ 平常点評価30％。
本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しません。

課題等に対する フィードバックの方法

各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。

履修のポイント

積極的な姿勢で授業に臨んでください。

オフィス・アワー

金曜日 10:50～11:00 場所：5号館 501教室

講義コード	40160001
講義名	デッサン（小松原）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C115
学年	1学年
担当教員	

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし

授業の概要と教育目標

デッサンとは一般的に素描と訳され、鉛筆や木炭等で描かれたモノクロームの絵画を総称しているが、構造や内容を理解して形体化すること、関係を把握し表現することだと思えます。その意味では、あらゆる造形芸術の基本となり、この授業では的確な描写力や構成力を身につけることに重点をおきます。

教育目標としては、形体を把握し描写する力、アイデアやイメージを具体化できる能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
 本講座で学ぶデッサンは、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

創作活動の基本となるデッサン力を身につけ、客観的な視点で様々なものを観察できる能力を身につける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	人物クロッキー	素早くプロポーションやムーブメント等を的確に把握する練習	予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：クロッキー練習
第2回	//	//	//
第3回	デッサン（幾何形体）	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写 デッサンの基本についての資料配布、解説 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	//	//	//

第5回	デッサン（幾何形体）	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	//	//	//
第7回	デッサン（幾何形体）	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	//	//	//
第9回	デッサン（幾何形体、石膏）	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせ鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	//	//	//
第11回	デッサン（幾何形体、石膏）	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせ鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	//	//	//
第13回	デッサン（幾何形体、石膏）	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせ鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	//	//	//
第15回	静物デッサン	植物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	//	//	//
第17回	静物デッサン	植物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	//	//	//
第19回	静物デッサン	植物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	//	//	//
第21回	静物デッサン	植物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	//	//	//
第23回	石膏デッサン	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	//	//	//

第25回	石膏デッサン	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習 分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	//	//	//
第27回	石膏デッサン	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	//	//	//
第29回	石膏デッサン	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	//	//	//

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上
授業態度 30%、課題完成度 70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。

履修のポイント

授業は集中して取り組み、モチーフを客観的に観察することを心がける。普段から身の回りにあるものを数多くクロッキーすることで、観察力を身につける努力を怠らないように。

オフィス・アワー

小松原：火曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室

講義コード	40160002
講義名	デッサン（佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C115
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

デッサンとは一般的に素描と訳され、鉛筆や木炭等で描かれたモノクロームの絵画を総称しているが、構造や内容を理解して形体化すること、関係を把握し表現することだと思えます。その意味では、あらゆる造形芸術の基本となり、この授業では的確な描写力や構成力を身につけることに重点をおきます。

教育目標としては、形体を把握し描写する力、アイデアやイメージを具体化できる能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、選択した専門分野の知識や技能を修得し、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するための、基盤となる技術を得ることを目的とする。

到達目標

創作活動の基本となるデッサン力を身につけ、客観的な視点で様々なものを観察出来る能力を身につける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	人物クロッキー	素早くプロポーションやムーブメント等を的確に把握する練習	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：クロッキー練習
第2回	//	//	//
第3回	デッサン①（幾何形体）	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写 デッサンの基本についての資料を配布、解説 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	//	//	//

第5回	デッサン①（幾何形体）	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	//	//	//
第7回	デッサン①（幾何形体）	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評（アクティブラーニング）	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	//	//	//
第9回	デッサン②（幾何形体、石膏）	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせ鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	//	//	//
第11回	デッサン②（幾何形体、石膏）	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせ鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	//	//	//
第13回	デッサン②（幾何形体、石膏）	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせ鉛筆で描写 作品提出、全体講評（アクティブラーニング）	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	//	//	//
第15回	デッサン③（静物デッサン）	静物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	//	//	//
第17回	デッサン③（静物デッサン）	静物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	//	//	//
第19回	デッサン③（静物デッサン）	静物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	//	//	//
第21回	デッサン③（静物デッサン）	静物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評（アクティブラーニング）	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	//	//	//
第23回	デッサン④（石膏デッサン）	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	//	//	//

第25回	デッサン④（石膏デッサン）	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習 分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	//	//	//
第27回	デッサン④（石膏デッサン）	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	//	//	//
第29回	デッサン④（石膏デッサン）	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評（アクティブラーニング）	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	//	//	//

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業は集中して取り組み、モチーフを客観的に観察することを心がける。普段から身の回りにあるものを数多くクロッキーすることで、観察力を身につける努力を怠らないように。

オフィス・アワー

木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室

講義コード	40170001	
講義名	C G 基礎 I （Photoshop）	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	演習	
基準単位数	1	
代表曜日	水曜日	
代表時限	5 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C116	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教 員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Photoshopは、高品位なイラスト作成や画像加工を行うことができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を、Photoshopクリエイター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Photoshopのオペレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Photoshopの基本操作を確実に理解した上で、Photoshopクリエイター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	授業概要説明 Photoshop機能概要	コンピュータ室の利用について、 授業概要説明、Macの基本操作 Photoshop機能概要	予習90分：Adobe Webサイト 内Photoshopの項目を閲覧する。 復習90分：配付資料を読む。
第2回	基本操作 [1]	ファイル操作、作業エリア、下面 表示と色の選択	予習90分：Chapter1を読む。 復習90分：Chapter1を読む。
第3回	基本操作 [2]	環境設定、選択ツール、選択方法	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。
		画像解像度とサイズ変更、画像の	

第4回	基本操作 [3]	コピー＆ペースト、画像の変形 カラーモード	予習90分：Chapter3・4を読む。 復習90分：Chapter3・4を読む。
第5回	基本操作 [4]	色調補正、ペイント系のツール	予習90分：Chapter5を読む。 復習90分：Chapter5を読む。
第6回	基本操作 [5]	レタッチ系のツール、ペイント系 のコマンド、レイヤーの基本	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第7回	基本操作 [6]	調整レイヤーと塗りつぶしレイ ヤー、パスの作成と編集	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第8回	基本操作 [7]	シェイプ	予習90分：Chapter7を読む。 復習90分：Chapter7を読む。
第9回	基本操作 [8]	テキストの入力と編集、文字の加 工、フィルターの概要と説明	予習90分：Chapter8を読む。 復習90分：Chapter8を読む。
第10回	模擬問題1	実技問題1、実践問題1-1	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第11回	模擬問題1	実践問題1-2	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第12回	模擬問題2	実技問題2、実践問題2-1	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第13回	模擬問題2	実践問題2-2	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第14回	模擬問題3	実技問題3、実践問題3-1	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第15回	模擬問題3	実践問題3-2	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。

教科書

Photoshop®クイックマスターCS5/CS6 株式会社ウィネット

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。

授業態度30% 模擬試験70%

※本授業はPhotoshop能力認定試験の模擬試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。

履修のポイント

技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：水曜日 16:30～16:40 104教室

講義コード	40170002	
講義名	C G 基礎 I （Illustrator）	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	演習	
基準単位数	1	
代表曜日	木曜日	
代表時限	5 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C116	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教 員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Illustratorは、高品位なイラストやデザインを制作することができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
 その基本的なオペレーションについての学習を、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Illustratorのオペレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
 そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Illustratorの基本操作を確実に理解した上で、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	Illustrator機能概要 基本操作	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Illustrator機能概要／Illustratorの起動と作業エリア／アートワークの表示とプリント／環境設定	予習90分：Adobe Webサイト内Illustratorの項目を閲覧する。 復習90分：配付資料を読む。
第2回	オブジェクトの基本操作	塗りと線／オブジェクトの描画	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。

第3回	オブジェクトの基本操作	基本的な編集操作／レイアウトの補助機能	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。
第4回	パスの描画	パスの基本的な描画／パスの編集	予習90分：Chapter3を読む。 復習90分：Chapter3を読む。
第5回	パスの描画	パスの基本的な描画／パスの編集	予習90分：Chapter3を読む。 復習90分：Chapter3を読む。
第6回	カラー設定	カラーパレットによるカラー設定／スウォッチとパターン／グラデーション	予習90分：Chapter4を読む。 復習90分：Chapter4を読む。
第7回	オブジェクトの編集	アピアランス／オブジェクトの変形	予習90分：Chapter4を読む。 復習90分：Chapter4を読む。
第8回	オブジェクトの編集	レイヤー／オブジェクトの組み合わせによる編集	予習90分：Chapter5を読む。 復習90分：Chapter5を読む。
第9回	文字	文字の作成／文字関連の機能	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第10回	模擬問題1	実技問題1、実践問題1-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第11回	”	実践問題1-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第12回	模擬問題2	実技問題2、実践問題2-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第13回	”	実践問題2-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第14回	模擬問題3	実技問題3、実践問題3-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第15回	”	実践問題3-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。

教科書
Illustrator® クイックマスターCS5/CS6 株式会社ウィネット
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定50点以上。 授業態度30% 模擬試験70% ※本授業はIllustrator能力認定試験の模擬試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。
履修のポイント
技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：木曜日 16:30～16:40 104教室

講義コード	40180001
講義名	C G 基礎 II (Photoshop)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	5 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C131
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Photoshopは、高品位なイラスト作成や画像加工を行うことができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を、Photoshopクリエイター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Photoshopのオペレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Photoshopの基本操作を確実に理解した上で、Photoshopクリエイター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	授業概要説明 Photoshop機能概要	コンピュータ室の利用について、 授業概要説明、Macの基本操作 Photoshop機能概要	予習90分：Adobe Webサイト 内Photoshopの項目を閲覧する。 復習90分：配付資料を読む。
第2回	基本操作 [1]	ファイル操作、作業エリア、下面 表示と色の選択	予習90分：Chapter1を読む。 復習90分：Chapter1を読む。
第3回	基本操作 [2]	環境設定、選択ツール、選択方法	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。
		画像解像度とサイズ変更、画像の	

第4回	基本操作 [3]	コピー＆ペースト、画像の変形 カラーモード	予習90分：Chapter3・4を読む。 復習90分：Chapter3・4を読む。
第5回	基本操作 [4]	色調補正、ペイント系のツール	予習90分：Chapter5を読む。 復習90分：Chapter5を読む。
第6回	基本操作 [5]	レタッチ系のツール、ペイント系 のコマンド、レイヤーの基本	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第7回	基本操作 [6]	調整レイヤーと塗りつぶしレイ ヤー、パスの作成と編集	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第8回	基本操作 [7]	シェイプ	予習90分：Chapter7を読む。 復習90分：Chapter7を読む。
第9回	基本操作 [8]	テキストの入力と編集、文字の加 工、フィルターの概要と説明	予習90分：Chapter8を読む。 復習90分：Chapter8を読む。
第10回	模擬問題1	実技問題1、実践問題1-1	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第11回	模擬問題1	実践問題1-2	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第12回	模擬問題2	実技問題2、実践問題2-1	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第13回	模擬問題2	実践問題2-2	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第14回	模擬問題3	実技問題3、実践問題3-1	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第15回	模擬問題3	実践問題3-2	予習90分：教科書を全てに渡り 読む。 復習90分：出題内容を見直す。

教科書

Photoshop®クイックマスターCS5/CS6 株式会社ウィネット

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。

授業態度30% 模擬試験70%

※本授業はPhotoshop能力認定試験の模擬試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。

履修のポイント

技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：火曜日 16:30～16:40 104教室

講義コード	40180002	
講義名	C G 基礎Ⅱ（Illustrator）	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	後期	
講義区分	演習	
基準単位数	1	
代表曜日	火曜日	
代表時限	5 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C131	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Illustratorは、高品位なイラストやデザインを制作することができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Illustratorのオペレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Illustratorの基本操作を確実に理解した上で、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	Illustrator機能概要 基本操作	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Illustrator機能概要／Illustratorの起動と作業エリア／アートワークの表示とプリント／環境設定	予習90分：Adobe Webサイト内Illustratorの項目を閲覧する。 復習90分：配付資料を読む。
第2回	オブジェクトの基本操作	塗りと線／オブジェクトの描画	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。

第3回	オブジェクトの基本操作	基本的な編集操作／レイアウトの補助機能	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。
第4回	パスの描画	パスの基本的な描画／パスの編集	予習90分：Chapter3を読む。 復習90分：Chapter3を読む。
第5回	パスの描画	パスの基本的な描画／パスの編集	予習90分：Chapter3を読む。 復習90分：Chapter3を読む。
第6回	カラー設定	カラーパレットによるカラー設定／スウォッチとパターン／グラデーション	予習90分：Chapter4を読む。 復習90分：Chapter4を読む。
第7回	オブジェクトの編集	アピアランス／オブジェクトの変形	予習90分：Chapter4を読む。 復習90分：Chapter4を読む。
第8回	オブジェクトの編集	レイヤー／オブジェクトの組み合わせによる編集	予習90分：Chapter5を読む。 復習90分：Chapter5を読む。
第9回	文字	文字の作成／文字関連の機能	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第10回	模擬問題1	実技問題1、実践問題1-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第11回	模擬問題1	実践問題1-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第12回	模擬問題2	実技問題2、実践問題2-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第13回	模擬問題2	実践問題2-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第14回	模擬問題3	実技問題3、実践問題3-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第15回	模擬問題3	実践問題3-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。

教科書
Illustrator® クイックマスターCS5/CS6 株式会社ウィネット
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定50点以上。 授業態度30% 模擬試験70% ※本授業はIllustrator能力認定試験の模擬試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。
履修のポイント
技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：月曜日 16:30～16:40 104教室

講義コード	40190001
講義名	アート・デザインⅠ（小松原/松村）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R110
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、絵画・イラストの両分野に共通して応用できる基礎的な知識や技術について学習する。内容としては主にイラストレーションや絵画制作における様々な技法の修得、それぞれの技法に合わせた画材の性質と特性の理解を中心に学び、本講座の最後には今後自分が目指したい表現や技法で自由制作を行う。

教育目標としては、基礎的な技術等についての確実な修得を目指す。また、後期からは課題を絵画とイラストレーションの分野別にそれぞれ設定する予定であり、各自が自分の目指す分野について確認を行っていくことも目的の一つとしている。

授業担当 月曜日：小松原、木曜日：松村

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
イラストレーションや絵画などの様々な表現に関する知識や技能の習得、また実践的なアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

各種画材について、その性質及び特徴等の理解や、様々な技法の修得、自己表現の探求を本講座の目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション 自己紹介ボードの制作 (1)	オリエンテーション・シラバス説明 自己紹介ボードについての課題説明 アイデアスケッチの開始 ※クロッキー帳用意	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：指導内容の復習

第2回	”	”	”
第3回	自己紹介ボードの制作 (2)	講師によるアイデアスケッチの チェック イラストレーションボードへ下描 き開始	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第4回	”	”	”
第5回	自己紹介ボードの制作 (3)	下書き終了後、着色開始 画材、技法は自由。	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第6回	”	”	”
第7回	自己紹介ボードの制作 (3)	制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第8回	”	”	”
第9回	自己紹介ボードの制作 (4)	制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第10回	”	”	”
第11回	自己紹介ボードの制作 (5)	仕上げ プレゼンテーション、講評（アク ティブラーニング） 作品の提出 ●次回からの制作についての説明	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第12回	”	”	”
第13回	技法研究① 透明水彩技法 (基礎)	透明水彩技法についての解説（プ リント配布） 技法練習 静物画の下書き	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第14回	”	”	”
第15回	技法研究② 油彩基礎技法	油彩基礎技法についての解説 6号キャンバスに静物画制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第16回	”	”	”
第17回	技法研究① 透明水彩技法 (基礎)	静物画制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第18回	”	”	”
第19回	技法研究② 油彩基礎技法	静物画制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第20回	”	”	”
第21回	技法研究① 透明水彩技法 (基礎)	静物画制作、完成 講評 作品の提出	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第22回	”	”	”
第23回	技法研究② 油彩基礎技法	静物画制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第24回	”	”	”
第25回	技法研究① 透明水彩技法 (応用)	透明水彩によるオリジナルイラストの制作 アイデアスケッチの制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習

		※クロッキー帳用意	
第26回	”	”	”
第27回	技法研究② 油彩基礎技法	静物画制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第28回	”	”	”
第29回	技法研究① 透明水彩技法 (応用)	透明水彩によるオリジナルイラストの制作 アイデアスケッチから下書き制作へ	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第30回	”	”	”
第31回	技法研究② 油彩基礎技法	静物画制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第32回	”	”	”
第33回	技法研究①	透明水彩によるオリジナルイラストの制作 着色	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第34回	”	”	”
第35回	技法研究② 油彩基礎技法	静物画制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第36回	”	”	”
第37回	技法研究①	透明水彩によるオリジナルイラストの制作、仕上げ プレゼンテーション（アクティブラーニング）、講評 作品の提出	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第38回	”	”	”
第39回	技法研究② 油彩基礎技法	静物画制作、仕上げ 講評 作品の提出	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第40回	”	”	”
第41回	オリジナル作品制作	オリジナル作品について課題説明 アイデアスケッチ開始（描画材など自由、作品サイズB2程度）	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第42回	”	”	”
第43回	オリジナル作品制作	講師によるアイデアスケッチ チェック 下絵制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第44回	”	”	”
第45回	オリジナル作品制作	講師によるアイデアスケッチ チェック 下書き制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第46回	”	”	”
第47回	オリジナル作品制作	下書きから着色などの制作へ	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第48回	”	”	”
第49回	オリジナル作品制作	制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第50回	”	”	”
			45

第51回	オリジナル作品制作	制作	予習 分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第52回	”	”	”
第53回	オリジナル作品制作	制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第54回	”	”	”
第55回	オリジナル作品制作	制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第56回	”	”	”
第57回	オリジナル作品制作	制作	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第58回	”	”	”
第59回	オリジナル作品制作	仕上げ プレゼンテーション（アクティブラーニング）、講評 作品の提出	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第60回	”	”	”

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。

必要に応じて資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

授業への取り組み：30%、課題提出、作品の完成度：70%

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

作品制作に必要な画材、エスキース等は、事前に準備し授業に臨む事。

作品が一定水準に達していないときは再提出とする場合がある。授業態度等についても重視する。

オフィス・アワー

松村：月曜日 12:30～13:20 場所：1号館 1F 111研究室

小松原：木曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室

講義コード	40190002
講義名	アート・デザインⅠ（吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R110
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉沢 正美	指定なし
教員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業はマンガやコミックイラストレーションに関する基礎的な知識や技術について学習する。マンガ表現における基本的なテクニックを始め、この分野に求められる表現力や描写力を養うと共に技法研究も行う。持ち込みや投稿に使用できるオリジナルストーリーマンガ作品の制作を教育目標として、今後のアート・デザインⅡ・Ⅲ等へ展開するための第一歩の授業となる。
※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、マンガに関する基礎知識や技術を身につけるとともに、描画力・ストーリー制作の表現について学んでいく。アート・デザインⅡ以降の応用的な授業に対応するための準備段階として学習目的を設定している。

到達目標

以下に到達目標を記す

- 基礎技法の修得
- 様々な描画表現の理解
- キャラクターデザインについての理解
- ストーリー制作の基礎

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	自己紹介 四コマ漫画	課題内容説明、アイデアスケッチ	予習：90分 自己紹介四コマ漫画で使いたいアイデアを準備する
	自己紹介		

第2回	四コマ漫画	下描き	復習：90分 自己紹介四コマ漫画制作
第3回	自己紹介四コマ漫画	制作作業	予習：90分 自己紹介四コマ漫画制作
第4回	自己紹介四コマ漫画	講評会	復習：90分 講評会の振り返り
第5回	模写による技法表現	課題内容説明、アイデアスケッチ	予習：90分 模写の題材を考える
第6回	模写による技法表現	アイデアスケッチ	復習：90分 模写による技法表現制作
第7回	模写による技法表現	下絵作業	予習：90分 模写による技法表現制作
第8回	模写による技法表現	下絵作業	復習：90分 模写による技法表現制作
第9回	模写による技法表現	下絵作業	予習：90分 模写による技法表現制作
第10回	模写による技法表現	下絵作業	復習：90分 模写による技法表現制作
第11回	模写による技法表現	主線入れ	予習：90分 模写による技法表現制作
第12回	模写による技法表現	主線入れ	復習：90分 模写による技法表現制作
第13回	模写による技法表現	ベタ塗り、トーンワーク	予習：90分 模写による技法表現制作
第14回	模写による技法表現	ベタ塗り、トーンワーク	復習：90分 模写による技法表現制作
第15回	模写による技法表現	制作作業	予習：90分 模写による技法表現制作
第16回	模写による技法表現	アクティブ・ラーニング：講評会 お互いの作品を鑑賞し、その意見や感想を述べ合う	復習：90分 講評会の振り返り
第17回	基礎技法①	遠近法①	予習：90分 遠近法①のリサーチ
第18回	基礎技法①	遠近法①	復習：90分 遠近法①の振り返り
第19回	漫画表現技法①	人体のバランス・男女の描き分け①	予習：90分 人体のバランス・男女の描き分け①のリサーチ
	漫画表現		復習：90分 人体のバランス・

第20回	技法①	人体のバランス・男女の描き分け①	男女の描き分け①の振り返り
第21回	基礎技法②	遠近法②	予習：90分 遠近法②のリサーチ
第22回	基礎技法②	遠近法②	復習：90分 遠近法②の振り返り
第23回	漫画表現技法②	人体のバランス・男女の描き分け②	予習：90分 人体のバランス・男女の描き分け②のリサーチ
第24回	漫画表現技法②	人体のバランス・男女の描き分け②	復習：90分 人体のバランス・男女の描き分け②の振り返り
第25回	基礎技法③	遠近法③	予習：90分 遠近法③のリサーチ
第26回	基礎技法③	遠近法③	復習：90分 遠近法③の振り返り
第27回	漫画表現技法③	漫画における基本技法①	予習：90分 漫画における基本技法①のリサーチ
第28回	漫画表現技法③	漫画における基本技法①	復習：90分 漫画における基本技法①の振り返り
第29回	基礎技法④	動きの表現①	予習：90分 動きの表現①のリサーチ
第30回	基礎技法④	動きの表現①	復習：90分 動きの表現①の振り返り
第31回	漫画表現技法④	漫画における基本技法②	予習：90分 漫画における基本技法②のリサーチ
第32回	漫画表現技法④	漫画における基本技法②	復習：90分 漫画における基本技法②の振り返り
第33回	基礎技法⑤	動きの表現②	予習：90分 動きの表現②のリサーチ
第34回	基礎技法⑤	動きの表現②	復習：90分 動きの表現②の振り返り
第35回	漫画表現技法⑤	漫画における基本技法③	予習：90分 漫画における基本技法③のリサーチ
第36回	漫画表現技法⑤	漫画における基本技法③	復習：90分 漫画における基本技法③の振り返り
第37回	5ページマンガ	課題内容説明、ネーム作成	予習：90分 5ページマンガ制作準備
第38回	5ページマンガ	ネーム作成	復習：90分 5ページマンガ制作
第39回	5ページマンガ	ネーム作成	予習：90分 5ページマンガ制作
第40回	5ページマンガ	ネーム作成	復習：90分 5ページマンガ制作
第41回	5ページマンガ	ネーム作成	予習：90分 5ページマンガ制作
第42回	5ページマンガ	ネーム作成	復習：90分 5ページマンガ制作
第43回	5ページマンガ	ネーム作成	予習：90分 5ページマンガ制作
第44回	5ページマンガ	ネーム作成	復習：90分 5ページマンガ制作

第45回	5 ページマンガ	制作作業	予習：90分 5 ページマンガ制作
第46回	5 ページマンガ	制作作業	復習：90分 5 ページマンガ制作
第47回	5 ページマンガ	制作作業	予習：90分 5 ページマンガ制作
第48回	5 ページマンガ	制作作業	復習：90分 5 ページマンガ制作
第49回	5 ページマンガ	制作作業	予習：90分 5 ページマンガ制作
第50回	5 ページマンガ	制作作業	復習：90分 5 ページマンガ制作
第51回	5 ページマンガ	制作作業	予習：90分 5 ページマンガ制作
第52回	5 ページマンガ	制作作業	復習：90分 5 ページマンガ制作
第53回	5 ページマンガ	制作作業	予習：90分 5 ページマンガ制作
第54回	5 ページマンガ	制作作業	復習：90分 5 ページマンガ制作
第55回	5 ページマンガ	制作作業	予習：90分 5 ページマンガ制作
第56回	5 ページマンガ	制作作業	復習：90分 5 ページマンガ制作
第57回	5 ページマンガ	制作作業	予習：90分 5 ページマンガ制作
第58回	5 ページマンガ	制作作業	復習：90分 5 ページマンガ制作
第59回	5 ページマンガ	制作作業	予習：90分 5 ページマンガ制作
第60回	5 ページマンガ	アクティブ・ラーニング：講評会 お互いの作品を鑑賞し、その意見や感想を述べ合う	復習：90分 講評会の振り返り

教科書
使用しない
参考書
使用しない（必要に応じて資料配布）
成績評価の方法・基準
単位認定50点以上。課題提出80％ 授業参加度20％ ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。 「予習内容」アイデア考案、情報収集を行い自分の考えをまとめる。 「復習内容」目標到達に向け主体的な学習を行い技能習得に努める。
オフィス・アワー
月曜日 10:50-11:00 1号館103教室（門倉） 木曜日 10:50-11:00 1号館103教室（吉沢）

講義コード	40190003
講義名	アート・デザインⅠ（小松原/三関）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R110
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

グラフィックデザインの基礎となる知識と技術を作品の制作を通して学んでいく。更には、優れた作品を創り出す為のコンセプトの開発テクニック、発想・アイデアや表現計画、そして実際の印刷入稿などの全体像を学んでいく。また実際のDTPソフトの操作方法を学びながら、制作プロセスや制作の為の基本的テクニックを実際の作品制作を通して習得していく。
デザインって面白い！そんな感動を授業を通して感じ取ってもらいたい。テーマから発想し、コンセプトを導き出し、表現の為の構成要素へのアイデアの生み出し方を理解することで、クリエイターとして、そしてグラフィックデザインに対しての創作意欲と情熱を持たせる。

担当教員／月曜日：三関 木曜日：小松原

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

- ◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解する。
- ◆業界の全体像、その仕組み、戦略などについて理解を深める。
- ◆DTPの為の操作技術を身につけ、発想を具体的に表現する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
	グラフィックデザイン	グラフィックデザインの全体像 プレゼンテーションテク	予習45分：シラバスを事前によく

第1回	ついでの 解説 雑誌カ バーデザ インの概 要説明	ニックについてのレクチャー 女性ファッション雑誌カバーデザインの概要説明 サムネ イル制作からカンパへ、ビジュアル画像案データの配布 見出しタイトル案の作成 ●Macの基本操作説明	読み理解し ておくこ と。 復習45分： レクチャー 内容の復習
第2回	”	”	”
第3回	グラ フィック デザインの 基本演 習 雑誌カ バーデザ イン[1] Mac操作 の基本	サムネイル制作からカンパへ ●Macの基本操作説明 構成 要素の作成 テキストデータの作成と保存 写真等のスキャ ニング方法 画像のトリミング 画像補正・台紙制作トンボ (CMYK)の作成 ●CMYKについての説明	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第4回	”	”	”
第5回	グラ フィック デザインの 基本演 習 雑誌カ バーデザ イン[2]	●ペンツールでタイトルロゴを作る▶ペンツール練習 塗 りと線 カラーの設定 台紙でのマージンとガイドの設定 ●デザインロジックについてのレクチャー	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第6回	”	”	”
第7回	グラ フィック デザインの 基本演 習 雑誌カ バーデザ イン[3]	●構成要素の配置・レイアウト ビジュアル・文字デー タ・ロゴタイプ・パターンなどの主な構成要素を中心に 台紙に配置してレイアウトする▶文字データの加工 配 置〜リンクなどの説明	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第8回	”	”	”
第9回	グラ フィック デザインの 基本演 習 雑誌カ バーデザ イン[4]	カンパ制作▶レイアウトデザインの継続 個人的に不明な点を質問しながら作業の継続	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第10回	”	”	”
第11回	グラ フィック デザインの 基本演 習 雑誌カ バーデザ イン[5]	カンパ制作▶レイアウトデザインの継続 個人的に不明な点を質問しながら作業の継続	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
12	”	”	”

第 回			
第13回	グラフィックデザインの基本演習 雑誌カバーデザイン[6]	画像データ、文字データを盛り込みレイアウトデータの制作 制作の継続・全体レイアウトへ	予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第14回	”	”	”
第15回	グラフィックデザインの基本演習 雑誌カバーデザイン[7]	データの保存・プリントの仕方 MACによるレイアウトデータの制作・レイアウトの完成した人からプリントへ 次回提出物／サムネイル、コメントのポイント、レイアウト完成プリントの3種	予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第16回	”	”	”
第17回	グラフィックデザインの基本演習 雑誌カバーデザイン[8]	プレゼンテーションの実施（アクティブラーニング）、 講評 雑誌カバーデザインプリント作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出	予習45分： プレゼンテーションの準備 復習45分： 講評内容について検証
第18回	”	”	”
第19回	動物園に必要なピクトグラムのデザイン[1]	課題概要説明 ベジエ曲線演習（photoshopでの下絵の取り込み～Illustratorペンツールによる制作演習）動物園にどんな設備やサービスが必要か、そして色々な動物をモチーフに、誰でも理解できるピクトグラム（絵文字）をデザインする→アイデアスケッチ	予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第20回	”	”	”
第21回	動物園に必要なピクトグラムのデザイン[2]	アイデアスケッチ	予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第22回	”	”	”
第23回	動物園に必要なピクトグラムのデザイン[3]	アイデアスケッチ	予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第24回	”	”	”
第25回	動物園に必要なピクトグラ	手描きアイデアスケッチの中から12点を選び、イラストレーター・ペンツールを使いデータ化する アイデアス	予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分：

	ムのデザイン[4]	ケッチ→スキャニング→ペンツールでトレース	レクチャー 内容の復習
第26回	”	”	”
第27回	動物園に必要なピクトグラムのデザイン[5]	イラストレーター・ペンツール（ベジェ曲線）を使い制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第28回	”	”	”
第29回	動物園に必要なピクトグラムのデザイン[6]	イラストレーター・ペンツールを使い制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第30回	”	”	”
第31回	動物園に必要なピクトグラムのデザイン[7]	イラストレーター・ペンツールを使い制作 A4サイズに3点ずつ、4枚プリント出力、計12点のデザインを提出	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第32回	”	”	”
第33回	動物園に必要なピクトグラムのデザイン[8]	プレゼンテーションの実施（アクティブラーニング）、 講評 A4サイズに3点ずつ、4枚プリント出力、計12点の作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 ●次回課題の概要説明	予習45分： プレゼン テーション の準備 復習45分： 講評内容に ついて検証
第34回	”	”	”
第35回	広告ツールデザイン[1]	●新課題・テーマパークの交通広告（電車中吊りポスター）について概要説明 広告表現の発想法、コンセプトの導き出し方等についてのレクチャー、発想からサムネイルへ	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第36回	”	”	”
第37回	広告ツールデザイン[2]	発想からサムネイルへ 企画書、サムネイル→ビジュアル・文字要素など構成要素の発想と制作→デザインの決定した人からカンプの制作・ビジュアル・文字要素など構成要素の制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第38回	”	”	”
第39回	広告ツールデザイン[3]	サムネイル→ビジュアル・文字要素など構成要素の発想と制作→デザインの決定した人からカンプの制作・ビジュアル・文字要素など構成要素の制作→MACによるカンプ制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習

第40回	”	”	”
第41回	広告ツールデザイン[4]	カンパ制作の継続	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第42回	”	”	”
第43回	広告ツールデザイン[5]	カンパ制作の継続	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第44回	”	”	”
第45回	広告ツールデザイン[6]	カンパ制作の継続	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第46回	”	”	”
第47回	広告ツールデザイン[7]	カンパ制作の継続・作品が完成した人からプリント出力 プレゼンテーションの為の発表原稿作成	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第48回	”	”	”
第49回	広告ツールデザイン[8]	プレゼンテーションの実施（アクティブラーニング） 作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の 提出 講評 ●グリーティングカードデザインの概要説明	予習45分： プレゼン テーション の準備 復習45分： 講評内容に ついて検証
第50回	”	”	”
第51回	グリーティングカードデザイン[1]	グリーティングカードデザインの概要説明 バースデー カード、暑中見舞い、クリスマスカードなど2種類以上の グリーティングカードを制作 テーマに沿ってデザインを考えアイデアスケッチへ	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第52回	”	”	”
第53回	グリーティングカードデザイン[2]	サムネイルデザインを決定 ビジュアルなど各構成要素の 制作へ	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第54回	”	”	”
	グリー		予習45分：

第55回	ディング カードデ ザイン[3]	ビジュアルなど各構成要素の制作	レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第56回	”	”	”
第57回	グリー ディング カードデ ザイン[4]	ビジュアルなど各構成要素の制作 規定の仕様にて仕上げ→プリントへ	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第58回	”	”	”
第59回	グリー ディング カードデ ザイン[5]	仕上げ・規定の仕様にて仕上げ後、プリントし作品及び 作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出、講 評 学生による授業評価	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： 講評内容に ついて検証
第60回	”	”	”

教科書

使用しない

参考書

使用しない

必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10%
上記1～3の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常の中のいろんなメディアに関心を持つことから始まります。街の中のサインボードやポスター、店舗に置かれたパンフレットや折込チラシ、スーパーやコンビニの新商品のパッケージ。それらの多くがプロのデザイナーによりデザインされたものです。積極的により良いデザインを見ることが、そして、その良さを感じ取る訓練を日々の日常の中からすることが大切です。

授業では、デザイン業界の現場で実際に多く取り組んでいる内容を中心に授業を展開。毎回、進行状況に合わせた制作プロセスの説明がありますので、1回1回の授業が大切です。休まず出席して下さい。※特にデザインに関するレクチャーやMACの操作方法については、専用のノートを用意し書き留めること。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：

三関：月曜日 10:50～11:00 場所：1号館 3F 104教室

小松原：木曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室

講義コード	40190004
講義名	アート・デザインⅠ（寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R110
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし
教員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

現代の生活の中で多岐に渡るものが対象となる「ファッション」という領域において、ブランドのコンセプトや世界観を構築していくという点は重要とされている。ファッションの歴史をはじめ、市場の動向やトレンド、流通を知ることによって多様化する現代のニーズに対応できる知識を修得する。

さらに、機能的で着やすく、美しいシルエットの衣服を作製するために採寸を行う。自分の体形を知ったうえで、原型を作製しそれを基に基本製図や縫製の基礎技術を学ぶ。スカートとブラウス、ファッションアイテムの実物を制作しながら衣服や素材に関する知識を修得し、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力を養う。

原則として月曜→寺村、木曜→石井、で行うが、内容に応じて変更する場合もあります。
 ※本授業は作品の提出及びまとめたノート等により成績評価を行い、定期試験は実施いたしません。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解させるために、スカートとブラウス、ファッションアイテムの実物を制作しながら衣服や素材に関する知識を修得し、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力を養う。

ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得するために、採寸を行い、自分の体形を知りながら原型を作製する。それを基に基本製図や縫製の基礎技術を学び、作りたいもののイメージをかたちにさせる。

ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために、ファッションの歴史をはじめ、市場の動向やトレンド、流通を学び、作品のコンセプトに反映させる。

到達目標

被服に関する衣服の知識を得ながら、総合的な知識と制作技術を修得し、さらに、造形力と美的感覚を養う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	概要説明、 基礎技術	繊維素材についての違い、特徴、 扱い方のレクチャー	予習 25分 繊維素材について調べておく 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第2回	概要説明、 基礎技術	道具についての基礎知識、基礎縫いについての概要説明	予習 25分 道具の確認、準備を行う 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第3回	パターンメイキング基礎 1	採寸、製図のレクチャー	予習 25分 道具の準備を行う 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第4回	パターンメイキング基礎 1	製図のレクチャー	予習 25分 道具の確認、準備を行う 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第5回	基礎縫い 1	指ぬきの使い方、手縫いによる技術（玉止め、玉結び、並縫い、ぐし縫い、本返し、半返し）	予習 45分 道具の確認、準備を行う。 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第6回	基礎縫い 1	同上	上記参照
第7回	パターンメイキング基礎 2	製図の基礎のレクチャー	予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第8回	パターンメイキング基礎 2	同上	上記参照
第9回	基礎縫い 2	しつけの方法、手縫いによる技術（縦まつり、流しまつり、奥まつり）	予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第10回	基礎縫い 2	同上	上記参照
第11回	パターンメイキング基礎 3	製図の基礎のレクチャー	予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第12回	パターンメイキング基礎 3	同上	上記参照
第13回	基礎縫い 3	手縫いによる技術（星止め、ボタンつけ）	予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第14回	基礎縫い 3	同上	上記参照

第15回	パターンメイキング基礎 4	製図の基礎のレクチャー	予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第16回	パターンメイキング基礎 4	同上	上記参照
第17回	ファッションと色彩 1	カラーチップを用いた色合わせの実習	予習 45分 道具（カラーチップ）の準備 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第18回	ファッションと色彩 1	同上	上記参照
第19回	ミシン講座	ミシンの使い方のレクチャー	予習 25分 道具（ミシン糸、シーチング、ボビン）を準備する 復習 20分 ミシンの使い方を確認する
第20回	スカートの制作 1	製図	予習 25分 製図の方法を確認しておく 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第21回	ファッションと色彩 2	トレンドカラーについてのレクチャー	予習 45分 身の回りにあるファッションアイテムの色を調査する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第22回	ファッションと色彩 2	同上	上記参照
第23回	スカートの制作 2	仮縫い、試着補正	予習 45分 道具（シーチング）の準備 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第24回	スカートの制作 2	同上	上記参照
第25回	レッグウエアの制作 1 産地見学	桐生市内にあるレッグウエアに関係のある事業者、工場を見学する（学外での演習になります）	予習 45分 レッグウエアの市場調査を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第26回	レッグウエアの制作 1 産地見学	同上	上記参照
第27回	スカートの制作 3	布の地直し、裁断	予習 45分 地直しの準備（水に一晚浸し、干しておく） 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第28回	スカートの制作 3	同上	上記参照
第29回	レッグウエアの制作 2	ファッションの基礎知識、各種プリント技法のレクチャー	予習 45分 レッグウエアの市場調査を行う 復習 45分 授業で講義したセク

			ションの復習を行う
第30回	レグウェアの制作 2	同上	上記参照
第31回	スカートの制作 4	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第32回	スカートの制作 4	同上	上記参照
第33回	レグウェアの制作 3	ファッションの基礎知識、各種プリント技法のレクチャー	予習 45分 レグウェアの市場調査を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第34回	レグウェアの制作 3	同上	上記参照
第35回	スカートの制作 5	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第36回	スカートの制作 5	同上	上記参照
第37回	レグウェアの制作 4	ファッションの基礎知識のレクチャー、企画書、デザイン画の作製	予習 45分 レグウェアのラフスケッチを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第38回	レグウェアの制作 4	同上	上記参照
第39回	スカートの制作 6	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第40回	スカートの制作 6	同上	上記参照
第41回	レグウェアの制作 5	レグウェアの制作	予習 45分 デザイン画の見直し、材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第42回	レグウェアの制作 5	同上	上記参照
第43回	スカートの制作 7	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第44回	スカートの制作 7	同上	上記参照
第45回	レグウェアの制作 6	レグウェアの制作	予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第46回	レグウェアの制作	同上	上記参照

	6		
第47回	スカートの制作 8	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第48回	スカートの制作 8	同上	上記参照
第49回	レッグウェアの制作 7	レッグウェアの制作	予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第50回	レッグウェアの制作 7	同上	上記参照
第51回	スカートの制作 9	仕上げ、講評会 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第52回	スカートの制作 9	同上	上記参照
第53回	レッグウェアの制作 8	レッグウェアの制作	予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第54回	レッグウェアの制作 8	同上	上記参照
第55回	ブラウスの制作 1	ブラウスのデザイン	予習 45分 身の回りにあるブラウスのデザインを調べ、自分がどの形にしたいかを決めておく 復習 45分 製図の方法について確認しておく
第56回	ブラウスの制作 1	同上	上記参照
第57回	レッグウェアの制作 9	仕上げ、講評会、作品撮影 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第58回	レッグウェアの制作 9	同上	上記参照
第59回	ブラウスの制作 2	製図	予習 45分 道具・材料の準備を行う 復習 45分 製図の方法を確認する
第60回	ブラウスの制作 2	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

文化ファッション大系 服飾造形講座①～⑥
成績評価の方法・基準
単位認定 50 点以上／1.平常点（取組みの姿勢） 30 % 2.作品点／ 70 % 上記1および2の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。 ※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。 講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける
履修のポイント
実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。
オフィス・アワー
寺村：月・火 12：30-13：20 寺村研究室（122） 石井：木（9：20-12：30）、105教室

講義コード	40190005
講義名	アート・デザインⅠ（山本博/及川）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R110
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教 員	及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、インテリア・空間デザインを学ぶ導入として、設計製図、透視図、模型、スケッチソフト、構造や設備の概要について学ぶ。課題では、ディスプレイ空間と住空間を題材に、人間の主観に関わるデザインについて実習を通じて学ぶ。

授業では、デザインを表示するための設計製図や透視図法の基礎技術を練習課題によって習得し、その技術を活用して、商業空間を対象としたディスプレイデザインに取り組み、客観性ある表示と「考え方」の表現について学ぶ。次に実在する空間「マイルーム」を対象に実測をおこない、制作のプロセスにおいて見えてくる構造や仕上げ、設備の概要などについても学んでいく。状況に応じて学外の現場を見学する機会をもうける。

なお本講座は、インテリア・空間デザインに関わる「基礎知識と基礎技術」を身につけることを教育目標としている。また本講座は商業施設士補資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、基礎的な製図のルールを理解、透視図法の習得、建築空間に関わる基礎的な知識の習得を目指す。また、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、インテリア・空間デザインの基礎となる知識と技術を身につけることを目指す。

到達目標

本講座の到達目標は、

1. 基礎的な製図のルールの理解
2. 透視図法の習得
3. 建築空間に関わる基礎的な知識の習得
4. 人間の主観に関わるデザインの理解

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間

第1回	ガイダンス 表現基礎Ⅰ 製図	授業内容についてのガイダンス 空間デザインの領域と業務についての解説 <アクティブラーニング> 日常生活の空間デザインをテーマに 意見交換する	予習：45分 ショップやイベント会場などの 周辺のインテリア・空間デザイン の事例を見学しておく 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む）
第2回	同上	製図用具についての解説 線の練習	上記参照
第3回	表現基礎Ⅰ 製図	線の練習	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む）
第4回	同上	同上	上記参照
第5回	表現基礎Ⅰ 製図	線の練習	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む）
第6回	同上	文字の練習	上記参照
第7回	表現基礎Ⅰ 製図	三面図の練習 相関体	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む）
第8回	同上	同上	上記参照
第9回	表現基礎Ⅰ 製図	立体の把握 模型	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む）
第10回	同上	同上	上記参照
第11回	表現基礎Ⅰ 製図	アイソメ図の理解	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む）
第12回	同上	同上	上記参照
第13回	デザインⅠ ディスプレイデザイン	ディスプレイの計画 デザインング	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ 等も含む）
第14回	同上	同上	上記参照
			予習：45分

第15回	デザインⅠ ディスプレイデザイン	ディスプレイの計画 デザイニング	制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	同上	同上	上記参照
第17回	デザインⅠ ディスプレイデザイン	ディスプレイの計画 デザイニング・図面の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第18回	同上	同上	上記参照
第19回	デザインⅠ ディスプレイデザイン	図面の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	同上	同上	上記参照
第21回	デザインⅠ ディスプレイデザイン	図面の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第22回	同上	同上	上記参照
第23回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 図法	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第24回	同上	同上	上記参照
第25回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 図法	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	同上	同上	上記参照
第27回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 図法	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	同上	同上	上記参照
第29回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分

	図法		制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	同上	同上	上記参照
第31回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 図法	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第32回	同上	同上	上記参照
第33回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 図法	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第34回	同上	同上	上記参照
第35回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 図法	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第36回	同上	同上	上記参照
第37回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 図法	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第38回	同上	同上	上記参照
第39回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 図法	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第40回	同上	同上	上記参照
第41回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 図法	図面・完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第42回	同上	同上	上記参照
第43回	デザインⅠ ディスプレイデザイン 表現基礎Ⅰ 模型	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	同上	同上	上記参照

第45回	デザインⅠ ディスプレイ デザイン 表現基礎Ⅰ 模型	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	同上	同上	上記参照
第47回	デザインⅠ ディスプレイ デザイン 表現基礎Ⅰ 模型	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第48回	同上	同上	上記参照
第49回	デザインⅠ ディスプレイ デザイン 表現基礎Ⅰ 模型	講評会 ＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションし、 教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	同上	同上	上記参照
第51回	デザインⅡ 住まいの計画とデザインの基礎	インテリア計画 実測実習 ＜アクティブラーニング＞ サンプルとなる空間を設定し、グループワークで効率の良い実測をテーマに意見を出し合い実践する。	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	同上	同上	上記参照
第53回	デザインⅡ 住まいの計画とデザインの基礎	インテリア計画 人間工学の理解	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第54回	同上	同上	上記参照
第55回	デザインⅡ 住まいの計画とデザインの基礎	インテリア計画 木造建築の構造の理解と図面の作成	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第56回	同上	同上	上記参照
第57回	デザインⅡ 住まいの計画とデザインの基礎	インテリア計画 木造建築の構造の理解と図面の作成	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第58回	同上	同上	上記参照
	デザインⅡ 住まいの計画	講評会 ＜アクティブラーニング＞	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）

第59回	画とデザインの基礎	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第60回	同上	同上	上記参照

教科書

「インテリアコーディネータハンドブック総合（上）（下），（社）インテリア産業協会」

参考書

「新版 新しい建築製図，編集委員会編」

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
作品評価100%
定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする

オフィス・アワー

山本：月曜日、16:30-18:30、山本研究室（1号館131）
及川：木曜日、10:50-11:00、山本研究室（1号館131）

講義コード	40200001
講義名	アート・デザインII（松村/佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R130
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では絵画やイラストレーションを作品制作を通して追求して行く。この二つの分野は方向性に違いはあっても、一つの画面に対して作業を行い、表現していく点では共通しており、それぞれに吸収し合える面も多い。技法を研究し、自分の表現したい世界観を具現化するために必要な基礎技術や画材等の知識についても学習していく。絵画とイラストレーションのそれぞれの分野における表現方法の追求と修得を目標とし、各自が表現したいオリジナル作品の制作も行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、対象の理解をもとにした表現をするための知識や技能、および選択した専門分野の様々な表現方法を修得する。

到達目標

- 無彩色の細密表現と構成力の習得
- マチエール技法の凹凸による質感表現の習得
- 出版業界で求められるリアル描画の基礎を習得
- ゲーム業界で求められるCGイラスト制作の基礎を習得
- トリックアート制作による視覚表現の習得
- 講評会によるプレゼンテーション能力の基礎を習得する

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	イメージ研究	鉛筆によるモノクローム作品の制作（内容説明、エスキース）	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	〃	〃	

第3回	イメージ研究	鉛筆によるモノクローム作品の制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	//	//	
第5回	イメージ研究	鉛筆によるモノクローム作品の制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	//	//	
第7回	イメージ研究	鉛筆によるモノクローム作品の制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	//	//	
第9回	イメージ研究	鉛筆によるモノクローム作品の制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	//	//	
第11回	イメージ研究	鉛筆によるモノクローム作品の制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	//	//	
第13回	イメージ研究	鉛筆によるモノクローム作品の制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	//	//	
第15回	イメージ研究	鉛筆によるモノクローム作品の制作（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	//	//	
第17回	技法研究	マチエール研究による作品制作（画材説明、アイデアスケッチ）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	//	//	
第19回	技法研究	マチエール研究による作品制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	//	//	
第21回	技法研究	マチエール研究による作品制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	//	//	

第23回	技法研究	マチエール研究による作品制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	//	//	
第25回	技法研究	マチエール研究による作品制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	//	//	
第27回	技法研究	マチエール研究による作品制作（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	//	//	
第29回	課題Ⅰ	リアルイラストレーション制作（資料収集、エスキース）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	//	//	
第31回	オリジナルC G 作品制作	C G イラスト制作（イメージ画、アイデアスケッチ）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第32回	//	//	
第33回	課題Ⅰ	リアルイラストレーション制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第34回	//	//	
第35回	オリジナルC G 作品制作	C G イラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第36回	//	//	
第37回	課題Ⅰ	リアルイラストレーション制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第38回	//	//	
第39回	オリジナルC G 作品制作	C G イラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第40回	//	//	
第41回	課題Ⅰ	リアルイラストレーション制作（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第42回	//	//	
第43回	オリジナル C G 作品制作	C G イラスト制作	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第44回	//	//	
第45回	課題Ⅱ	トリックアート制作（前提講義、アイデアスケッチ）	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第46回	//	//	
第47回	オリジナル C G 作品制作	C G イラスト制作	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第48回	//	//	
第49回	課題Ⅱ	トリックアート制作	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第50回	//	//	
第51回	オリジナル C G 作品制作	C G イラスト制作	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第52回	//	//	
第53回	課題Ⅱ	トリックアート制作	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第54回	//	//	
第55回	オリジナル C G 作品制作	C G イラスト制作	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第56回	//	//	
第57回	課題Ⅱ	トリックアート制作（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第58回	//	//	
第59回	オリジナル C G 作品制作	C G イラスト制作（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第60回	//	//	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。 必要に応じて配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定50点以上 授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価 ※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。 各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。 (アクティブラーニング)
履修のポイント
アイデア考案、情報収集を授業準備時に行い自身の考えをまとめる。目標到達に向け、主体的な学習を授業時に行い技能習得に努める。
オフィス・アワー
月曜日、12:30～13:20 (昼休み)、1号館1F:111研究室 (松村) 木曜日、12:30～13:20 (昼休み)、1号館2F:121研究室 (佐野)

講義コード	40200002
講義名	アート・デザインⅡ（吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R130
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉沢 正美	指定なし
教員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業ではアートデザインⅠを受けて、更に専門的に学んでいく。基礎技法の更なる修得及びマンガ制作の核とも言えるネーム作業のノウハウについて学び、プロットの立て方、ストーリー展開、ページ割り、コマ割りについて等様々なスキルを身につけていくことを、教育目標とする。共通テーマによる制作を通して個人の感性の違いについても理解を深める。
※シラバスの内容・実施順については状況により変更する場合がある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、制作するマンガ作品を持ち込みや投稿に耐え、やがてはプロとしてデビューすることも視野に入れられるレベルとしていく。そのための知識・技術を授業を通して学び、自ら身につけていくことを目的としている。

到達目標

以下を到達目標とする。

- ・基礎技法修得。
- ・キャラクターやストーリーについての理解。
- ・ネーム作業のノウハウの理解。
- ・与えられたテーマによるストーリー作品のクオリティアップ。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	作品 Ⅰ①	テーマによる1ページイラスト・マンガ	予習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガの準備
第2回	作品	テーマによる1ページイラスト・マンガ	復習：90分 テーマによる1ページイラスト・マ

	I ②		マンガ制作
第3回	作品 I ③	テーマによる1ページイラスト・マンガ	予習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガ制作
第4回	作品 I ④	テーマによる1ページイラスト・マンガ（完成・提出・講評）	復習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガの振り返り
第5回	作品 II ①	テーマによる5ページマンガ	予習：90分 テーマによる5ページマンガの準備
第6回	作品 II ②	テーマによる5ページマンガ	復習：90分 テーマによる5ページマンガ制作
第7回	作品 II ③	テーマによる5ページマンガ	予習：90分 テーマによる5ページマンガ制作
第8回	作品 II ④	テーマによる5ページマンガ	復習：90分 テーマによる5ページマンガ制作
第9回	作品 II ⑤	テーマによる5ページマンガ	予習：90分 テーマによる5ページマンガ制作
第10回	作品 II ⑥	テーマによる5ページマンガ	復習：90分 テーマによる5ページマンガ制作
第11回	作品 II ⑦	テーマによる5ページマンガ	予習：90分 テーマによる5ページマンガ制作
第12回	作品 II ⑧	テーマによる5ページマンガ	復習：90分 テーマによる5ページマンガ制作
第13回	作品 II ⑨	テーマによる5ページマンガ	予習：90分 テーマによる5ページマンガ制作
第14回	作品 II ⑩	テーマによる5ページマンガ（完成・提出・講評）	復習：90分 テーマによる5ページマンガの振り返り
第15回	作品 III ①	オリジナル16ページマンガ（プロット）	予習：90分 オリジナル16ページマンガの準備
第16回	作品 III ②	オリジナル16ページマンガ（プロット）	復習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第17回	作品 III ③	オリジナル16ページマンガ（ネーム）	予習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第18回	作品 III ④	オリジナル16ページマンガ（ネーム）	復習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第19回	作品 III ⑤	オリジナル16ページマンガ（ネーム）	予習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第20回	作品 III ⑥	オリジナル16ページマンガ（ネーム）	復習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第21回	作品 III ⑦	オリジナル16ページマンガ（下絵）	予習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第22回	作品 III ⑧	オリジナル16ページマンガ（下絵）	復習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第23回	作品 III ⑨	オリジナル16ページマンガ（下絵）	予習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第24回	作品 III ⑩	オリジナル16ページマンガ（下絵）	復習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
25	作品		予習：90分 オリジナル

第 回	Ⅲ⑪	オリジナル16ページマンガ（ペン入れ）	16ページマンガ制作
第26回	作品Ⅲ⑫	オリジナル16ページマンガ（ペン入れ）	復習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第27回	作品Ⅲ⑬	オリジナル16ページマンガ（ペン入れ）	予習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第28回	作品Ⅲ⑭	オリジナル16ページマンガ（仕上げ）	復習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第29回	作品Ⅲ⑮	オリジナル16ページマンガ（仕上げ）	予習：90分 オリジナル16ページマンガ制作
第30回	作品Ⅲ⑯	アクティブ・ラーニング：講評会でお互いの作品を鑑賞し、意見や感想を述べ合う。オリジナル16ページマンガ（完成、提出）	復習：90分 オリジナル16ページマンガの振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 課題提出80% 授業参加度20%

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。
必ず期限内に提出するために、授業時間外でも自主的に作品の構想、制作を進めること。

オフィス・アワー

月曜日 10:50-11:00 1号館103教室（門倉） 木曜日 10:50-11:00 1号館103教室（吉沢）

講義コード	40200003
講義名	アート・デザインⅡ（小松原/三関）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R130
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインⅡ(G)では、アート・デザインⅠ(G)に続き、更に実践的技術と専門的知識を身につけるべく授業展開を図る。特に各ジャンル別のプレゼンテーションテクニック、DTP入稿の為の知識と技術を養い、実際のデザインの現場をシュミレーションすることで、プロへの意識を感じ取り、更にはグラフィックデザイナーとしての領域での実践力を身につける。
デザインって面白い！そんな感動を授業を通して感じ取らせたい。テーマから発想し、コンセプトを導き出し、表現の為の構成要素へのアイデアの生み出し方を理解することで、クリエイターとして、そしてグラフィックデザインに対しての創作意欲と情熱を持たせる。

担当教員／月曜日：三関 木曜日：小松原

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

- ◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解することで、更なる発想力を身につける。
- ◆業界の全体像、その仕組み、戦略などについて理解を更に深める。
- ◆DTPの為の操作技術を身につけ、発想を具体的に美しく表現できるようになる。更に応用力を身につける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
		課題概要説明 雑誌広告に関するレクチャー 市	予習45分：シラバスを事前によ

第1回	化粧品の雑誌広告デザイン[1]	販されている化粧品の中からテーマを決め、雑誌見開きページのデザインをする。発想～サムネイル制作	く読み理解しておくこと。 復習45分：配布資料の見直し
第2回	//	//	//
第3回	化粧品の雑誌広告デザイン[2]	発想～サムネイル制作 担当講師のサムネイルでの承認を得てから、MACによる制作に入る。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	//	//	//
第5回	化粧品の雑誌広告デザイン[3]	発想～サムネイル制作 担当講師のサムネイルでの承認を得てから、MACによる制作に入る。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	//	//	//
第7回	化粧品の雑誌広告デザイン[4]	メインビジュアル・文字要素等の構成要素を考え、制作する。朝日広告賞公募作品制作について概要説明	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	//	//	//
第9回	化粧品の雑誌広告デザイン[5]	メインビジュアル・文字要素等の構成要素を考え、制作する。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	//	//	//
第11回	化粧品の雑誌広告デザイン[6]	MACによる制作の継続 仕上げ・プリント	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	//	//	//
第13回	化粧品の雑誌広告デザイン[7]	プレゼンテーションの実施。(アクティブラーニング)、講評 作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 ●次の新課題 パッケージデザイン制作についての概要説明 ●各自に朝日広告賞公募テーマの確認▶サムネイル同時進行へ	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第14回	//	//	//
第15回	パッケージデザイン[1] SP及び	広告とセールスプロモーション及びパッケージデザインに関するレクチャー。 パッケージデザインの概要説明 スナック菓子	予習45分：レクチャー内容の予習

	パッケージデザイン概要説明	の新パッケージデザインを考える。内容・タイトル・メインビジュアル・全体レイアウトを考えサムネイルに反映する。	復習 分：レクチャー内容の復習
第16回	//	//	//
第17回	SPデザイン パッケージデザイン[2]	発想からサムネイルへ。内容・タイトル・メインビジュアル・全体レイアウトを考えサムネイルに反映する。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	//	//	//
第19回	SPデザイン パッケージデザイン[3]	サムネイルから構成要素（ビジュアル・タイトルなどの文字要素）の制作へ。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	//	//	//
第21回	SPデザイン パッケージデザイン[4]	構成要素（ビジュアル・タイトルなどの文字要素）の制作へ。朝日広告賞公募テーマ	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	//	//	//
第23回	SPデザイン パッケージデザイン[5]	MACによるカンパ制作の継続。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	//	//	//
第25回	SPデザイン パッケージデザイン[6]	MACによるカンパ制作の継続 ●朝日広告賞公募テーマのサムネイル提出▶ビジュアル制作へ	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	//	//	//
第27回	SPデザイン パッケージデザイン[7]	仕上げ・デザインを厚紙にプリント出力し、パッケージを立体に仕上げる。 ●パッケージデザインをした新製品のポスター等制作プロセスの概要説明	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	//	//	//
第29回	SPデザイン パッケージデザイン[8]	プレゼンテーションの実施。（アクティブラーニング）、講評 作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 ●次の新課題 公共広告デザインの概要説明	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証

第30回	//	//	//
第31回	公共広告デザイン[1]	中吊りワイド広告をデザインする。 ●広告レクチャー 発想～アイデアスケッチ～サムネイル制作～カ ンプ制作	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第32回	//	//	//
第33回	公共広告デザイン[2]	発想からサムネイルへ。内容・タイトル・メイ ンビジュアル・全体レイアウトを考えサムネ イルに反映する。 ●朝日広告賞公募テーマ・ビジュアル制作進捗 状況確認	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第34回	//	//	//
第35回	公共広告デザイン[3]	カンプ制作 ビジュアルの制作、キャッチコピーなどコピー ライティングを行う。	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第36回	//	//	//
第37回	公共広告デザイン[4]	カンプ制作 ビジュアルの制作、キャッチコピーなどコピー ライティングを行う。	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第38回	//	//	//
第39回	公共広告デザイン[5]	制作の継続。	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第40回	//	//	//
第41回	公共広告デザイン[6]	制作の継続。	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第42回	//	//	//
第43回	公共広告デザイン[7]	プレゼンテーションの実施。(アクティブラー ニング) 作品及び作品データ（コンセプトシートデー タ含む）の提出 講評 ●次の新課題 朝日広告賞公募作品制作について の概要説明	予習45分：プレ ゼンテーション の準備 復習45分：講評 内容について検 証
第44回	//	//	//
		●朝日広告賞公募テーマ・ビジュアル完成デー タの提出	予習45分：レク チャー内容の予

第45回	朝日広告賞公募 作品制作[1]	サムネイルに基づき制作を進行する。担当講師 のサムネイルでの承認を得てから、MACによる 制作に入る。	習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第46回	//	//	//
第47回	朝日広告賞公募 作品制作[2]	制作進行	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第48回	//	//	//
第49回	朝日広告賞公募 作品制作[3]	制作進行	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第50回	//	//	//
第51回	朝日広告賞公募 作品制作[4]	制作進行	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第52回	//	//	//
第53回	朝日広告賞公募 作品制作[5]	制作進行	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第54回	//	//	//
第55回	朝日広告賞公募 作品制作[6]	レイアウト仕上げ 大判インクジェットプリン タによるプリント	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第56回	//	//	//
第57回	朝日広告賞公募 作品制作[7]	レイアウト仕上げ 大判インクジェットプリン タによるプリント	予習45分：レク チャー内容の予 習 復習45分：レク チャー内容の復 習
第58回	//	//	//
第59回	朝日広告賞公募 作品制作[8]	プレゼンテーションの実施。(アクティブラー ニング)、講評 作品及び作品データ（コンセプトシートデー タ含む）の提出 応募送付（梱包・送付手配ま で）学生による授業評価	予習45分：プレ ゼンテーション の準備 復習45分：講評 内容について検

			証
第60回	//	//	//
教科書			
使用しない			
参考書			
使用しない 必要に応じてプリントを配布する。			
成績評価の方法・基準			
単位認定50点以上 1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10% 上記1～3の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。			
課題等に対する フィードバックの方法			
各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。			
履修のポイント			
デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常の中のいろんなメディアに関心を持ってください。それらメディアの多くがプロのデザイナーによりデザインされたものです。積極的により良いデザインを見て、その良さを感じ取る訓練を。また、積極的にポートフォリオ（作品集）のための作品制作と準備を始めてください。ポートフォリオのクオリティが就活のための重要な条件となります。授業では、デザイン業界の現場で実際に多く取り組んでいる内容を中心に授業を展開。毎回、進行業況に合わせた制作プロセスの説明がありますので、1回1回の授業が大切です。休まず出席して下さい。 ※特にデザインに関するレクチャーやMACの操作方法については、専用のノートを用意し書き留めること。			
オフィス・アワー			
授業内容に関する質問： 三関：月曜日 10:50～11:00 場所：1号館 3F 104教室 小松原：木曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室			

講義コード	40200004
講義名	アート・デザインII（寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R130
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし
教員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

現代の生活の中で多岐に渡るものが対象となる「ファッション」という領域において、ブランドのコンセプトや世界観を構築していくという点が重要である。
 ファッションの歴史をはじめ、市場の動向やトレンド、流通を知ることによって多様化する現代のニーズに対応できる知識を修得する。
 ファッションIで学んだ技術や知識をもとにブラウスとファッションアイテムの実物を制作しながら衣服や素材に関する知識を更に修得しながら1年間のまとめとして進級制作に取り組む。また、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力と美的感覚を養う。

原則として月曜→寺村、木曜→石井、で行うが、内容に応じて変更する場合があります。
 ※本授業は作品の提出及びまとめたノート等により成績評価を行い、定期試験は実施いたしません。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解させるために、ファッションIで学んだ技術や知識をもとにブラウスとファッションアイテムの実物を制作しながら衣服や素材に関する知識を更に修得しながら1年間のまとめとして進級制作に取り組む。また、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力と美的感覚を養う。
 ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得するために、基本製図や縫製の基礎技術を学び、作りたいもののイメージをかたちにさせる。
 ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために、ファッションの歴史をはじめ、市場の動向やトレンド、流通を学び、作品のコンセプトに反映させる。

到達目標

被服に関する衣服の知識を得ながら、総合的な知識と制作技術を修得し、さらに、造形力と美的感覚を養う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 1	ファッションの基礎知識のレクチャー、バッグの市場調査、ラフスケッチ	予習 45分 身のまわりにあるバッグを調べておく 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第2回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 1	同上	上記参照
第3回	ブラウスの制作 3	地直し、裁断	予習 45分 地直しの準備（水に一晩浸し、干しておく） 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第4回	ブラウスの制作 3	同上	上記参照
第5回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 2	ファッションの基礎知識のレクチャー、バッグのデザイン	予習 45分 市場調査を見直し、ラフスケッチを行う 復習 45分 デザインの見直しを行う
第6回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 2	同上	上記参照
第7回	ブラウスの制作 4	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第8回	ブラウスの制作 4	同上	上記参照
第9回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 3	ファッションの基礎知識のレクチャー、バッグの制作	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第10回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 3	同上	上記参照
第11回	ブラウスの制作 5	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第12回	ブラウスの制作 5	同上	上記参照
第13回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 4	ファッションの基礎知識のレクチャー、バッグの制作	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第14回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 4	同上	上記参照
第15回	ブラウスの制作 6	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第16回	ブラウスの制作 6	同上	上記参照

第17回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 5	ファッションの基礎知識のレクチャー、バッグの制作	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第18回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 5	同上	上記参照
第19回	ブラウスの制作 7	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第20回	ブラウスの制作 7	同上	上記参照
第21回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 6	ファッションの基礎知識のレクチャー、バッグの制作	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第22回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 6	同上	上記参照
第23回	ブラウスの制作 8	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第24回	ブラウスの制作 8	同上	上記参照
第25回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 7	ファッションの基礎知識のレクチャー、バッグの仕上げ、講評会、作品撮影 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第26回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 7	同上	上記参照
第27回	ブラウスの制作 9	仕上げ、講評 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第28回	ブラウスの制作 9	同上	上記参照
第29回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 8	ファッションの基礎知識のレクチャー、ヘッドドレス・帽子の市場調査、ラフスケッチ	予習 90分 身の回りにどのようなヘッドドレスや帽子があるか調査する 復習 90分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第30回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 8	同上	上記参照
第31回	進級制作 1	デザイン画の作成	予習 45分 何を作りたいか決めておく 復習 45分 デザイン画の見直しを行う

第32回	進級制作 1	同上	上記参照
第33回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 9	ファッションの基礎知識のレクチャー、ヘッドドレス・帽子のデザイン	予習 45分 市場調査を見直し、ラフスケッチを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第34回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 9	同上	上記参照
第35回	進級制作 2	製図	予習 45分 製図方法の確認を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第36回	進級制作 2	同上	上記参照
第37回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 10	ファッションの基礎知識のレクチャー、ヘッドドレス・帽子の制作	予習 45分 デザイン画の見直しを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第38回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 10	同上	上記参照
第39回	進級制作 3	仮縫い、試着補正	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第40回	進級制作 3	同上	上記参照
第41回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 11	ファッションの基礎知識のレクチャー、ヘッドドレス・帽子の制作	予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第42回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 11	同上	上記参照
第43回	進級制作 4	地直し、裁断	予習 45分 地直しの準備（水に一晩浸し、干しておく） 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第44回	進級制作 4	同上	上記参照
第45回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 12	ファッションの基礎知識のレクチャー、ヘッドドレス・帽子の制作	予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第46回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 12	同上	上記参照
第47回	進級制作 5	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第48回	進級制作 5	同上	上記参照
	ファッションの基礎	ファッションの基礎知識のレク	予習 45分 デザイン画と擦

第49回	知識、ファッションアイテムの制作 1 3	チャー、ヘッドドレス・帽子の制作	り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認 と次回授業の準備を行う
第50回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 1 3	同上	上記参照
第51回	進級制作 6	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認 と次回授業の準備を行う
第52回	進級制作 6	同上	上記参照
第53回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 1 4	ファッションの基礎知識のレクチャー、ヘッドドレス・帽子の制作	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認 と次回授業の準備を行う
第54回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 1 4	同上	上記参照
第55回	進級制作 7	本縫い	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認 と次回授業の準備を行う
第56回	進級制作 7	同上	上記参照
第57回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 1 5	ファッションの基礎知識のレクチャー、ヘッドドレス・帽子の仕上げ、講評会、作品撮影 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う	予習 90分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 90分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第58回	ファッションの基礎知識、ファッションアイテムの制作 1 5	同上	上記参照
第59回	進級制作 8	仕上げ、講評	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第60回	進級制作 8	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

文化ファッション大系 服飾造形講座①～⑥

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上／1.平常点（取組みの姿勢）30％ 2.作品点／70％
上記1および2の総合評価が50点（％）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。
講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント

実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。

オフィス・アワー

寺村：月・火 12：30-13：20 寺村研究室（122）

石井：木（9：20-12：30）、105教室

講義コード	40200005
講義名	アート・デザインII（山本博/及川）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R130
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教員	及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

インテリア・空間デザインの領域では、パーソナルなインテリア空間から社会を包括する都市空間まで、人々に関わる様々な空間を対象としている。本講座では、まず、アート・デザインIで取組んだ基礎をベースに、「住まい」を題材とした課題で、自身の「思い」をかたちにすることを学ぶ。次の「店舗」を題材とした課題では、商業という行為を通じた「第三者が共感できる」ような空間デザインについて学ぶ。

対象とする空間は、「住まい」ではマイルーム、「店舗」では物販店や飲食店とし、企画、計画、デザインして、プレゼンテーション用にまとめ、いわゆる業務フローを体験する。また、本領域に関わる安全や法規、経営的な知識にも触れ、空間デザインに向けた応用力を養っていく。授業の流れは、前半に表現技術としてのCADの習得を技術的な課題とし、「住まい」や「店舗」の課題を通じて、主観的なイメージの客観化、共感性あるデザインに取り組む。状況に応じて学外の現場を見学する機会をもうける場合がある。

なお本講座は、CADの習得、調査からキーワードを抽出したイメージ表現力の習得、機能や要求を考慮した共感性あるデザイン力の習得と経営的な知識を習得し、「客観性」あるデザイン力を身につけることが、当該講座の目標となる。本講座は商業施設士補資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、CADでの表現に取り組み、調査からキーワードを抽出したイメージ表現と、機能や要求を考慮した共感性あるデザインに取り組む。また、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得のために、本講座では「客観性」あるデザイン力を身につけることを目指す。

到達目標

本講座の到達目標は

1. CADの習得
2. 調査からキーワードを抽出したイメージ表現力の習得
3. 機能や要求を考慮した共感性あるデザイン力の習得
4. 経営的な知識の習得

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	CADの概念 ＜アクティブラーニング＞ CAD使用の意義をテーマに意見交換する	予習：20分 CAD使用の意義について 調べておくこと 復習：20分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第2回	表現基礎 II CAD	基本操作の習得	予習：25分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第3回	表現基礎 II CAD	基本操作の習得	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第4回	同上	同上	上記参照
第5回	表現基礎 II CAD	作図課題 平面図の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第6回	同上	同上	上記参照
第7回	表現基礎 II CAD	作図課題 平面図の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第8回	同上	同上	上記参照
第9回	表現基礎 II CAD	作図課題 平面図の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第10回	同上	同上	上記参照
第11回	表現基礎 II CAD	作図課題 平面図の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第12回	同上	同上	上記参照
			予習：45分 制作をすすめる（制作は

第13回	表現基礎 Ⅱ CAD	作図課題 展開図の制作	コンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第14回	同上	同上	上記参照
第15回	表現基礎 Ⅱ CAD	作図課題 展開図の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第16回	同上	同上	上記参照
第17回	デザイン Ⅲ 住まいの デザイン	インテリアエレメントの理解とデザイン イメージスケールの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第18回	同上	インテリアエレメントの理解とデザイン イメージスケールの制作 ＜アクティブラーニング＞ 思いをかたちにするデザインをテーマに意 見交換する	上記参照
第19回	デザイン Ⅲ 住まいの デザイン	インテリアエレメントの理解とデザイン イメージスケールの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第20回	同上	同上	上記参照
第21回	デザイン Ⅲ 住まいの デザイン	インテリアエレメントの理解とデザイン イメージスケールの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第22回	同上	同上	上記参照
第23回	デザイン Ⅲ 住まいの デザイン	インテリアエレメントの理解とデザイン イメージスケールの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第24回	同上	同上	上記参照
第25回	デザイン Ⅲ 住まいの デザイン	図面の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第26回	同上	同上	上記参照
			予習：45分

第27回	デザインⅢ 住まいのデザイン	図面の制作	制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	同上	同上	上記参照
第29回	デザインⅢ 住まいのデザイン	図面の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	同上	同上	上記参照
第31回	デザインⅢ 住まいのデザイン	パースペクティブドローイングの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第32回	同上	同上	上記参照
第33回	デザインⅢ 住まいのデザイン	パースペクティブドローイングの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第34回	同上	同上	上記参照
第35回	デザインⅢ 住まいのデザイン	講評会 ＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第36回	同上	同上	上記参照
第37回	デザインⅣ ショップデザイン	空間によるコミュニケーションの理解Ⅱ ＜アクティブラーニング＞ ショップデザインの題材となることをテーマに意見交換する	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第38回	同上	ブランド研究／立地等環境の調査	上記参照
第39回	デザインⅣ ショップデザイン	機能とゾーニング及び動線計画	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第40回	同上	同上	上記参照
第41回	デザインⅣ ショップ	RC構造／S造と設備の理解 図面の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分

	デザイン		制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第42回	同上	同上	上記参照
第43回	デザイン Ⅳ ショップ デザイン	RC構造／S造と設備の理解 図面の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	同上	同上	上記参照
第45回	デザイン Ⅳ ショップ デザイン	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	同上	同上	上記参照
第47回	デザイン Ⅳ ショップ デザイン	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第48回	同上	同上	上記参照
第49回	デザイン Ⅳ ショップ デザイン	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	同上	同上	上記参照
第51回	デザイン Ⅳ ショップ デザイン	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	同上	同上	上記参照
第53回	デザイン Ⅳ ショップ デザイン	完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第54回	同上	同上	上記参照
第55回	デザイン Ⅳ ショップ デザイン	完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第56回	同上	同上	上記参照

第57回	デザイン Ⅳ ショップ デザイン	完成予想図（パース画）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第58回	同上	同上	上記参照
第59回	デザイン Ⅳ ショップ デザイン	講評会 ＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションし、教員の 講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第60回	同上	同上	上記参照

教科書

「インテリアコーディネータハンドブック総合版（下），（社）インテリア産業協会」

参考書

「新版 新しい建築製図、編集委員会編」

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
作品評価100%
定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする

オフィス・アワー

山本：月曜日、16:30-18:30、山本研究室（1号館131）
及川：木曜日、10:50-11:00、山本研究室（1号館131）

講義コード	40210001
講義名	アート・デザインⅢ（松村/佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R150
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

イラストレーション・絵画Ⅰ、Ⅱで習得した多様な表現と知識、技術を更に追求する。各テーマごとに独自の表現ができるように、技法にも配慮して授業を進める。それと同時に、用いられた表現が一人よがりにならないようにチェックして、第三者の評価を受けるに値する作品レベルを意識していく。そして、後期の卒業制作につながるような授業展開を行う。各自が持っている表現に対する欲求を、的確な形で表現できるようになる事を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間の生活空間について多面的な理解し、実践的なイラストレーターやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目指す。その行程として、的確な技術に裏打ちされた表現方法の習得と完成度の高い作品制作をする。

到達目標

- 出版・広告業界で求められるイラスト技術の習得
- 平面絵画技法による立体・空間表現の習得
- 版画技法で描く表現の習得
- 口頭説明による明瞭なプレゼンテーション能力の習得

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	課題Ⅰ	イラストマップ制作（前提講義、エスキース）	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	〃	〃	
第3回	課題Ⅰ	イラストマップ制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント

			ト・配布資料の確認
第4回	//	//	
第5回	課題 I	イラストマップ制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	//	//	
第7回	課題 I	イラストマップ制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	//	//	
第9回	課題 I	イラストマップ制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	//	//	
第11回	課題 I	イラストマップ制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	//	//	
第13回	課題 I	イラストマップ制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	//	//	
第15回	課題 I	イラストマップ制作（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	//	//	
第17回	課題 II	4コマストーリーイラスト制作（前提講義、エスキース）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	//	//	
第19回	課題 II	4コマストーリーイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	//	//	
第21回	課題 II	4コマストーリーイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	//	//	
第23回	課題 II	4コマストーリーイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

			ト・配布資料の確認
第24回	//	//	
第25回	課題Ⅱ	4 コマストーリーイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	//	//	
第27回	課題Ⅱ	4 コマストーリーイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	//	//	
第29回	課題Ⅱ	4 コマストーリーイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	//	//	
第31回	課題Ⅱ	4 コマストーリーイラスト制作（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第32回	//	//	
第33回	課題Ⅲ	飛び出すイラスト制作（前提講義、エスキース）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第34回	//	//	
第35回	課題Ⅲ	飛び出すイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第36回	//	//	
第37回	課題Ⅲ	飛び出すイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第38回	//	//	
第39回	課題Ⅲ	飛び出すイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第40回	//	//	
第41回	課題Ⅲ	飛び出すイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第42回	//	//	
第43回	課題Ⅲ	飛び出すイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

			ト・配布資料の確認
第44回	//	//	
第45回	課題Ⅲ	飛び出すイラスト制作	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第46回	//	//	
第47回	課題Ⅲ	飛び出すイラスト制作（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第48回	//	//	
第49回	技法研究	シルクスクリーン実習（前提講義、エスキース）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第50回	//	//	
第51回	技法研究	シルクスクリーン実習	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第52回	//	//	
第53回	技法研究	シルクスクリーン実習	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第54回	//	//	
第55回	技法研究	シルクスクリーン実習	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第56回	//	//	
第57回	技法研究	シルクスクリーン実習	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第58回	//	//	
第59回	技法研究	シルクスクリーン実習（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第60回	//	//	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価 ※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。 各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。 (アクティブラーニング)
履修のポイント
授業準備時に、美術館やギャラリー、図書館で現地調査を行い、イラストレーションと絵画表現の知識を広げる。
オフィス・アワー
月曜日、12:30～13:20(昼休み)、1号館1F:111研究室(松村) 木曜日、12:30～13:20(昼休み)、1号館2F:121研究室(佐野)

講義コード	40210002
講義名	アート・デザインⅢ（吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R150
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 吉沢 正美	指定なし
教 員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業ではアートデザインⅡを受けて、更に専門的に学んでいくことを教育目標としている。短編作品の構成・画面効果等について学習しながら、オリジナル作品の制作を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、制作するマンガ作品を持ち込みや投稿に耐え、やがてはプロとしてデビューすることも視野に入れられるレベルとしていく。そのための知識・技術を授業を通して学び、自ら身につけていくことを目的としている。

到達目標

以下に到達目標を記す。

- ・基礎技法修得の確認。
- ・様々な描法の確認。
- ・ネーム作業のノウハウの修得。
- ・オリジナルストーリー作品のクオリティアップ。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	作品 1	5 ページマンガ（私）／プロット	予習：90分 5 ページマンガ（私）準備
第2回	作品 1	5 ページマンガ（私）／ネーム	復習：90分 5 ページマンガ（私）制作
第3回	作品 1	5 ページマンガ（私）／ネーム	予習：90分 5 ページマンガ（私）制作
第4回	作品 1	5 ページマンガ（私）／下描き	復習：90分 5 ページマ

			ンガ（私）制作
第5回	作品 1	5 ページマンガ（私）／下描き	予習：90分 5 ページマンガ（私）制作
第6回	作品 1	5 ページマンガ（私）／ペン入れ	復習：90分 5 ページマンガ（私）制作
第7回	作品 1	5 ページマンガ（私）／ペン入れ・トーンワーク	予習：90分 5 ページマンガ（私）制作
第8回	作品 1	5 ページマンガ（私）／完成・提出・講評 アクティブ・ラーニング：講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分 5 ページマンガ（私）振り返り
第9回	ストーリー研究	作品鑑賞・内容チェック	予習：90分 ストーリー研究準備
第10回	ストーリー研究	作品分析	復習：90分 作品分析
第11回	ストーリー研究	作品分析	予習：90分 作品分析
第12回	ストーリー研究	作品分析・検討	復習：90分 作品分析・検討の振り返り
第13回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／発想・プロット	予習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ準備
第14回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／発想・プロット	復習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第15回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／ネーム制作	予習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第16回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／ネーム制作	復習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第17回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／ネームチェック	予習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第18回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／ネームチェック	復習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第19回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／ネームチェック	予習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第20回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／ネームチェック	復習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第21回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／下描き	予習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第22回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／下描き	復習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第23回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／下描き	予習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第24回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／下描き	復習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第25回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／ペン入れ	予習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
			復習：90分 オリジナル

第26回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／ペン入れ	2 4 ページマンガ制作
第27回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／ペン入れ	予習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第28回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／トーンワーク	復習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第29回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／トーンワーク	予習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ制作
第30回	作品 2	オリジナル 2 4 ページマンガ／完成・提出・講 評 アクティブ・ラーニング：講評会での鑑賞・発 表を通し、お互いの作品について意見交換を行 う	復習：90分 オリジナル 2 4 ページマンガ振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 課題提出80% 授業参加度20%

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。

必ず期限内に提出するために、授業時間外でも自主的に作品の構想、制作を進めること。

オフィス・アワー

月曜日 14:50-15:00 1号館103教室（門倉） 木曜日14:50-15:00 1号館103教室（吉沢）

講義コード	40210003
講義名	アート・デザインⅢ（小松原/三関）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R150
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインⅢ(G)では、グラフィックデザインの今日における重要性にスポットを当てながら、視覚を媒体として情報を伝えるグラフィックデザインの可能性、視覚表現のコミュニケーションという視点をもとに、サインやロゴ、印刷メディア含む映像メディアなどの幅広いスタンスでの理解を深めるとともに、時代が必要とするグラフィックデザインの領域、特に広告メディアにとっての大きな要素であるコンセプトの発想や各構成要素の表現などについても幅広く学んでいく。

マーケティング戦略的スタンス～広告表現コンセプト～キャッチフレーズ・ビジュアルなど表現アイデアの幅広い視点からの発想法を身につけ、制作の為の一連のプロセスを理解し、自分のものとして実践できること、またグラフィックデザイン業界に向けてのスキルと理解をより深めることで、デザインの現場がより現実的な視野となり、グラフィックデザイン業界に進む学生にとって、その自信と力を育成する。

担当教員／月曜日：三関 木曜日：小松原

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

- ◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解することで、更なる発想力を身につける。
- ◆業界グラフィックデザインの現場で難易度が高く、かつ大切な要素を授業テーマとした。理解することで現場での大きな自信に繋げる。
- ◆DTPソフトの操作テクニックを更に習得していくことで、グラフィックデザインの表現領域を広め、スキルを深める。

授業計画

			予習・復習
--	--	--	-------

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	と そのために 必要な時間
第1回	Branding Design[1]	ブランディング デザインについての概要説明 ブランディング デザイン/CIについてのレクチャー。テーマ（モチーフとなる企業や店舗）の決定→シンボルマーク・ロゴタイプのデザインを考える→シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークのアイデアスケッチ。	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：配布資料の見直し。
第2回	//	//	//
第3回	Branding Design[2]	シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークのアイデアスケッチ→ベーシックデザイン（シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマーク）の制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	//	//	
第5回	Branding Design[3]	ベーシックデザイン（シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマーク）の制作 オリジナル及びフォントからのアレンジ等数点起こす→担当講師への確認→シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークの決定	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	//	//	
第7回	Branding Design[4]	ブランドマークの決定→コーポレートカラーの設定（DICCOLOR+CMYK+RGB）→ベーシックデザインの完成→アプリケーションの制作へ Mock Upの使い方等の指導	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	//	//	
第9回	Branding Design[5]	アプリケーションの制作内容は必要と思われるものを自由にチョイス ※なお、アプリケーションの一つとして、営業案内用A4両面三つ折りパンフレット（巻き三つ折り）を制作します。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	//	//	
第11回	Branding Design[6]	アプリケーションの制作→継続制作上のポイント等の指導	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	//	//	
第13回	Branding Design[7]	アプリケーションの制作→継続制作上のポイント等の指導	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー

			内容の復習
第14回	//	//	
第15回	Branding Design[8]	アプリケーションの制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第16回	//	//	
第17回	Branding Design[9] SPツール・三つ折りパンフデザイン	Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作 アプリケーションとしてプレゼンボードに加える。三つ折りパンフレット台紙制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第18回	//	//	
第19回	Branding Design[10] SPツール・三つ折りパンフデザイン	Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第20回	//	//	
第21回	Branding Design[11] SPツール・三つ折りパンフデザイン	Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第22回	//	//	
第23回	Branding Design[12]	アプリケーションの制作・仕上げ	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第24回	//	//	
第25回	Branding Design[13]	アプリケーションの制作・仕上げ→A2版変形サイズへのレイアウトデザイン（プレゼンボードの作成）	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第26回	//	//	
第27回	Branding Design[14]	プレゼンテーションの実施（アクティブラーニング）、講評 作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 次回からの課題について概要説明	予習45分： プレゼン テーション の準備 復習45分： 講評内容に

			について検証
第28回	//	//	
第29回	新聞広告 デザイン[1]	●新聞広告レクチャー新聞全10段・清涼飲料カラー広告 デザインの概要説明 発想～サムネイル制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第30回	//	//	
第31回	新聞広告 デザイン[2]	発想～サムネイル制作（担当講師に確認後）～カンパ制作 ビジュアルの制作、キャッチコピーなどコピーライティングを行う 各構成要素の制作（ビジュアルの制作及びコピーライティング）	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第32回	//	//	
第33回	新聞広告 デザイン[3]	各構成要素の制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第34回	//	//	
第35回	新聞広告 デザイン[4]	各構成要素の制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第36回	//	//	
第37回	新聞広告 デザイン[5]	各構成要素の制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第38回	//	//	
第39回	新聞広告 デザイン[6]	各構成要素の制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第40回	//	//	
第41回	新聞広告 デザイン[7]	全体レイアウト・仕上げ・プリント	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第42回	//	//	
			予習45分：

第43回	新聞広告 デザイン[8]	プレゼンテーション実施（アクティブラーニング）、講 評 作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の 提出 次回からの課題について概要説明	プレゼン テーション の準備 復習45分： 講評内容に ついて検証
第44回	//	//	
第45回	Book Design[1]	●新課題 エディトリアルデザイン（ブックデザイン）に ついての概要説明 各自自由に本のテーマを決める。サイズの見本となる本 を用意する。発想～サムネイル～ビジュアル・タイトル など各構成要素についてアイデアを考える	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第46回	//	//	
第47回	Book Design[2]	サムネイル～ビジュアル・タイトルなど各構成要素につ いてアイデアを考える	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第48回	//	//	
第49回	Book Design[3]	制作の継続 展開台紙（折りトンボ等）制作オペレーショ ン・レクチャー→カンパ制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第50回	//	//	
第51回	Book Design[4]	カンパ制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第52回	//	//	
第53回	Book Design[5]	カンパ制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第54回	//	//	
第55回	Book Design[6]	カンパ制作	予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習
第56回	//	//	
第57回	Book Design[7]	制作の継続・B3版プレゼン用レイアウト仕上げ、及びカ +	予習45分： レクチャー 内容の予習 45

		バー 帯をプリントしたものを実際に本に巻く。	復習 分： レクチャー 内容の復習
第58回	//	//	
第59回	Book Design[8]	ブックデザインのプレゼンテーション実施（アクティブラーニング）、講評 作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 学生による授業評価	予習45分： プレゼン テーション の準備 復習45分： 講評内容に ついて検証
第60回	//	//	

教科書

使用しない

参考書

使用しない

必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10%
上記1～3の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常から積極的により良いデザインを見て、その良さを感じ取る訓練をしていきましょう。また、積極的にポートフォリオ（作品集）の制作を進め、早い時期から担当講師に相談し、助言を受けながらクオリティの高いポートフォリオ完成させましょう。ポートフォリオはデザイン業界では就活には欠かせない条件です。実際のデザイン制作現場での応用的扱い方の習得も含めて授業を展開。幅広い視点での発想法や発想したデザインを、自在に制作できるよう指導していきます。その為にも、デザイン、DTP関連の資料にも積極的に目を通し、作品制作の方法論と実戦感覚を養う努力をすること。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：

三関：月曜日 14:50～15:00 場所：1号館3F104教室

小松原：木曜日 12:30～13:20 場所：1号間2F124研究室

講義コード	40210004
講義名	アート・デザインⅢ（久保田/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R150
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 恵美子	指定なし
教 員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

基本的なアート・デザインⅠ、Ⅱでの技術を基に、スーツ等を制作しながら、知識と技術の習得
 本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施致しません
 原則は、月曜→久保田 木曜→石井で行うが内容に応じて変更する場合があります

卒業認定・学位授与の方針との関連

対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得させるためにアート・デザインⅠ、Ⅱでの技術を基に、ジャケット等を制作しながら被服に関する総合的の知識と製作技術を取得し、さらに想像力と美的感性を養う。

到達目標

衣服の知識を得ながら、被服に関する総合的の知識と製作技術を取得し、さらに想像力と美的感性を養う

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	概要説明	授業についての説明	予習：25分スーツについてリサーチ 復習：20分授業で講義したセクションの復習を行う
第2回	制作物の選定	デザイン画をかく	予習：25分進行状況の確認 復習：20分授業で行ったセクションの復習を行う
第3回	製作物の決定	パターンメイキング	予習：45分材料の準備 復習：45分授業で行ったセクションの復習を行う
第4回	同上	同上	上記参照
			予習：90分材料の準備

第5回	製作物の決定	仮縫い	復習：90授業で行ったセクションの復習を行う
第6回	同上	同上	上記参照
第7回	製作	パターンメイキング	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第8回	同上	同上	
第9回	製作	仮縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第10回	同上	同上	上記参照
第11回	製作	地直し	予習：25分水とおしをしておく 復習：20分授業で行ったセクションの復習を行う
第12回	同上	裁断	予習：25分進行状況の確認 復習：20分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第13回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第14回	同上	同上	上記参照
第15回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第16回	同上	同上	上記参照
第17回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第18回	同上	同上	上記参照
第19回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第20回	同上	同上	上記参照
第21回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第22回	同上	同上	上記参照
第23回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第24回	同上	同上	上記参照
第25回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第26回	同上	同上	上記参照
第27回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第28回	同上	同上	上記参照

第29回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第30回	同上	同上	上記参照
第31回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第32回	同上	同上	上記参照
第33回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第34回	同上	同上	上記参照
第35回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第36回	同上	同上	上記参照
第37回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第38回	同上	同上	上記参照
第39回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第40回	同上	同上	上記参照
第41回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第42回	同上	同上	上記参照
第43回	製作	本縫い	予習：90分材料の準備 復習：90分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第44回	同上	同上	上記参照
第45回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第46回	同上	同上	上記参照
第47回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第48回	同上	同上	上記参照
第49回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第50回	同上	同上	上記参照
第51回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第52回	同上	同上	上記参照
			予習：45分材料の準備

第53回	製作	本縫い	復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第54回	同上	同上	上記参照
第55回	製作	本縫い	予習：90分材料の準備 復習：90分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第56回	同上	同上	上記参照
第57回	製作	本縫い	予習：45分材料の準備 復習：45分作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第58回	同上	同上	上記参照
第59回	製作	仕上げ、講評会、 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う 作品提出	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第60回	同上	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

文化ファッション体系 服飾造形講座①～⑥

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上／実技課題（取り組みの内容50％、完成度30％）・提出期限20％
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

授業内での各作業に関して個別にフィードバック
講評会で各作品について、個別に評価のポイント等を具体的に指摘する

履修のポイント

実技ですので、特段の理由が無い限り休まず出席して下さい

オフィス・アワー

久保田：月曜 火曜 木曜日、時間13:20-16:30、11号館事務室
石井：木曜日、時間14:50-15:00 105教室

講義コード	40210005
講義名	アート・デザインⅢ（山本博/及川）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R150
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教 員	及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

インテリア・空間デザインの業務では、施主や社会の要求に対して、産業の分野をクロスオーバーし「魅力的な環境」を提案することが求められる。空間は通常、建築やグラフィック、その他さまざまなデザイン分野が関連し合っており、空間をデザインする場合は他分野に関わる知識とそれらの監理能力なども要求される。

本講座では、アート・デザインⅠとⅡおよびその他授業で学んだ知識や技術をベースに、空間デザインの実践的な応用力を養う。デザインの対象は、公と私および商業的要素が混在する空間とし、学生各々が教員と協議のうえ題材を決定する。題材に対する与件は教員が設定するが、学生は調査で発見したテーマや相応しいイメージを具現化して空間をデザインする。また、その空間を対象に建築や施工、監理についても学修する。成果物は、空間と主要アイテムのデザインをまとめ、プレゼンテーションボードを制作する。尚、対象とする施設の都合を考慮し、日程は協議しなければならないが、施設の現地調査（見学）とプレゼンテーションをおこなう場合がある。本講座は、与件を整理する力、調査を通じてキーワードを抽出する力、空間とそれに関わるアイテムをデザイン（企画）する力を習得し、インテリア・空間デザインの「総合的な提案力」を身につけることが、当該講座の目標となる。本講座は商業施設士補資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、環境や生活空間を考慮した与件の整理と、環境や生活空間の調査を通じたデザインのためのキーワードの抽出に取り組む。また、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座ではインテリア・空間デザインの「総合的な提案力」を身につけることを目指す。

到達目標

本講座の到達目標は

1. 与件を整理する力の習得
2. 調査を通じてキーワードを抽出する力の習得
3. 空間とそれに関わるアイテムをデザイン（企画）する力の習得

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	商業施設の機能とデザインについて ＜アクティブラーニング＞ 商業施設の考え方について意見交換をおこなう	予習：20分 商業施設の事例研究をする 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第2回	デザインⅢ	机上調査	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第3回	デザインⅢ	現地調査（予定）	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第4回	同上	同上	上記参照
第5回	デザインⅢ	デザイニング・イメージの醸成	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第6回	同上	同上	上記参照
第7回	デザインⅢ	デザイニング・空間計画	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第8回	同上	同上	上記参照
第9回	デザインⅢ	デザイニング・空間計画	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第10回	同上	同上	上記参照
第11回	デザインⅢ	図面制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第12回	同上	同上	上記参照
第13回	デザインⅢ	図面制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコ

			ンペ等も含む)
第14回	同上	同上	上記参照
第15回	デザインⅢ	図面制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	同上	同上	上記参照
第17回	デザインⅢ	図面制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第18回	同上	同上	上記参照
第19回	デザインⅢ	図面制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	同上	同上	上記参照
第21回	デザインⅢ	インテリアコーディネート	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第22回	同上	同上	上記参照
第23回	デザインⅢ	インテリアコーディネート	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第24回	同上	同上	上記参照
第25回	デザインⅢ	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	同上	同上	上記参照
第27回	デザインⅢ	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	同上	同上	上記参照
			予習：45分

第29回	デザインⅢ	模型の制作	制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	同上	同上	上記参照
第31回	デザインⅢ	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第32回	同上	同上	上記参照
第33回	デザインⅢ	模型の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第34回	同上	同上	上記参照
第35回	デザインⅢ	完成予想図（パース）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第36回	同上	同上	上記参照
第37回	デザインⅢ	完成予想図（パース）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第38回	同上	同上	上記参照
第39回	デザインⅢ	完成予想図（パース）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第40回	同上	同上	上記参照
第41回	デザインⅢ	完成予想図（パース）の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第42回	同上	同上	上記参照
第43回	デザインⅢ	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分

			制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	同上	同上	上記参照
第45回	デザインⅢ	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	同上	同上	上記参照
第47回	デザインⅢ	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第48回	同上	同上	上記参照
第49回	デザインⅢ	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	同上	同上	上記参照
第51回	デザインⅢ	プレゼンテーションボードの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	同上	同上	上記参照
第53回	デザインⅢ	プレゼンテーションボードの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第54回	同上	同上	上記参照
第55回	デザインⅢ	プレゼンテーションボードの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第56回	同上	同上	上記参照
第57回	デザインⅢ	プレゼンテーションボードの制作	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第58回	同上	同上	上記参照

第59回	デザインⅢ	講評会，現地にて（予定） ＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第60回	同上	同上	上記参照

教科書

「インテリアコーディネータハンドブック総合版（下），（社）インテリア産業協会」

参考書

「新版 新しい建築製図、編集委員会編」

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
作品評価100%
定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする。

オフィス・アワー

山本：月曜日、16:30-18:30、山本研究室（1号館131）
及川：木曜日、14:50-15:00、山本研究室（1号館131）

講義コード	40220001
講義名	スペースデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C259
学年	2学年
担当教員	

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

生活の場には、毎日の寝食や仕事がおこなわれる日常的な空間と、まつりやセレモニーなどが生みだす非日常的な空間が存在する。まつりなどの非日常空間は、地域や風土に根ざした独特の「しつらえ」によって場がつけられ、その意味や人々の感情などを共有させる装置となっている場合が多い。舞台芸術では、物語のテーマや登場人物の心の動きなどが、演技、造形、照明や音響などによって空間表現され、観客に共感させる。また、見本市などにおける企業ブースでは、企業の姿勢や製品のイメージなどが舞台芸術のごとく空間表現され、介在する人々に対してその理念や感覚の共有を求める。

本講座では、空間をひとつの表現媒体（メディア）として捉え、特定の題材について、第三者とイメージを共有するためのスペースデザインをおこない、五感を通じた「共感性」の創出について探求し、制作をおこなう。制作はスケールモデルでのシミュレートまでを計画しており、施工や監理の基礎的なことにも触れる。

本講座は、人間の五感を考慮して共感性をもった表現ができる能力を習得し、抽象的な題材や理念などを解釈して造形テーマに置換できること、およびテーマにもとづいた造形表現ができるようになることを、目標としている。また本講座は、商業施設士補資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、人間の五感について探り共感性を創出することに取り組む。また、ディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、本講座では、共感性を創出する能力、抽象的な題材や理念などを解釈して造形テーマに置換できる力の習得を目指す。および、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、テーマにもとづいた造形表現ができるようになることを目指す。

到達目標

本講座の到達目標は、

1. 人間の五感について探り共感性を創出できる力の習得
2. 抽象的な題材や理念などを解釈して造形テーマに置換できる力の習得
3. テーマにもとづいた造形表現ができる力の習得

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス 演出と造形 の基礎 -1	日常空間と非日常空間について ＜アクティブラーニング＞ 非日常生活の空間デザインをテーマに意見 交換する	予習：20分 エンタテインメントの事例 研究をする 復習：25分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第2回	演出と造形 の基礎 -1	題材の読み取りと表現の手法 演出空間の計画（イメージの醸成）、エス キス	予習：20分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第3回	演出と造形 の基礎 -2	エスキスとイメージの平面表現	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第4回	同上	同上	上記参照
第5回	演出と造形 の基礎 -3	エスキスとイメージの空間表現 立体的なエスキス（スタディ）、モデル制 作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第6回	同上	同上	上記参照
第7回	演出と造形 の基礎 -4	モデル制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第8回	同上	同上	上記参照
第9回	演出と造形 の基礎 -5	モデル制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第10回	同上	講評会 ＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションし、教員の 講評と学生同士が意見交換する	上記参照
第11回	スペースデ ザイン -1	非日常空間の計画（題材設定とイメージの 構築）	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
		テーマ設定	

第12回	同上	役割分担（造形、照明映像、その他）	上記参照
第13回	スペースデザイン -2	非日常空間のデザイン エスキス	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第14回	同上	同上	上記参照
第15回	スペースデザイン -3	非日常空間のデザイン イメージ図の作成	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第16回	同上	同上	上記参照
第17回	スペースデザイン -4	非日常空間の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第18回	同上	同上	上記参照
第19回	スペースデザイン -5	非日常空間の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第20回	同上	同上	上記参照
第21回	スペースデザイン -6	非日常空間の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第22回	同上	同上	上記参照
第23回	スペースデザイン -7	非日常空間の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第24回	同上	同上	上記参照
第25回	スペースデザイン -8	非日常空間の制作	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第26回	同上	同上	上記参照
			予習：45分 制作をすすめる（制作は

第27回	スペースデザイン -9	非日常空間の制作 セッティング、解体	コンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第28回	同上	講評会 <アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションし、教員の 講評と学生同士が意見交換する	上記参照
第29回	スペースデザイン -10	制作ノート、報告書のまとめ、総括	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第30回	同上	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

スペースデザイン論 小石新八監修」「ディスプレイデザイン 魚成祥一郎監修」

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
作品評価100%
定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。やむを得ず欠席する場合は次の授業までにその日の作業を進めておくこと。

オフィス・アワー

月曜日、16:30-18:30、山本研究室（1号館131）

講義コード	40230001
講義名	プロダクトデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C235
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインするという行為は、ある目的を果たすために生産（プロダクト）される目に見える具体的な「もの」、あるいは目には見えない仕組みや意識や思考などの「こと」の形成に対して向けられる活動であるということを理解すること。
課題演習を通じて、デザインワークにおける情報収集や活用、コンセプトに基づく造形活動を進めていく基礎的、専門的な「知識」や「技能」を学びます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」におけるプロダクトデザインの意義を多面的に理解すること。
対象に向かい合い、社会の要望や課題の解決に向けて「もの」や「こと」を形成していくプロセスの基礎的、専門的な「知識」や「技能」を修得していくこと。

到達目標

演習課題を通して、プロダクトデザインの担うべき社会的役割を理解すること。
社会における生活環境の改善と、生活文化の発展に貢献するための、目的に応じた多様な分析の手法や着眼点、造形へのアプローチのプロセスを修得していくことを目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	ものづくりとプロダクトデザイン	予習として シラバス確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第2回	同上	同上	同上
			予習として 配布資料確認と

第3回	素材の活用 1	課題 1 ; 限られた材料を生かしてつくる	通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第4回	同上	同上	同上
第5回	素材の活用 2	つくるプロセスの工夫と品質管理 提出作品の着想、計画、作成において 「アクティブラーニング」型式の発表、講 評、意見交換を行う。	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第6回	同上	同上	同上
第7回	インダストリアル デザイン	インダストリアルデザインの誕生と発展	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第8回	同上	同上	同上
第9回	市場分析と情報共 有 1	課題 2 ; イメージ・スタイル セグメンテーション	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第10回	同上	同上	同上
第11回	市場分析と情報共 有 2	ライフステージ セグメンテーション	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第12回	同上	同上	同上
第13回	市場分析と情報共 有 3	グレード・イメージ セグメンテーション	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第14回	同上	同上	同上
第15回	意味を持つ造形 1	コンセプトに形を与えてつくる	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第16回	同上	同上	同上
第17回	意味を持つ造形 2	ターゲット、コンセプトを絞り込む コンセプトを共有する。 提出作品の課題選定や考察展開において 「アクティブラーニング」型式の発表、講 評、意見交換を行う。	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分

			研究 分
第18回	同上	同上	同上
第19回	機能を伴う造形 1	使いやすいかたち 人間工学・ユニバーサルデザイン	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第20回	同上	同上	同上
第21回	機能を伴う造形 2	住環境施設の内装設備計画 建築化照明と造作家具デザイン	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第22回	同上	同上	同上
第23回	機能を伴う造形 3	商環境施設の内装設備計画 展示計画と什器デザイン	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第24回	同上	同上	同上
第25回	自然の造形とデザイン	課題 3 ; 環境共生のデザイン	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第26回	同上	同上	同上
第27回	デザインの未来	「もの」や「こと」のあるべき姿を考える	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第28回	同上	同上	同上
第29回	総論	講評／まとめ 提出作品の課題選定や考察展開において 「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として 配布資料確認と 通読45分 復習として 関連事項の調査 研究45分
第30回	同上	同上	同上

教科書

独自の資料を作成配布し、参考文献、情報等は随時紹介していきます。

参考書

デザインの輪郭 深沢直人（TOTO出版） 他

成績評価の方法・基準

課題作品の提出／課題 1 （30％）、課題 2 （40％）課題 3 （30％）より評価、

単位認定 50点以上 とします。

課題等に対する フィードバックの方法

提示された課題テーマ、及び自ら選定した課題テーマに対する調査や考察、着眼や造形に対する取り組みを、作品制作とプレゼンテーションという形で研鑽していきます。
課題の着眼において手掛かりとなる情報の提示や、考察のプロセス、素材の選定や造形への展開方法など、制作の過程で示唆していきます。又、関連する知識や技術についての情報提示により専門的な理解を深め、研究や制作への、造形的な課題解決力を修得向上できるようフィードバックを行っていきます。

履修のポイント

作品の構想や制作を通して、身の周りの生活環境に問題意識を持ち自らの興味・関心を広げ、積極的に関連事項を調べ、探求していきましょう。
生活空間における造形による解決策や改善提案を探ることを心がけ、社会に貢献できるデザインの思考とプロセスを修得していきましょう。

オフィス・アワー

非常勤)

後期：水曜日 10:50～11:00／12:30～13:20／14:50～15:00

デザイン棟1号館 131 山本研究室

*個別に質問や相談事項がある場合は、授業前又は後に申し出てください。

講義コード	40240001
講義名	ビジュアルデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C371
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

グラフィックデザインの専門知識と実践技術を学び、発想→サムネイル→カンパ制作→プレゼンテーション→入稿までの過程と技術を身につける。イラストレーション、絵画、マンガ、コミックイラストなどの実践で学んだ、個性的な発想力・構成力をグラフィックデザインの分野に応用し、ビジネスベースを基軸とした新しいビジュアル表現に挑戦する。また、制作者である個人をアピールする為に必要な販促ツールの作成技術も習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。その行程として、ターゲット層の研究・リサーチを行い、グラフィックデザインにおけるビジュアルの有効な役割を学び、戦略に合わせたデザインを実践する。

到達目標

- グラフィックデザインの役割と発想・制作プロセスを理解する
- 写真の画像加工を主とした、グラフィックデザインにおけるビジュアルの役割を理解する
- 戦略に合わせたデザインワークの見識を深める
- MAC・DTPの操作技術を習得し、具体的な表現と応用力を身につける

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ブックカバーデザイン	授業概要説明 各自が作成した画像をメインビジュアルとしたブックデザイン作成 ●作品画像データ10点を、初回授業時に持参すること 情報収集、サムネイル作成	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	〃	〃	
	ブックカ		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集

第3回	バーデザイン	制作作業 Photoshopによる画像合成	復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	//	//	
第5回	ブックカバーデザイン	制作作業 Illustratorによるロゴデザイン	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	//	//	
第7回	ブックカバーデザイン	制作作業	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	//	//	
第9回	ブックカバーデザイン	仕上げ、完成 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	//	//	
第11回	グリーティングカード	クリスマスカード「サムネイル作成」 Illustratorのパスを主としたデザイン サムネイル作成	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	//	//	
第13回	グリーティングカード	制作作業	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	//	//	
第15回	グリーティングカード	年賀状デザイン「サムネイル作成」 写真合成を主としたデザイン サムネイル作成	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	//	//	
第17回	グリーティングカード	制作作業	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	//	//	
第19回	グリーティングカード	仕上げ、完成 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	//	//	
第21回	パッケージデザイン	CDジャケット、ゲームパッケージ、食品パッケージから一つを選びデザインを完成させる 情報収集、サムネイル作成	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	//	//	
23	パッケージ	Photoshop	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集

第 回	ジデザイン	撮影、による写真合成	復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	〃	〃	
第25回	パッケージデザイン	Illustratorによるロゴデザイン	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	〃	〃	
第27回	パッケージデザイン	Illustratorによるビジュアル作成	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	〃	〃	
第29回	パッケージデザイン	仕上げ、完成（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	〃	〃	

教科書

使用しない

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業準備時に、デザインの社会における役割を理解し実践例を情報収集する。

オフィス・アワー

木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室

講義コード	40250001	
講義名	W E B デザイン I	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	演習	
基準単位数	2	
代表曜日	水曜日	
代表時限	3 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C256	
学年	2学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教 員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

近年グラフィックデザイナーにとって必要不可欠となったWebサイト作成知識の基礎であるHTML5のマークアップ及びCSSによるレイアウト指定を「Webクリエイター能力認定試験」の試験内容に合わせ、Web標準に対応したスキルを基礎から学習する。
その過程においてHTML・CSSに関する基本的な知識やシンプルなWebページ作成能力等を、Web作成ツールの一つであるAdobe Dreamweaverを用いて身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

- 1, Webページのソースコードの正しい書き方を身に付ける
- 2, レイアウト構成の主たるCSSによるレイアウトの正しい記述方法を習得。
- 3, アクセシビリティやユーザビリティを配慮した質の高いWebページ作成能力の習得。
- 4, Webクリエイター能力認定試験 スタндарт資格の取得。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	HTMLの基礎知識その1	ブラウザ、ドメイン、コーディング、画像など、Web制作の基本項目を解説。	予習90分：多彩なWEBサイトを閲覧する。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	HTMLの基礎知識その2	HTML5の基本の学習、文字情報を設定する要素の学習。	予習90分：多彩なWEBサイトを閲覧する。

			復習90分：配布資料を見直す。
第3回	HTMLの基礎知識その3	本文を構成する要素の学習。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	HTMLの基礎知識その4	ブロックレベル要素の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	HTMLの基礎知識その5	ブロックレベル要素の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	HTMLの基礎知識その6	ブロックレベル要素の学習 その3。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	HTMLの基礎知識その7	インライン要素の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	HTMLの基礎知識その8	インライン要素の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	CSSの基礎知識その1	CSSとは。CSSの書き方・的用法の学習その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	CSSの基礎知識その2	CSSとは。CSSの書き方・的用法の学習その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	CSSの基礎知識その3	各セレクター、プロパティの学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	CSSの基礎知識その4	各セレクター、プロパティの学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	CSSの基礎知識その5	スタイルの優先順位、CSSファイルの分割とファイル設計の学習。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	WEBサイト作成の基礎知識の復習 HTMLの基礎及び、CSSの基礎の復習	WEBサイト作成の基礎知識、ページを構成するファイル、WEBページを作る手順等の復習。	予習90分：教科書1・2・3章を読む。 復習90分：教科書1・2・3章を読む。
	WEBクリエイ		予習90分：教科書4章

第15回	ター認定試験対策 第4章各ページの作成	ベースとなるページを作成し、それを元に各ページを作成する。	を読む。 復習90分：教科書4章の指示に従って各個記述。
第16回	”	”	”
第17回	WEBクリエイター認定試験対策 第5章テーブル	HTMLタグを使つてのテーブル（表）の学習	予習90分：教科書5章を読む。 復習90分：教科書5章の指示に従って各個記述。
第18回	”	”	”
第19回	WEBクリエイター認定試験対策 第6章フォーム	HTMLのフォーム機能の学習	予習90分：教科書6章を読む。 復習90分：教科書6章の指示に従って各個記述。
第20回	”	”	”
第21回	サンプル問題実施とその解説 その1	サンプル問題 第1回実施及び、解説	予習90分：問題集その1を読む。 復習90分：問題集その1を各個実施する。
第22回	”	”	”
第23回	サンプル問題実施及び、解説 その2	サンプル問題 第2回実施及び、解説	予習90分：問題集その2を読む。 復習90分：問題集その2を各個実施する。
第24回	”	”	”
第25回	サンプル問題実施及び、解説 その3	サンプル問題 第3回実施及び、解説	予習90分：問題集その3を読む。 復習90分：問題集その3を各個実施する。
第26回	”	”	”
第27回	サンプル問題実施及び、解説 その4	サンプル問題 第4回実施及び、解説	予習90分：教科書サンプル問題を読む。 復習90分：教科書サンプル問題を各個実施する。
第28回	”	”	”
第29回	Webクリエイター能力認定試験	Webクリエイター能力認定試験スタンダードの実施	予習90分：今までのサンプル問題、問題集を行う。 復習90分：テスト内容を振り返り自己採点を行う。
第30回	”	”	”

教科書

Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応 スタンダード 公式テキスト FOM出版
Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応版 スタンダード 問題集 株式会社サーティファイ

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準
単位認定50 点以上。 授業態度30% 試験70% ※本授業はWebクリエイター能力認定試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
教科書をもとに授業内で学んだことの復習や、次回の授業へ向けての予習を行うこと。
履修のポイント
講習時には遅刻、欠席をしないように注意すること。 授業態度、理解力及び、Webクリエイター能力認定試験の結果を重視する。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：水曜日 14:50～15:00 104教室

講義コード	40250002	
講義名	WEBデザインⅠ（別枠）	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	後期	
講義区分	演習	
基準単位数	2	
代表曜日	月曜日	
代表時限	1 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C256	
学年	2学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

近年グラフィックデザイナーにとって必要不可欠となったWebサイト作成知識の基礎であるHTML5のマークアップ及びCSSによるレイアウト指定を「Webクリエイター能力認定試験」の試験内容に合わせ、Web標準に対応したスキルを基礎から学習する。その過程においてHTML・CSSに関する基本的な知識やシンプルなWebページ作成能力等を、Web作成ツールの一つであるAdobe Dreamweaverを用いて身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

- 1, Webページのソースコードの正しい書き方を身に付ける
- 2, レイアウト構成の主たるCSSによるレイアウトの正しい記述方法を習得。
- 3, アクセシビリティやユーザビリティを配慮した質の高いWebページ作成能力の習得。
- 4, Webクリエイター能力認定試験 スタндарт資格の取得。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	HTMLの基礎知識その1	ブラウザ、ドメイン、コーディング、画像など、Web制作の基本項目を解説。	予習90分：多彩なWEBサイトを閲覧する。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	HTMLの基礎知識その2	HTML5の基本の学習、文字情報を設定する要素の学習。	予習90分：多彩なWEBサイトを閲覧する。

			復習90分：配布資料を見直す。
第3回	HTMLの基礎知識その3	本文を構成する要素の学習。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	HTMLの基礎知識その4	ブロックレベル要素の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	HTMLの基礎知識その5	ブロックレベル要素の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	HTMLの基礎知識その6	ブロックレベル要素の学習 その3。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	HTMLの基礎知識その7	インライン要素の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	HTMLの基礎知識その8	インライン要素の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	CSSの基礎知識その1	CSSとは。CSSの書き方・的用法の学習その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	CSSの基礎知識その2	CSSとは。CSSの書き方・的用法の学習その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	CSSの基礎知識その3	各セレクター、プロパティの学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	CSSの基礎知識その4	各セレクター、プロパティの学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	CSSの基礎知識その5	スタイルの優先順位、CSSファイルの分割とファイル設計の学習。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	WEBサイト作成の基礎知識の復習 HTMLの基礎及び、CSSの基礎の復習	WEBサイト作成の基礎知識、ページを構成するファイル、WEBページを作る手順等の復習。	予習90分：教科書1・2・3章を読む。 復習90分：教科書1・2・3章を読む。
	WEBクリエイ		予習90分：教科書4章

第15回	ター認定試験対策 第4章各ページの作成	ベースとなるページを作成し、それを元に各ページを作成する。	を読む。 復習90分：教科書4章の指示に従って各個記述。
第16回	”	”	”
第17回	WEBクリエイター認定試験対策 第5章テーブル	HTMLタグを使つてのテーブル（表）の学習	予習90分：教科書5章を読む。 復習90分：教科書5章の指示に従って各個記述。
第18回	”	”	”
第19回	WEBクリエイター認定試験対策 第6章フォーム	HTMLのフォーム機能の学習	予習90分：教科書6章を読む。 復習90分：教科書6章の指示に従って各個記述。
第20回	”	”	”
第21回	サンプル問題実施とその解説 その1	サンプル問題 第1回実施及び、解説	予習90分：問題集その1を読む。 復習90分：問題集その1を各個実施する。
第22回	”	”	”
第23回	サンプル問題実施及び、解説 その2	サンプル問題 第2回実施及び、解説	予習90分：問題集その2を読む。 復習90分：問題集その2を各個実施する。
第24回	”	”	”
第25回	サンプル問題実施及び、解説 その3	サンプル問題 第3回実施及び、解説	予習90分：問題集その3を読む。 復習90分：問題集その3を各個実施する。
第26回	”	”	”
第27回	サンプル問題実施及び、解説 その4	サンプル問題 第4回実施及び、解説	予習90分：教科書サンプル問題を読む。 復習90分：教科書サンプル問題を各個実施する。
第28回	”	”	”
第29回	Webクリエイター能力認定試験	Webクリエイター能力認定試験スタンダードの実施	予習90分：今までのサンプル問題、問題集を行う。 復習90分：テスト内容を振り返り自己採点を行う。
第30回	”	”	”

教科書

Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応 スタンダード 公式テキスト FOM出版
Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応版 スタンダード 問題集 株式会社サーティファイ

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準
単位認定50 点以上。 授業態度30% 試験70% ※本授業はWebクリエイター能力認定試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
教科書をもとに授業内で学んだことの復習や、次回の授業へ向けての予習を行うこと。
履修のポイント
講習時には遅刻、欠席をしないように注意すること。 授業態度、理解力及び、Webクリエイター能力認定試験の結果を重視する。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：水曜日 14:50～15:00 104教室

講義コード	40260001	
講義名	W E B デザインⅡ	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	後期	
講義区分	演習	
基準単位数	2	
代表曜日	火曜日	
代表時限	3 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C372	
学年	2学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教 員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

近年のWebサイト利用者の割合はスマートフォンユーザーがPCユーザーを凌駕してきている。そのような状況で企業のWebサイトも今やスマートフォンサイトは必須となってきた。後期授業では、前期に学習した基礎を元に、より実践的にスマートフォンとPCの両方を兼ね揃えたレスポンスサイト構築のテクニックと知識を取得する。またJAVAスクリプトを使用した動的コンテンツの基礎知識を学び、現場での即戦力となれるような技術力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる応用知識・応用技術修得を目指すものとする。

到達目標

- 1、スマートフォンとPCの両方を兼ね揃えたレスポンスサイト作成が出来るようになる。
- 2、インタラクティブな機能を備えたJAVAスクリプトを駆使した見栄えのするWebサイト作成が出来るようになる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	HTML基礎 の復習 その1	前期授業で取得した全ての内容を元にした、基礎的なWebサイトの作成。	予習90分：教科書を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	”	”	”
第3回	HTML基礎 の復習	前期授業で取得した全ての内容を元にした、基礎的なWebサイトの作成。	予習90分：教科書を読む。 復習90分：配布資料

	その2		を見直す。
第4回	”	”	”
第5回	HTML基礎 の復習 その3	前期授業で取得した全ての内容を元にした、基礎的なWebサイトの作成。	予習90分：教科書を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	「SEO」対策の重要性の解説及び、「ユーザビリティ」等の必要性の解説	「SEO」に特化したホームページ構成の解説及び「ユーザビリティ」等の説明「ユーザビリティ」等を重視したホームページ構成の解説及び、簡易的なサイトの作成。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	jQueryプラグインの設置 その1	jQueryプラグイン「ThickBox」の設置	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第8回	jQueryプラグインの設置 その2	jQueryプラグイン、スライドショー「bxslider」の設置 その1	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第9回	jQueryプラグインの設置 その2	jQueryプラグイン、スライドショー「bxslider」の設置 その2	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第10回	jQueryプラグインの設置 その3	jQueryプラグイン「ドロップダウンメニュー」の設置	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第11回	レスポンシブサイトの学習	cssの「@media」を使用してのマルチデバイスサイトの解説・作成	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第12回	”	”	”
第13回	WebサイトのTopページ ビジュアル案作成 その1	今までの授業で取得した全ての内容を元に、PhotoshopやIllustrator等を使い、ホームページのTopページデザインを作成。	予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。

第14回	”	”	”
第15回	WebサイトのTopページ ビジュアル案作成 その2-1	今までの授業で取得した全ての内容を元に、PhotoshopやIllustrator等を使い、ホームページのTopページデザインを作成。	予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第16回	WebサイトのTopページ ビジュアル案作成 その2-2	今までの授業で取得した全ての内容を元に、PhotoshopやIllustrator等を使い、ホームページのTopページデザインを作成。 また、完成したTopビジュアル案を元にプレゼンテーション(アクティブラーニング)を行う。	予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集、プレゼンテーション内容の確認。 復習90分：作成内容の見直し。
第17回	総合的なWebサイトの作成 その1	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。	予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第18回	”	”	”
第19回	総合的なWebサイトの作成 その2	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。	予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第20回	”	”	”
第21回	総合的なWebサイトの作成 その3	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。	予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第22回	”	”	”
第23回	総合的なWebサイトの作成 その4	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。	予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第24回	”	”	”
第25回	総合的なWebサイトの作成 その5	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。	予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第26回	”	”	”
第27回	総合的なWebサイトの作成 その6	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。	予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第28回	”	”	”
			予習90分：プレゼン

第29回	プレゼンテーション・講評	卒業制作展内にて講評会を行う。その中で各人プレゼンテーション(アクティブラーニング)を行う。	テーション内容の作成。 復習90分：講評結果を基に自己評価を行う。
第30回	”	”	”

教科書

使用しない。

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50 点以上。
授業態度30% 作品の完成度70%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

作品作成に必要な素材集め、資料集めなどを事前に済ませておくこと。
また、授業内にて資料集めの進行具合の確認を行い、作成進行方針を協議することもある。

履修のポイント

講習時には遅刻、欠席をしないように注意すること。
授業態度及び、作品の完成度を重視する。作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：火曜日 14:50～15:00 104教室

講義コード	40270001
講義名	イラストレーション技法
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C232
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

あらゆる日常生活の中にイラストレーションは多々存在し、役割に応じた効果を上げている。その中でも、広告分野で使用されるイラストレーションは、情報を消費者へ伝える目的に留まらず、感情へ訴える情緒を魅力としたブランド価値の向上が求められている。この授業では、広告分野で求められる様々なイラストレーション技法の中から、手描きアクリル絵具による表現、版画による表現を中心として学び、基礎力の幅を広げると共に独自の表現を試みる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、広告業界で求められるイラストレーションを描き、多様な社会のニーズ、変化に対応できる能力を身につける。

到達目標

- アクリル絵具によるマチエール技法の修得
- 版画表現による素材を活かした表現手法の習得
- 「カッコいい、可愛い、オシャレ」を、イラストレーションによるデザインで具現化する

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	パッケージデザイン	授業概要説明 食品パッケージデザインのイラスト制作 水彩絵具を用いた技法研究	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	〃	〃	
第3回	パッケージデザイン	アイデアスケッチ	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第4回	//	//	
第5回	パッケージ デザイン	制作	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第6回	//	//	
第7回	パッケージ デザイン	制作、完成 講評会：制作した作品をプレゼンテー ションし意見交換する（アクティブラー ニング）	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第8回	//	//	
第9回	シルクスク リーン	シルクスクリーン印刷技法を使用した キャラクターイラスト制作 アイデアスケッチ	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第10回	//	//	
第11回	シルクスク リーン	下絵作成	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第12回	//	//	
第13回	シルクスク リーン	版作成	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第14回	//	//	
第15回	シルクスク リーン	摺り（布）、完成 講評会：制作した作品をプレゼンテー ションし意見交換する（アクティブラー ニング）	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第16回	//	//	
第17回	木版画イラ ストレー ション	木の素材を活かしたイラストレーション ／ロゴデザイン アイデアスケッチ トレース	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第18回	//	//	
第19回	木版画イラ ストレー ション	彫り	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第20回	//	//	
第21回	木版画イラ ストレー ション	摺り、完成 講評会：制作した作品をプレゼンテー ションし意見交換する（アクティブラー ニング）	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第22回	//	//	
第23回	オリジナル 作品制作	広告に使用する事を目的としたイラスト レーションを作成 これまでに学んだ技法を使用しオリジナ ル作品を作成する アイデアスケッチ	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認

第24回	//	//	
第25回	オリジナル 作品制作	制作	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第26回	//	//	
第27回	オリジナル 作品制作	制作	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第28回	//	//	
第29回	オリジナル 作品制作	制作、完成（作品提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテ ーションし意見交換する（アクティブラー ニング）	予習45分：次回実習内容 に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポ イント・配布資料の確認
第30回	//	//	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業準備時に、コンビニエンスストアやショッピングモールなど、身近な施設にある商品をデザ
イナー目線で観察し、感覚に訴えるデザインを情報収集する。

オフィス・アワー

木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室

講義コード	40280001
講義名	絵本制作
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C251
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 大竹 紀美代	指定なし

授業の概要と教育目標

絵本の表現は多岐に渡ります。古今東西様々な絵本を紹介し、イラストレーション、ストーリー、デザイン、製本について広く学びながら、課題のテーマに基づいて一冊の絵本を製作します。主に画用紙を使用し、紙を切り貼りしたり構成したりと、パソコンや筆で絵を描くだけではない、もの作りの基本である「手作業」を通して表現方法を学びます。まず作品のラフ（ダミー）を製作し、中間発表を行い意見交換をします。その意見をもとに修正、本制作に入ります。最後は仕上がった作品をプレゼンテーションし、中間発表と同じく意見交換・講評を行います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業では手作業を通して絵本への理解を深めるだけでなく、発言する場も大切にします。中間発表、最終の講評会では、自分の考えや作品内容を発表し、参加者は発表者との積極的な意見交換を行います。
アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、第三者とイメージを共有するための知識や技能を獲得し、また、他者の作品へ意見をするすることで、見る目を養い、もの作りについての考察を深めることを目指します。

到達目標

一人で一冊の絵本を製作するには、多くの知識と工程が必要です。それらを学び実践することで、絵本だけでなく様々な作品作りへも活かせる考え方を身につけると同時に、コミュニケーション手段としてのクリエイティブについて学ぶことも目標としています。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	古今東西の様々な絵本の紹介	予習45分：最低10冊以上の絵本を読んでおくこと。
第2回	オリエンテーション	①「絵本」についての講義 ②課題説明 ③アンケート記入提出	復習45分：講義内容について振り返る
	アイディア		

第3回	出し	アイデアチェックを受ける	予習45分：作品のアイデアを練る
第4回	アイディア出し	アイデアチェックを受ける/コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	復習45分：作品のアイデアを練る
第5回	ラフ製作①	コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	予習45分：作品のアイデアを練る
第6回	ラフ製作①	コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	復習45分：作品のアイデアを練る
第7回	ラフ製作②	コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	予習45分：作品のアイデアを練る
第8回	ラフ製作②	コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	復習45分：作品のアイデアを練る
第9回	ラフ発表 (中間講評)	全員ラフを提出。ひとりづつ発表・意見交換	予習45分：ラフ発表の準備
第10回	ラフ発表 (中間講評)	全員ラフを提出。ひとりづつ発表・意見交換	復習45分：発表、意見交換を振り返る
第11回	ラフ発表 (中間講評)	全員ラフを提出。ひとりづつ発表・意見交換	予習45分：ラフ発表の準備
第12回	ラフ発表 (中間講評)	全員ラフを提出。ひとりづつ発表・意見交換	復習45分：発表、意見交換を振り返る
第13回	ラフ修正	中間発表での意見を元に修正	予習45分：修正箇所を見直す
第14回	ラフ修正	ラフ修正でき次第本制作へ移行	復習45分：修正する
第15回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第16回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第17回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第18回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第19回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第20回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第21回	製本	本文（中身）の製本	予習；製本についてのプリントを見直す
第22回	製本	本文（中身）の製本	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第23回	製本	表紙と本文をつける	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第24回	製本	製本した作品に重石をしてプレ	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合う

		スする。	よう制作する
第25回	装丁・仕上げ	表紙制作・細かい部分の仕上げ	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第26回	装丁・仕上げ	表紙制作・細かい部分の仕上げ	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第27回	プレゼンテーション・講評	〔アクティブラーニング〕プレゼンテーション、意見交換・講評	予習45分：プレゼンテーションの準備
第28回	プレゼンテーション・講評	〔アクティブラーニング〕プレゼンテーション、意見交換・講評	復習45分：発表、意見交換を振り返る
第29回	プレゼンテーション・講評	〔アクティブラーニング〕プレゼンテーション、意見交換・講評	予習45分：プレゼンテーションの準備
第30回	プレゼンテーション・講評	〔アクティブラーニング〕プレゼンテーション、意見交換・講評	復習45分：発表、意見交換を振り返る

教科書

なし 制作に必要なプリント配布。

参考書

適宜紹介。

成績評価の方法・基準

単位認定：50点以上

授業への取り組み 20点 20%／中間講評・プレゼンテーション 30点 30%／提出作品 50点 50%
意見交換での発言を元に総合的に評価。授業最終日に提出された作品で評価を行う。後日提出は評価しない。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

個別対応や講評会での意見・感想をフィードバックとして各自授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作業量の多い課題ですので、余裕を持って進めることが重要。取り組んだ時間と作業量が完成度に表れます。自分の手で一冊の絵本ができた時の感動を楽しみに頑張りましょう。

オフィス・アワー

火曜日 14:50-15:00 1号館103教室

講義コード	40290001
講義名	写真表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C258
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

デジタル一眼レフカメラの操作方法を理解する。人物・風景・商品など、撮影した写真をコンピュータ上で確認する過程を通し、基本的なカメラ操作やライティング、配置バランス等の知識や技術を学習する。授業後半では、写真を用いた芸術表現として作品を完成させ、最終授業にて講評会を行う。作品制作の可能性を広げるため、著名な写真家も随時紹介する。写真という媒体への興味や関心を高めるため、積極的にフォトコンクール等に応募し、世の中に発信する姿勢を身につけることを、教育の目標とする。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、写真撮影の基礎知識を作品制作に役立てると共に、ひらめきや即興性を養い、表現の幅を広げる。また、卒業制作やポートフォリオ制作に、学習した写真撮影の技術を効果的に役立てることを目指す。

到達目標

デジタル一眼レフカメラの操作方法を理解し、撮りたいイメージを作るにはどうしたら良いのかを自主的に考えることを到達目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	カメラの操作方法、前提講義	一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存の方法を知る。参考作品を鑑賞する。フォトコンクールに関する情報共有。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする

第2回	カメラの操作方法	一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存の方法を知る。参考作品を鑑賞する。フォトコンクールに関する情報共有。	復習：45分 配布資料等を用いて授業を振り返る
第3回	レンズ、構図、絞り、露出、照明、色、シャッタースピードについて	望遠と広角レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、色、照明、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第4回	レンズ、構図、絞り、露出、照明、色、シャッタースピードについて	望遠と広角レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、色、照明、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。	復習：45分 配布資料等を用いて授業を振り返る
第5回	レンズ、構図、絞り、露出、照明、色、シャッタースピードについて	望遠と広角レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、色、照明、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第6回	レンズ、構図、絞り、露出、照明、色、シャッタースピードについて	望遠と広角レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、色、照明、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。	復習：45分 配布資料等を用いて授業を振り返る
第7回	人物・商品撮影	ライトやレフ板を使用したライティング効果を知る、スナップショットの楽しさを知る。構図や被写界深度、露出を意識しながら空間の中に人物・商品を配置して撮影する。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第8回	人物・商品撮影	ライトやレフ板を使用したライティング効果を知る、スナップショットの楽しさを知る。構図や被写界深度、露出を意識しながら空間の中に人物・商品を配置して撮影する。	復習：45分 配布資料等を用いて授業を振り返る
第9回	印刷	パソコンとインクジェットプリンタを接続し、撮影データを写真用紙に印刷する。フレームやボードに額装する。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第10回	印刷	パソコンとインクジェットプリンタを接続し、撮影データを写真用紙に印刷する。フレームやボードに額装する。	復習：45分 配布資料等を用いて授業を振り返る
第11回	中間講評会	アクティブ・ラーニングの内容：今まで撮影した写真をプレゼンテーションする。意見を交換する過程で、表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。応募を予定しているフォトコンクールについても報告する。	予習：45分 中間講評会の準備
第12回	中間講評会	アクティブ・ラーニングの内容：今まで撮影した写真をプレゼンテーションする。意見を交換する過程で、表現の多様性や制作姿勢に対する意識を	復習：45分 中間講評会を振

		深める。応募を予定しているフォトコンクールについても報告する。	り返る
第13回	学外での撮影	一眼レフカメラの基本操作を現場で応用する。構図、露出、シャッタースピードなどを工夫し、狙った効果を修得する。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第14回	学外での撮影	一眼レフカメラの基本操作を現場で応用する。構図、露出、シャッタースピードなどを工夫し、狙った効果を修得する。	復習：45分 学外での撮影授業を振り返る
第15回	学外での撮影	一眼レフカメラの基本操作を現場で応用する。構図、露出、シャッタースピードなどを工夫し、狙った効果を修得する。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第16回	学外での撮影	一眼レフカメラの基本操作を現場で応用する。構図、露出、シャッタースピードなどを工夫し、狙った効果を修得する。	復習：45分 学外での撮影授業を振り返る
第17回	さまざまな写真作品の紹介、自由制作に関する前提講義	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立てる。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクール応募用作品も併せて制作する。随時個別相談。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第18回	さまざまな写真作品の紹介、自由制作に関する前提講義	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立てる。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクール応募用作品も併せて制作する。随時個別相談。	復習：45分 配布資料等を用いて授業を振り返る
第19回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第20回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	復習：45分 自由制作の継続
第21回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第22回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	復習：45分 自由制作の継続
第23回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第24回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	復習：45分 自由制作の継続
			予習：45分 興

第25回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第26回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	復習：45分 自由制作の継続
第27回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする
第28回	自由制作、コンクール用作品制作	写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。随時個別相談。	復習：45分 自由制作の継続
第29回	最終講評会、課題提出	アクティブ・ラーニングの内容：自由制作課題とコンクール応募用作品のプレゼンテーションを行う。意見を交換する過程で、思考を言語に置き換え効果的に伝える方法を探る。表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	予習：45分 プレゼンテーション準備
第30回	最終講評会、課題提出	アクティブ・ラーニングの内容：自由制作課題とコンクール応募用作品のプレゼンテーションを行う。意見を交換する過程で、思考を言語に置き換え効果的に伝える方法を探る。表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	復習：45分 プレゼンテーションを振り返る

教科書

使用しない（必要に応じて資料を配布）

参考書

現代写真論（シャーロット・コットン著）、写真のキーワード（ジル・モラ著）、深読み！日本写真の超名作100（飯沢耕太郎著）、世界写真史（美術出版社）、日本芸術写真史（西村智弘）、明るい部屋（ロラン・バルト著）、デジタル撮影の適正露出と色彩調整（谷口泉著）、未来ちゃん（川島小鳥）他

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 フォトコンクールへの作品応募30% 自由制作40% 授業への参加度30%

課題等に対する フィードバックの方法

カメラの基本操作を学ぶ過程での個別対応全般、中間・最終講評会における意見や感想をフィードバックとして、各自授業内容の理解や作品のクオリティ向上に役立てる。

履修のポイント

データ保存用に自分のSDカードやUSBメモリを用意する。データ紛失を防ぐためにバックアップを心掛ける。自分でテーマを決めて作品制作に向き合う積極性を持つ。展示に必要なアイテムや効果的な発表方法を考慮する。

オフィス・アワー

金曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館103教室

講義コード	40300001
講義名	クラフトデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C262
学年	2学年
担当教員	

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

「雑貨のデザイナー」として市場調査を行いながらユーザーの視点に立ったデザインを行う。自分の表現したいことと、コンセプトやターゲット、トレンドと造形の関わりについて実際に独自のブランドをつくりながら学んでいく。さらに、素材を知り、それに合わせた技法を習得し、手を動かすことで発想をかたちにする方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために、市場調査を行いながらユーザーの視点に立ったデザインを行い、自分の表現したいことと、コンセプトやターゲット、トレンドと造形の関わりについて学ぶ。

到達目標

- ・ユーザーの視点に立ったデザイン、素材の特徴をとらえたデザインを行う。
- ・制作技術を習得し、ものづくりを行う中で想像力と美的感覚を養う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	実習内容についての説明、リサーチを行う	予習 25分 身の回りにどのような雑貨があるか調べる 復習 20分 授業をふまえ、身の回りにどのような雑貨があるか調べる
第2回	商品企画 1	リサーチを行う	予習 25分 身の回りにある雑貨とそのトレンドについて調べる 復習 20分 授業をふまえ、身の回りにある雑貨とそのトレンドについて調べる
		リサーチを行う	予習 45分 身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調

第3回	商品企画 2	〈アクティブラーニング〉 市場にどのような雑貨があるの か、トレンドとそのターゲットに ついて学生同士で意見交換を行 う。	べる 復習 45分 授業をふまえ、身の回りにある雑貨 とそのトレンド、ターゲットについ て調べる
第4回	商品企画 3	リサーチを行う	上記参照
第5回	商品企画 4	リサーチを行い、まとめる	予習 45分 身の回りにある雑貨とそ のトレンド、ターゲットについて調 べる 復習 45分 授業をふまえ、市場にある雑貨と、 自分の作りたいものについて確認す る
第6回	商品企画 5	リサーチを行い、まとめる	上記参照
第7回	商品企画 6	独自ブランドのアイデアスケッチ を行う	予習 45分 アイデアスケッチに備 え、リサーチした内容を確認してお く 復習 45分 授業をふまえ、アイデアスケッチに オリジナル性があるか確認する
第8回	商品企画 7	独自ブランドのアイデアスケッチ を行う	上記参照
第9回	商品企画 8	独自ブランドのアイデアスケッチ を行う	予習 45分 アイデアスケッチに備 え、リサーチした内容を確認してお く 復習 45分 授業をふまえ、アイデアスケッチに オリジナル性があるか確認する
第10回	商品企画 9	独自ブランドのアイデアスケッチ を行う	上記参照
第11回	独自ブラ ンドをつ くる 1	制作準備、デザイン	予習 45分 デザインに備え、アイデ アスケッチとリサーチした内容を確認 しておく 復習 45分 自分のデザインにどのよ うな道具や技法、素材が必要か調べ る
第12回	独自ブラ ンドをつ くる 2	制作準備、デザイン	上記参照
第13回	独自ブラ ンドをつ くる 3	制作準備、デザイン	予習 45分 デザインに備え、アイデ アスケッチとリサーチした内容を確認 しておく 復習 45分 自分のデザインにどのよ うな道具や技法、素材が必要か調べ る
第14回	独自ブラ ンドをつ くる 4	制作準備、デザイン	上記参照
第15回	独自ブラ ンドをつ	製品の制作	予習 45分 制作において必要な素材 や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認

	くる 5		と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第16回	独自ブランドをつくる 6	製品の制作	上記参照
第17回	独自ブランドをつくる 7	製品の制作	予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第18回	独自ブランドをつくる 8	製品の制作	上記参照
第19回	独自ブランドをつくる 9	製品の制作	予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第20回	独自ブランドをつくる 10	製品の制作	上記参照
第21回	独自ブランドをつくる 11	製品の制作	予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第22回	独自ブランドをつくる 12	製品の制作	上記参照
第23回	独自ブランドをつくる 13	製品の制作	予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第24回	独自ブランドをつくる 14	製品の制作	上記参照
第25回	独自ブランドをつくる 15	製品の制作、パッケージの制作	予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく。身の回りにある雑貨のパッケージを調べておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、実際に作業に必要な道具を確認する
第26回	独自ブランドをつ	製品の制作、パッケージの制作	上記参照

	くる 1 6		
第27回	独自ブランドをつくる 1 7	製品の制作、パッケージの制作	予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく。 復習 45分 進行スケジュールの確認と、実際に作業に必要な道具を確認する
第28回	独自ブランドをつくる 1 8	製品の制作、パッケージの制作	上記参照
第29回	独自ブランドをつくる 1 9	作品の提出、講評、撮影	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第30回	独自ブランドをつくる 2 0	作品の提出、講評、撮影	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上／1.平常点（取組みの姿勢）30％ 2.作品点／70％
上記1および2の総合評価が50点（％）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。
講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント

実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。

オフィス・アワー

月・火 12：30-13：20 寺村研究室（122）

講義コード	40310001
講義名	工芸デザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C234
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

素材に親しみながらその特性をふまえ、模様やかたち、色のもつ効果について考えながらデザインを行う。型染めによるクッションカバーと、オーブン陶土を用いたオリジナルの雑貨を製作する中で、豊かな発想と表現力を養う。素材や技法を学びながらそれぞれのもつ特徴を生かしたもののづくりを行い、発想をかたちにする方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得するために、布や陶土といった素材の特徴をつかみながらものづくりを行い、発想をかたちにする。
ディプロマポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために、模様やかたち、色のもつ効果について考えながらデザインを行う。

到達目標

- ・素材の特徴をとらえたデザインを行う。
- ・制作技術を習得し、ものづくりを行う中で想像力と美的感覚を養う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	繊維を用いた作品の制作 1	実習内容についての説明、素材についてのレクチャー 〈アクティブラーニング〉 クッションのかたち、素材についてどのようなものがあるか学生同士でディスカッションする	予習 45分 クッションの市場調査を行う 復習 45分 授業をふまえ、クッションに適切な素材を調べておく
第2回	繊維を用いた作品の制作 2	型染めについての説明、作品のデザイン	上記参照

第3回	繊維を用いた作品の制作 3	作品のデザイン、模様のデザイン	予習 45分 連続する模様についてどのようなものがあるか調べておく 復習 45分 連続する模様とそのデザインについて調べる
第4回	繊維を用いた作品の制作 4	作品のデザイン、模様のデザイン	上記参照
第5回	繊維を用いた作品の制作 5	デザインチェック 型作り	予習 45分 型染めの道具について調べる 復習 45分 デザインチェックをふまえ、型染めに必要な吊りの部分を確認する
第6回	繊維を用いた作品の制作 6	型作り	上記参照
第7回	繊維を用いた作品の制作 7	型作り	予習 45分 型染めに必要な吊りの部分を考えておく 復習 45分 紗張りについて必要な道具を調べ、準備しておく
第8回	繊維を用いた作品の制作 8	型作り	上記参照
第9回	繊維を用いた作品の制作 9	型作り（紗貼り）	予習 45分 紗張りについて必要な道具を準備しておく 復習 45分 紗張りに対してのアイロンの温度や道具の使い方を復習する
第10回	繊維を用いた作品の制作 10	型作り（紗貼り）	上記参照
第11回	繊維を用いた作品の制作 11	染色	予習 45分 実際に模様を付ける際の色、配置の方法を考えておく 復習 45分 顔料を置く方法、顔料に対する色の混食率を確認しておく
第12回	繊維を用いた作品の制作 12	染色	上記参照
第13回	繊維を用いた作品の制作 13	染色	予習 45分 実際に模様を付ける際の色、配置の方法を考えておく 復習 45分 顔料を置く方法、顔料に対する色の混率を確認しておく
14	繊維を用い		

第 回	た作品の制作 14	染色、仕上げ	上記参照
第15回	繊維を用いた作品の制作 15	仕上げ、縫製	予習 45分 ミシンの扱い方を調べ、糸を準備する 復習 45分 ミシンの扱い方を確認する
第16回	繊維を用いた作品の制作 16	仕上げ、縫製	上記参照
第17回	繊維を用いた作品の制作 17	作品提出、講評	予習 20分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 25分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第18回	装飾品の制作 1	実習内容についての説明、素材について オープン陶土を用いた作品のデザイン	予習 20分 陶器でできているものに対して市場調査を行う 復習 25分 授業をふまえ、陶器で何ができるかを確認する
第19回	装飾品の制作 2	オープン陶土を用いた作品のデザイン、サンプル制作	予習 45分 どのようなものを作るかデザイン画を準備する 復習 45分 サンプル制作をふまえ、素材の特徴について確認する
第20回	装飾品の制作 3	オープン陶土を用いた作品のデザイン、サンプル制作	上記参照
第21回	装飾品の制作 4	サンプル制作（形成、乾燥）	予習 45分 どのようなサンプルを制作するか考えておく 復習 45分 制作をふまえ、素材の特徴について確認する
第22回	装飾品の制作 5	サンプル制作（焼成、仕上げ）	上記参照
第23回	装飾品の制作 6	サンプルの確認、デザインの見直し	予習 45分 どのようなサンプルを制作するか考えておく 復習 45分 制作をふまえ、デザインについて確認する
第24回	装飾品の制作 7	サンプルの確認、デザインの見直し	上記参照
第25回	装飾品の制作 8	作品の制作（形成・乾燥）	予習 45分 デザイン画を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と調整、制作に必要な道具を調べておく
第26回	装飾品の制作 9	作品の制作（形成・乾燥）	上記参照
			予習 45分 制作に必要な道具（へら、絵の具、仕上げに必要な金具な

第27回	装飾品の制作 10	作品の制作（形成、焼成、仕上げ）	ど）を準備しておく 復習 45分 仕上げに必要な道具を調べ、準備する
第28回	装飾品の制作 11	作品の制作（形成、焼成、仕上げ）	上記参照
第29回	装飾品の制作 12	仕上げ→作品の提出・講評 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第30回	同上	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上／1.平常点（取組みの姿勢）30％ 2.作品点／70％
上記1および2の総合評価が50点（％）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。
講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント

実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。 ¥2000程度材料費が発生します。

オフィス・アワー

月・火 12：30-13：20 寺村研究室（122）

講義コード	40320001
講義名	ファッションアート
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C263
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

自分自身を表現する手段として、コスプレやロリータファッションの衣装等があります。そのような衣装や、舞台衣装等自分の好みの作品の実物制作を行います
コスプレやロリータファッションを遊びと捉えず、自己表現の一つと考え、好みのキャラクターを形にして行く。

卒業認定・学位授与の方針との関連

実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、コスプレやロリータファッションを遊びと捉えず、自己表現の一つと考え、好みのキャラクターを形にして行く。社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために服作りの知識や技術を身に付け、自分の希望の形にする力を付ける。

到達目標

服作りの知識や技術を身に付け、自分の希望の形にする力を付ける事を目標とする

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	講義・実習方法の説明他	予習：25分作りたい服のリサーチ 復習：20分デザインの確認
第2回	制作物の選定	デザイン画作成→四方面から描く（縫い目の位置含む） 採寸	予習：25分作りたい服のリサーチ 復習：20分次回授業の準備
第3回	制作物の選定	デザイン画作成→四方面から描く（縫い目の位置含む）	予習：45分採寸の支度 復習：45分次回授業の準備
第4回	同上	同上	上記参照
第5回	制作物の決定	製図→チェック	予習：45分デザインの確認 復習：45分次回授業の準備
第6回	同上	同上	上記参照
	制作物		予習：45分スケジュールの確認

第7回	の決定	製 図 → 材料の書き出し及び調達	復習：45分次回授業の準備
第8回	同上	同上	上記参照
第9回	制作物の決定	布の地直し	予習：予習 45分 地直しの準備 (水に一晩浸し、干しておく) 復習：45分次回授業の準備
第10回	同上	同上	上記参照
第11回	制作物の決定	仮 縫 い → 試着補正 → 本 縫 い	予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第12回	同上	同上	上記参照
第13回	制 作	本 縫 い	予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第14回	同上	同上	上記参照
第15回	制 作	本 縫 い	予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第16回	同上	同上	上記参照
第17回	制 作	本 縫 い	予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第18回	同上	同上	上記参照
第19回	制 作	本 縫 い	予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第20回	同上	同上	上記参照
第21回	制 作	本 縫 い	予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第22回	同上	同上	上記参照
第23回	制 作	本 縫 い	予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第24回	同上	同上	上記参照
第25回	制 作	本 縫 い	予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第26回	同上	同上	上記参照
第27回	制 作	本 縫 い → 作品仕上	予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第28回	同上	同上	上記参照
第29回	製作仕上げ	仕上げ、講評会、作品撮影 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第30回	同上	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上／実技課題（取り組みの内容50％、完成度30％）・提出期限20％
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法
授業内での各作業に関して個別にフィードバックする。 講評会で各作品について、個別に評価のポイント等を具体的に指摘する
履修のポイント
実技ですので、特段の理由が無い限り休まず出席して下さい
オフィス・アワー
火曜日、9時20分～12時30分、105教室

講義コード	40330001
講義名	デジタルコミック
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C231
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし

授業の概要と教育目標

この講座ではillustrator、PhotoShop、Clip Studioの3アプリケーションについて学ぶ。基本的なオペレーションを確実に理解した後、実践的なCGイラストレーションの技術を修得する。illustratorではオリジナルイラストの制作、PhotoShopでは自身のマンガ作品の表紙をイメージしたカラーイラスト、Clip Studioでは自身のアナログ作品のデジタル化に挑戦する。マンガ・アニメの世界におけるCGは、近年その重要度を増しており、アニメーションはもとよりマンガもデジタル化されているのが現状である。本講座は、マンガ家だけでなく、アニメ作家・イラストレーター等、様々な分野で活躍できるスキルを基礎から身につける事を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、卒業後、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、また多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

CGの基礎を確実に習得したうえで、さらに実践的な表現技術を身につける。専門的なグラフィックソフトの諸機能を理解し、コンピュータの周辺機器を含めて的確なオペレーションをおこない、より効率的に完成度の高いヴィジュアル作品を制作できるようになる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	illustratorによるイラスト制作（1）	授業の概要説明 illustrator基礎① 各種ツール・ウィンドウ解説、イラスト練習課題	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	〃	〃	
	illustratorによる	illustrator基礎② イラスト練習課題	予習45分：レクチャー内容の予習

第3回	イラスト制作 (2)	オリジナルイラストの下書き準備	復習45分：レクチャー内容 の復習
第4回	//	//	
第5回	illustratorによる イラスト制作 (3)	●オリジナルイラストの制作 下書き完成、スキャン スキャナーの使い方、画像の配置の 仕方など解説	予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第6回	//	//	
第7回	illustratorによる イラスト制作 (4)	●オリジナルイラストの制作 ペンツールによるトレース illustratorの諸機能を使い、効率的な トレースを目指す。	予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第8回	//	//	
第9回	illustratorによる イラスト制作 (5)	●オリジナルイラストの制作 ペンツールによるトレース	予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第10回	//	//	
第11回	illustratorによる イラスト制作 (6)	●オリジナルイラストの制作 完成、提出 講評、プレゼンテーション(アクティ ブラーニング)	予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第12回	//	//	
第13回	PhotoShopによる イラスト制作 (1)	CG作品の紹介 ●自身のマンガ作品の表紙をイメージ したカラーイラストの制作 下書き、主線ペン入れ、スキャン グ、線画修正 ※マンガ・コミックイラストコース 以外の学生はオリジナルイラストを 制作	予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第14回	//	//	
第15回	PhotoShopによる イラスト制作 (2)	●自身のマンガ作品の表紙をイメージ したカラーイラストの制作 キャラクター・背景の下地塗り等	予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第16回	//	//	
第17回	PhotoShopによる イラスト制作 (3)	●自身のマンガ作品の表紙をイメージ したカラーイラストの制作 キャラクター・背景の陰影、ハイラ イト	予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第18回	//	//	
第19回	PhotoShopによる イラスト制作 (4)	●自身のマンガ作品の表紙をイメージ したカラーイラストの制作 キャラクター・背景の陰影、ハイラ イト	予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第20回	//	//	
第21回	PhotoShopによる イラスト制作	●自身のマンガ作品の表紙をイメージ したカラーイラストの制作 仕上げ、完成、提出 講評、プレゼンテーション(アクティ	予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容

	(5)	ブラーニング)	の復習
第22回	//	//	
第23回	Clip Studioによるデジタルコミック制作(1)	●マンガ作品の制作 Clip Studio基礎／各種ツール・ウィンドウ解説、一枚絵、コマ割、集中線等演習、オリジナルマンガ作品のスキャン、画像配置 ※マンガ・コミックイラストコース以外の学生はオリジナルイラストを制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	//	//	
第25回	Clip Studioによるデジタルコミック制作(2)	●マンガ作品の制作 コマ割、主線ペン入れ、ベタ塗り	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	//	//	
第27回	Clip Studioによるデジタルコミック制作(3)	●マンガ作品の制作 集中線、トーン、文字入れ等	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	//	//	
第29回	Clip Studioによるデジタルコミック制作(4)	●マンガ作品の制作 完成、提出 講評、プレゼンテーション(アクティブラーニング)	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	//	//	

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上

授業への取り組み：30%、課題提出、作品の完成度：70%

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

各課題毎に講評、プレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、制作途中には講師が個々に技術的な指導を行う。

履修のポイント

作品の提出は完成されている事を前提としています。授業内で完成しない場合は時間外で完成させて提出するように努力してください。また、イラストの構想や下書きについても授業外で準備しておくことが望ましいでしょう。技術的な説明をする時は、とくに欠席、遅刻等しないように注意してください。

オフィス・アワー

小松原：水曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室

講義コード	40340001
講義名	3 D - C G
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C253
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

設定した世界感をもとに、キャラクターデザインからゲームグラフィックス用のローポリゴンモデルの制作を行う。また、3 D C GだけでなくAdobe Photoshop、Illustratorを使用し、制作プロセスを指定フォーマットにレイアウトすることで、ポートフォリオ制作の基礎を学ぶ。

教育目標としては、社会のニーズを考慮し、目的に合わせたデザインと必要に応じたソフトウェアの選択をする能力の育成。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、3 D-CGの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

3DCGソフトのモデリングオペレーションの習得。
ワークフローの記録とそのレイアウト。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	前提講義、事例および作例の紹介	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	”	”	”
第3回	企画	リサーチ～企画案作成、リファレンス作成	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	”	”	”
			予習45分：レクチャー内容の予

第5回	企画	リサーチ～企画案作成、リファレンス作成	習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	”	”	”
第7回	デザイン (1)	任意手法によるエスキース、デザイン画制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	”	”	”
第9回	デザイン (2)	任意手法によるエスキース・デザイン画提出	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	”	”	”
第11回	3DCG基礎	Autodesk MAYA基礎オペレーション、チュートリアル	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	”	”	”
第13回	3DCG基礎	Autodesk MAYA基礎オペレーション、チュートリアル	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	”	”	”
第15回	モデリング	ローポリゴンモデル制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	”	”	”
第17回	モデリング	ローポリゴンモデル制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	”	”	”
第19回	モデリング	ローポリゴンモデル制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	”	”	”
第21回	モデリング	ローポリゴンモデル制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	”	”	”
第23回	モデリング	ローポリゴンモデル制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	”	”	”
			予習45分：レクチャー内容の予

第25回	レイアウト	プレゼンテーションボードの制作	習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	”	”	”
第27回	レイアウト	プレゼンテーションボードの制作	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	”	”	”
第29回	プレゼンテーション	プレゼンテーション（アクティブラーニング）作品講評・採点	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評の内容についての復習
第30回	”	”	”

教科書

使用しない。（必要に応じ資料を配布する。）

参考書

各ソフトウェアマニュアルおよび解説書

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
3DCGデータとプレゼンテーションボードの完成度100%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

適宜プレゼンテーション、ディスカッション（アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評を行う。

履修のポイント

制作資料の収集、リサーチ等が必要です。
3DCGは少し難しいかもしれませんが、今後も需要が増えて行く分野です、とにかく体験してみることです。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：金曜日、10:50～11:00 1号館3F 104教室

講義コード	40350001
講義名	アニメーションⅠ
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C257
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

本演習では、従来手法（手描きや立体アニメーションなど）とデジタル手法、または、その併用による映像作品を制作する。
 制作指導は、各々の個性・主体性を尊重しながらも、グループ単位での指導を行い、共同作業をすることで個々の感性や技術力の向上を目指す。
 アニメーション表現の可能性を追求と作品制作を通して映像編集の流れと、グループワークを学ぶことを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
 本講座は、アニメーションの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

映像制作のためのアプリケーション（Adobe AfterEffects、Premiere）での基本的映像編集方法の習得。
 完成作品をコンクール出品や動画サイトへの投稿することで社会と接点を持つ。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	前提講義、事例および作例の紹介	予習：シラバス内容の確認 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第2回	"	"	"
第3回	プリプロダクション	映像作品のリサーチ、作品コンセプトの構築～個別企画の作成 AdobeAfterEffects基礎オペレーションチュートリアル	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分

第4回	"	"	"
第5回	プリプロダクション	映像作品のリサーチ、作品コンセプトの構築～個別企画の作成 AdobeAfterEffects基礎オペレーションチュートリアル	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第6回	"	"	"
第7回	プリプロダクション	グループ分け、制作内容の検討	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第8回	"	"	"
第9回	プリプロダクション	グループミーティング、シナリオ、絵コンテの作成	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第10回	"	"	"
第11回	プリプロダクション	グループプレゼンテーション（アクティブラーニング）	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第12回	"	"	"
第13回	プロダクション	映像制作～グループ単位での作画や撮影など	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第14回	"	"	"
第15回	プロダクション	映像制作～グループ単位での作画や撮影など	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第16回	"	"	"
第17回	プロダクション	映像制作～グループ単位での作画や撮影など	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第18回	"	"	"
第19回	プロダクション	映像制作～グループ単位での作画や撮影など	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第20回	"	"	"
第21回	プロダクション	映像制作～グループ単位での作画や撮影など	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第22回	"	"	"
第23回	プロダクション	映像制作～グループ単位での作画や撮影など	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
24	"	"	"

第 回			
第25回	ポストプロダクション	グループごとに映像編集 MA（ナレーションやアフレコ、効果音）作業	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第26回	"	"	"
第27回	ポストプロダクション	グループごとに映像編集 MA（ナレーションやアフレコ、効果音）作業	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第28回	"	"	"
第29回	プレゼンテーション	上映会、グループごとのプレゼンテーション、講評・採点 （アクティブラーニング）	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第30回	"	"	"

教科書

使用しない。（必要に応じ資料を配布する。）

参考書

各ソフトウェアマニュアルや映像編集の解説書など。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

1：課題評価70% 2：グループワークでの協調性30%。

1、2の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

適宜プレゼンテーション、ディスカッション（アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評を行う。

履修のポイント

グループごとに楽しく、面白がって制作すれば、結果に表れます。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：金曜日、14:50～15:00 1号館3F 104教室

講義コード	40360001
講義名	アニメーションⅡ
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C373
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、個々のアイデアにユーモアや美的感覚を付加し、絵やものを動かす試みを通して、表現のオリジナリティを追求することを、教育の目標とする。興味を持った映像表現を積極的に鑑賞し、自分の表現に取り入れ、粘り強く制作を進めることが求められる。制作手法に合わせて、リサーチ、絵コンテ、撮影やデジタル編集、効果音作りや書き出しまでを、一通り行い完成とする。映像コンクールや卒業制作展等での出品・発表を見据えて、各々の主体性を尊重しながら、技術や知識の習得を目指す。

※本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得することを目指す。また、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を、映像制作を通して積極的に養う。

到達目標

動きのないものに表情や感情を持たせるには、どのような方法が効果的かを工夫しながら、イメージを作品として仕上げる。さまざまな作品に触れる過程で、客観性や柔軟性を養い、幅広いアニメーション表現を理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために 必要な時間
第1回	前提講義	参考作品鑑賞、授業の流れや趣旨を確認、アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング アクティブ・ラーニングの内容：さまざまな参考作品の鑑賞を通して、学生の意見や感想を引き出す。（学生は感想をメモに書き込み	予習45分： 興味のある アニメー ション作品

		教員が回収、読み上げて意見交換を促し、全体へのフィードバックとする）その過程で今後の制作に対するイメージを膨らませる。	をリサーチする
第2回	前提講義	参考作品鑑賞、授業の流れや趣旨を確認、アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング アクティブ・ラーニングの内容：さまざまな参考作品の鑑賞を通して、学生の意見や感想を引き出す。（学生は感想をメモに書き込み教員が回収、読み上げて意見交換を促し、全体へのフィードバックとする）その過程で今後の制作に対するイメージを膨らませる。	復習45分：今後の制作で参考にしたいアニメーション作品をリサーチする
第3回	編集ソフトの操作確認 AfterEffects&Premiere	素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認	予習45分：今後の制作に利用したい特殊効果、参考動画をリサーチする
第4回	編集ソフトの操作確認 AfterEffects&Premiere	素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認	復習45分：配布資料や練習素材を見直す
第5回	編集ソフトの操作確認 AfterEffects&Premiere	素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認	予習45分：今後の制作に利用したい特殊効果、参考動画をリサーチする
第6回	編集ソフトの操作確認 AfterEffects&Premiere	素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認	復習45分：配布資料や練習素材を見直す
第7回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応 プラン作成・提出	予習45分：今後の制作プランを考える
第8回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応 プラン作成・提出	復習45分：作品制作に必要な素材や機材を整える
第9回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分：公募展やアワードについてリサーチし、作品の応募に備える。
第10回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	復習45分：作品制作に必要な素材や機材を整

			える
第11回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分： 公募展やア ワードにつ いてリサー チし、作品 の応募に備 える。
第12回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	復習45分： 作品制作に 必要な素材 や機材を整 える
第13回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分： 公募展やア ワードにつ いてリサー チし、作品 の応募に備 える。
第14回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	復習45分： 作品制作に 必要な素材 や機材を整 える
第15回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分： 公募展やア ワードにつ いてリサー チし、作品 の応募に備 える。
第16回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	復習45分： 作品制作に 必要な素材 や機材を整 える
第17回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分： 公募展やア ワードにつ いてリサー チし、作品 の応募に備 える。
第18回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	復習45分： 作品制作に 必要な素材 や機材を整 える
第19回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分： 公募展やア ワードにつ いてリサー チし、作品

			の応募に備える。
第20回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応 中間発表会 アクティブ・ラーニングの内容：お互いの進捗状況を報告し確認する。技法、素材、テーマ、今後の展開などを説明する。	復習45分：作品制作に必要な素材や機材を整える
第21回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分：公募展やアワードについてリサーチし、作品の応募に備える。
第22回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	復習45分：作品制作に必要な素材や機材を整える
第23回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分：公募展やアワードについてリサーチし、作品の応募に備える。
第24回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	復習45分：作品制作に必要な素材や機材を整える
第25回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分：公募展やアワードについてリサーチし、作品の応募に備える。
第26回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	復習45分：作品制作に必要な素材や機材を整える
第27回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分：公募展やアワードについてリサーチし、作品の応募に備える。
第28回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	復習45分：作品制作に必要な素材や機材を整

			える
第29回	自由制作	手法に応じた制作 随時個別対応	予習45分： 公募展やア ワードにつ いてリサー チし、作品 の応募に備 える。
第30回	講評会	作品鑑賞、講評会、作品提出 アクティブ・ラーニングの内容：お互いの完 成作品を鑑賞する。制作した作品の説明や、 鑑賞した作品に対する意見を述べる過程で、 表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深め る。応募を予定しているコンペティションや アワードについても報告する。	復習45分： 公募展やア ワードにつ いてリサー チし、作品 の応募に備 える。
教科書			
使用しない（必要に応じて資料や練習素材を配布）			
参考書			
各ソフトウェアマニュアルや映像編集の解説書など (AfterEffects CS6 マスターブック：大河原 浩一著、Premiere Pro CS6マスターブック：杉原正人著、Adobe After Effects トレーニングブッ ク：高橋篤史著、After Effects 標準エフェクト全解：石坂アツシ、大河原浩一、笠原淳子 著、AfterEffects for アニメーション：太平幸輝著、After Effects 標準講座：高木和明著、他)			
成績評価の方法・基準			
単位認定50点以上 課題提出80% プラン提出を含む授業への参加度20%			
課題等に対する フィードバックの方法			
前提講義での作品鑑賞、中間発表会、講評会における意見交換や批評、感想、及び個別指導時の 対応を、授業の理解に役立てる。			
履修のポイント			
データ紛失に気をつけること。個人でUSB等を用意しデータのバックアップを心掛けること。限 られた授業時間を有効に使い最後まで完成させること。			
オフィス・アワー			
金曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館104教室			

講義コード	40370001
講義名	C G イラストレーション
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C254
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

CGイラストレーションを描く為に必要な、illustrator、Photoshop、ClipStudioの機能やオペレーションを基礎から学ぶ。目標到達に向けた情報収集を行う。実践的なイラストレーションの制作方法を習得し、オリジナル作品に挑戦する。

CG技術は、イラストレーション・絵画等の芸術を表現する手段として近年その重要度を増している。画材を扱うようにCGを一つの道具として使いこなすことが出来れば、様々な領域に応用することが出来る。高度なスキルを身につけ、デザインやゲーム・アニメ等の業界で活躍することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。その行程として、CG技術による顕示性の高い描画力と視認性の高いデザイン力を習得する。

到達目標

- 下記3種ソフトウェアの特徴を活かしたCG技術を習得する
 - 「ClipStudio」＝線画作成
 - 「Photoshop」＝着彩、合成
 - 「Illustrator」＝デザイン性、バリエーション
- コンピュータ周辺機器の的確なオペレーションを行う
- 各種ショートカットを覚える
- 完成度の高いヴィジュアル作品を制作する

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	作品1	授業概要説明、各種ソフトウェア解説 下絵作成	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第2回	//	//	
第3回	作品Ⅰ	描画 = 生物 ClipStudioを使用した線画作成	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	//	//	
第5回	作品Ⅰ	描画 = 生物 ClipStudioを使用した線画作成	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	//	//	
第7回	作品Ⅰ	描画 = 生物 Photoshopを使用した着彩	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	//	//	
第9回	作品Ⅰ	描画 = 生物 Photoshopを使用した着彩	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	//	//	
第11回	作品Ⅰ	描画 = 生物 Photoshopを使用した着彩（完成） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	//	//	
第13回	作品Ⅱ	描画 = 背景 ClipStudioを使用した線画作成	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	//	//	
第15回	作品Ⅱ	描画 = 背景 ClipStudioを使用した線画作成	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	//	//	
第17回	作品Ⅱ	描画 = 背景 Photoshopを使用した着彩	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	//	//	
第19回	作品Ⅱ	描画 = 背景 Photoshopを使用した着彩	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	//	//	
第21回	作品Ⅱ	描画 = 背景 Photoshopを使用した着彩（完成） 講評会：制作した作品をプレゼンテーション	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

		し意見交換する（アクティブラーニング）	ト・配布資料の確認
第22回	//	//	
第23回	作品Ⅲ	Illustratorを使用したキャラクターイラスト	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	//	//	
第25回	作品Ⅲ	Illustratorを使用したキャラクターイラスト	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	//	//	
第27回	作品Ⅲ	Illustratorを使用したキャラクターイラスト	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	//	//	
第29回	作品Ⅲ	Illustratorを使用したキャラクターイラスト（完成、提出） 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	//	//	

教科書

使用しない

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上
授業態度 30%、課題完成度 70% で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

Macintoshとアプリケーション3種の技術と業界基準を随時説明します。習得する準備を各自で整えましょう。

オフィス・アワー

木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室

講義コード	40380001
講義名	キャラクターデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C374
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

与えられたテーマ・キーワードに沿って求められる条件に自分の創造性を近づけてゆくことにより、自らの作品が商品として取り扱われる可能性があることを、課題制作を通して探求してゆく。

制約条件の元で最大限にオリジナリティを発揮する能力は、社会に出る前のウォーミングアップと捉えても良い。自分の興味に合った公募情報を収集するリサーチ力も問われる。また授業では、現代アーティストが作るキャラクター、海外のキャラクター、町おこしのマスコット、販売促進のため企業が考えたキャラクター等も紹介する。

教育目標：企業、フェスティバル等で募集されるキャラクターデザインの需要を理解し、学生個人の創造性やスキルと世の中の商業的ニーズを近づけ、卒業後の制作活動の幅や可能性を広げる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、キャラクターデザインの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

- ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用したキャラクター作成技術の習得
- ゲーム／デザイン業界で求められる汎用性のあるキャラクター作成能力の習得
- キャラクターデザインを募集している企業や公募展等に参加することで作品送付までの一連の流れを経験する
- 情報収集能力、客観性、表現力や完成度などを強化する

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	前提講義、キャラクター考察	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内

			容の復習
第2回	”	”	”
第3回	リサーチ、リファレンス作成	各種のキャラクターをリサーチし、リファレンスを作成する。 ※Webブラウザ、Adobe Bridgeを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	”	”	”
第5回	リサーチ、リファレンス作成	各種のキャラクターをリサーチし、リファレンスを作成する。 ※Webブラウザ、Adobe Bridgeを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	”	”	”
第7回	仕様書作成	オリジナルキャラクターのプロポーション（三面図）、プロップ、アクションなどの各要素の設定。 ※Excel、Wordを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	”	”	”
第9回	仕様書作成	オリジナルキャラクターのプロポーション（三面図）、プロップ、アクションなどの各要素の設定。 ※Excel、Wordを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	”	”	”
第11回	作品制作	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	”	”	”
第13回	作品制作	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	”	”	”
第15回	作品制作	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	”	”	”
第17回	作品制作	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	”	”	”
第19回	作品制作	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	”	”	”
第21回	作品制作	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内

		用	容の復習
第22回	”	”	”
第23回	作品制作	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	”	”	”
第25回	レイアウト	指定様式に合わせて、仕様書、デザイン画、アクション・表情集などをレイアウトする。 ※Photoshop、Illustratorを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	”	”	”
第27回	レイアウト	指定様式に合わせて、仕様書、デザイン画、アクション・表情集などをレイアウトする。 ※Photoshop、Illustratorを使用	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	”	”	”
第29回	講評	プレゼンテーション（アクティブラーニング）作品講評、提出。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評の内容について復習
第30回	”	”	”

教科書

使用しない。（必要に応じて資料を配布する。）

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
キャラクターデザインプレゼンテーションボードの評価 100%
総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

プレゼンテーション（アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評を行う。

履修のポイント

アイデア考案、情報収集を行い自分の考えをまとめる
目標到達に向け主体的な学習を行い技能習得に努める
授業態度等も重要視する。作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：金曜日、14:50～15:00 1号館3F 104教室

講義コード	40390001
講義名	版画技法
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C252
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインやアート、芸術を学習する上で、版による表現方法を認識することは必要不可欠です。何故ならば、商業デザインにおいて印刷媒体との関係は切っても切れない関係であり、また純粋芸術の分野でも版画芸術は確固たる位置を占めています。この授業では、アルミ版によるリトグラフと銅版画（エッチング）の実習を行い、物質を通して間接的に表現し制作することを学びます。そして、版表現を学ぶことにより各自の作品制作、創作活動の参考になることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、版表現を学び制作することは多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識、技術を身につけることだと思えます。そして作品を展示し、人々の講評を得ることも社会とのコミュニケーションだと考え目標とします。

到達目標

版画技法を身につけることで優れたデザイナーやアーティストの育成を目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	リトグラフ実習①	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価、版画について） 平版による版画制作（金属版リトグラフ） 〔アクティブ・ラーニングの内容〕 参考作品を鑑賞し、ディスカッション、意見交換する。	予習 45分：リトグラフについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第2回	リトグラフ実習②	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。	復習 45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

第3回	リトグラフ実習③	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。	予習45分：リトグラフについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第4回	リトグラフ実習④	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第5回	リトグラフ実習⑤	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。	予習45分：リトグラフについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第6回	リトグラフ実習⑥	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第7回	リトグラフ実習⑦	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。	予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第8回	リトグラフ実習⑧	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第9回	リトグラフ実習⑨	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。	予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第10回	リトグラフ実習⑩	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第11回	リトグラフ実習⑪	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。	予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第12回	リトグラフ実習⑫	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第13回	リトグラフ実習⑬	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。	予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第14回	リトグラフ実習⑭	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第15回	リトグラフ	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を	予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデ

	フ 実 習 ^⑮	使って印刷する。	アスケッチをする。
第16回	リ ト グ ラ フ 実 習 ^⑯	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を 使って印刷する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイ デアスケッチをする。
第17回	リ ト グ ラ フ 実 習 ^⑰	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を 使って印刷する。	予習 4 5 分：次の作品のイメー ジをクロッキー帳などにアイデ アスケッチをする。
第18回	リ ト グ ラ フ 実 習 ^⑱	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を 使って印刷する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッ ション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイ デアスケッチをする。
第19回	エ ッ チ ン グ 実 習 ^①	凹版による版画制作（銅版画） ・クロッキー帳などにエスキース、アイ デアスケッチをする。	予習 4 5 分：銅版画について調 べ、クロッキー帳などにアイデ アスケッチをする。
第20回	エ ッ チ ン グ 実 習 ^②	凹版による版画制作（銅版画） ・銅板の版面に液体グランドを塗布す る。	復習 4 5 分：指導を参考にアイ デアスケッチをする。
第21回	エ ッ チ ン グ 実 習 ^③	凹版による版画制作 ・グランド膜ができた銅版に下描きをす る。	予習 4 5 分：銅版画について調 べ、クロッキー帳などにアイデ アスケッチをする。
第22回	エ ッ チ ン グ 実 習 ^④	凹版による版画制作 ・下描きを参考にグランド膜をかき取る ように描画する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイ デアスケッチをする。
第23回	エ ッ チ ン グ 実 習 ^⑤	凹版による版画制作 ・下描きを参考にグランド膜をかき取る ように描画する。	予習 4 5 分：銅版画について調 べ、クロッキー帳などにアイデ アスケッチをする。
第24回	エ ッ チ ン グ 実 習 ^⑥	凹版による版画制作 ・腐食液（塩化第二鉄液）に銅板を浸し て腐食する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイ デアスケッチをする。
第25回	エ ッ チ ン グ 実 習 ^⑦	凹版による版画制作 ・腐食した銅版に加筆し、腐食と描画を 繰り返す。	予習 4 5 分：銅版画について調 べ、クロッキー帳などにアイデ アスケッチをする。
第26回	エ ッ チ ン グ 実 習 ^⑧	凹版による版画制作 ・腐食した銅版に加筆し、腐食と描画を 繰り返す。	復習 4 5 分：指導を参考にアイ デアスケッチをする。
第27回	エ ッ チ ン グ 実 習 ^⑨	凹版による版画制作 ・グランドをリグロインで落とす。腐食 したところにインクを詰め込み、拭き取 り、プレス機を使って印刷する。	予習 4 5 分：次の作品のイメー ジをクロッキー帳などにアイデ アスケッチをする。
	エッ		

第28回	チン グ実 習⑩	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。	復習45分：指導を参考にアイ デアスケッチをする。
第29回	エッ チン グ実 習⑪	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。	予習45分：次の作品のイメー ジをクロッキー帳などにアイデ アスケッチをする。
第30回	エッ チン グ実 習⑫	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッ ション、意見交換する。	復習45分：指導を参考にアイ デアスケッチをする。

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

課題80%、授業への参加度20%

課題等に対する

フィードバックの方法

実技授業で、制作された作品は展覧会などに出品し展示することを目指します。そして展示されることにより講評を得ることを目標とします。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、12:30～13:20（昼休み）

1号館111研究室で行う。

講義コード	40400001
講義名	絵画表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C230
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

現代では、絵を描く道具や材料は既製品として販売されており、簡単に購入することができます。しかし本来、画材とは作家自身が自らの表現に合わせて自作してきたものでした。本授業では、支持体や接着剤を作成することを学び、絵具などを手作りします。ルネサンス期までイタリア他で盛んに描かれていた古典技法のテンペラ画を学習し、マチエール研究を行います。そして、あえて古典技法を研究することで、忘れつつある「本来の絵画制作の原点」を感じてもらい、各自の制作活動の新たな表現領域につながることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、古典技法を学び制作することは多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識、技術を身につけることだと思えます。そして将来的な展望としては、画材を研究し、自らの制作活動に新たな表現領域を追求する真の作家を育てる学習を行うことを目指すものとし

到達目標

- 1、キャンバスによるジェッソ（下地剤）を利用したマチエール研究
- 2、テンペラ技法における支持体と絵具の作成、描画
- 3、膠と顔料による描画

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	マチエール研究①	マチエール研究による絵画制作 ・キャンバス張り、木枠に麻布を張る。 [アクティブ・ラーニングの内容] 参考作品を鑑賞し、ディスカッション、意見交換する。	予習 45分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第2回	マチエール	マチエール研究による絵画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、	復習 45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

	研究②	アイデアスケッチをする。	
第3回	マチエール研究③	マチエール研究による絵画制作 ・キャンバスに鉛筆で下描きをする。	予習 4 5 分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第4回	マチエール研究④	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第5回	マチエール研究⑤	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。	予習 4 5 分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第6回	マチエール研究⑥	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第7回	マチエール研究⑦	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。	予習 4 5 分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第8回	マチエール研究⑧	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第9回	マチエール研究⑨	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。	予習 4 5 分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第10回	マチエール研究⑩	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第11回	テンペラ画実習①	テンペラ技法による絵画制作 ・支持体作り、板に膠を塗る。（前膠） [アクティブ・ラーニングの内容] 参考作品を鑑賞し、テンペラ画に対する理解を深める。	予習 4 5 分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第12回	テンペラ画実習②	テンペラ技法による絵画制作 ・吸水性下地作り。 （ムードンとチタニウムホワイトの顔料、膠液で塗料を作り、支持体に塗り重ねる。）	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第13回	テンペラ画実習③	テンペラ技法による絵画制作 ・吸水性下地作り。 （塗り重ね、乾いた下地をサンドペーパーで擦る。）	予習 4 5 分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第14回	テンペラ画実習④	テンペラ技法による絵画制作 ・支持体に鉛筆で下描きをする。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第15回	テンペラ画実習⑤	テンペラ技法による絵画制作 ・メディウム作り。 （卵、ダンマルワニス、サンシクンドリンシードオイルで卵メディウムを作る。）	予習 4 5 分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
16	テンペ	テンペラ技法による絵画制作	復習 4 5 分：指導を参考にアイデア

第 回	ラ画実習⑥	・卵メディウムと顔料で描画する。	スケッチをする。
第17回	テンペラ画実習⑦	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	予習 4 5 分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第18回	テンペラ画実習⑧	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第19回	テンペラ画実習⑨	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	予習 4 5 分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第20回	テンペラ画実習⑩	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第21回	テンペラ画実習⑪	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	予習 4 5 分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第22回	テンペラ画実習⑫	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第23回	テンペラ画実習⑬	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	予習 4 5 分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第24回	テンペラ画実習⑭	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第25回	日本画実習①	色紙に日本画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。 [アクティブ・ラーニングの内容] 参考作品を鑑賞し、日本画に対する理解を深める。	予習 4 5 分：日本画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第26回	日本画実習②	色紙に日本画制作 ・鉛筆で下描きをする。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第27回	日本画実習③	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。	予習 4 5 分：日本画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第28回	日本画実習④	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第29回	日本画実習⑤	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。	予習 4 5 分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第30回	日本画実習⑥	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習 4 5 分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

教科書

使用しない。

参考書
使用しない。
成績評価の方法・基準
単位認定 50 点以上 課題 80 %、授業への参加度 20 %
課題等に対する フィードバックの方法
実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却します。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待する。
オフィス・アワー
月曜日、12：30～13：20（昼休み） 1号館111研究室で行う。

講義コード	40410001
講義名	ワークショップ・芸術教育
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C351
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

子供達の表現はパワーとエネルギーに満ち溢れています。幼児期から始まる表現のプロセスを理解し実践的に学び、年齢に合わせたカリキュラム作りのアイデアを多分に検討し、自己表現や過程を見つめ直し、芸術分野における指導の思考と技術を習得します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、専門分野の知識や技能で、絵画／造形教室での指導を実践できる知識・技術を修得する。

到達目標

- 子供の表現の特徴を知る
- 楽しく自由に美術に触れてもらう為の思考力
- 一人一人違う個性を持った子供達の心にあわせた柔軟な対応能力
- 参考作品を作成する技術力

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	概要説明、計画、用具の説明 子供造形教室の内容と役割について学ぶ 「アートカードゲーム」 絵画作品を素材とした意見交換をゲームで行う（アクティブラーニング）	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	//	//	
第3回	絵画・造形指導	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理① 平面の視覚効果と構成を学ぶ	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
		自分を見つめるミニワーク② 実技演習（小	

第4回	〃	学校絵画・平面) 「百均造形（平面）」 グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第5回	絵画・造形指導	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理② 立体物を抽象で表現する	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	〃	自分を見つめるミニワーク③ 実技演習（小学校絵画・立体） 「百均造形（立体）」 グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第7回	絵画・造形指導	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理③ 動きとは何？ を考察する	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	〃	自分を見つめるミニワーク④ 実技演習（小学校絵画・自由研究） 「動くオモチャ制作」 ※ 廃材を持参 グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第9回	絵画・造形指導	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理④ 楽しむとは何？ を考察する	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	〃	自分を見つめるミニワーク⑤ 実技演習（小学校絵画・自由研究） 「ゲーム制作」 ※ 廃材を持参 グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第11回	絵画・造形指導	造形教室のアイデア、見本作り 触感を素材で理解する	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	〃	自分を見つめるミニワーク⑥ 実技演習 「手漉き和紙」	
第13回	〃	自分を見つめるミニワーク⑦ 実技演習 「手漉き和紙の絵手紙作成」 講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	講義、ディスカッション	教室運営についての方法、注意すべき点（保護者とのかわり、事故、危険物について、ケア）	

	ン		
第15回	こども造形教室計画	夏期絵画・造形教室に向けて 各自が企画したアイデアをプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	//	//	
第17回	こども造形教室計画	絵画・造形教室の為のアイデア① 見本制作 グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	//	//	
第19回	こども造形教室計画	絵画・造形教室の為のアイデア② 見本制作 グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	//	//	
第21回	こども造形教室計画	絵画・造形教室の為のアイデア③ 見本制作 グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	//	//	
第23回	こども造形教室計画	プログラムのディスカッション、シミュレーション①	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	//	//	
第25回	こども造形教室計画	プログラムのディスカッション、シミュレーション②	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	//	//	
第27回	こども造形教室計画	プログラムのディスカッション、シミュレーション③	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	//	//	
第29回	こども造形教室 開催	みどり市の小学生（1年生～4年生）を対象とした実践指導 実践指導内容を意見交換し、こどもへの造形教育について考察する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	//	//	

教科書

使用しない

参考書

使用しない。 必要に応じて配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定 50 点以上 授業態度 30 %、課題完成度 70 % で総合的に評価 ※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。 各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。 (アクティブラーニング)
履修のポイント
既成概念に捕われず、新しい発想や個性的な表現を楽しむ。また表現を実践するにあたり、エプロンや白衣などを準備する。
オフィス・アワー
木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室

講義コード	40420001
講義名	フィールドワーク
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	5 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C352
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	大日向 基子	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし
教員	山本 博一	指定なし
教員	寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

産官学共同や地域連携プロジェクトなどの、大学と産業や行政が共に協力し社会に貢献していくような活動が、近年各所で実施され成果を上げている。研究と教育を生業とする「学」にとって、それらのプロジェクトは「学生が実践的に学べる」貴重な場となりえることは言うまでもない。

本講座では学外機関の協力のもと、与えられたプロジェクトの起点からフィールドワークをおこなって、求められる事柄を発見し取り組みのテーマを考え、プロジェクトとして企画実行する。各専門教育で学んだことが、社会のどのようなところで、どのように活かされるのか、その回答が実感できるような授業となる。なおプロジェクトの企画計画には経済な視点も求められ、すなわち商業的要素も多分に含むため、商業施設土補の認定教科となっている。

履修対象者はアート・デザイン学科2年生全員を想定しており、用意された複数のプロジェクトからひとつを選択する。授業時間は協力機関の都合や企画内容等に左右されるため、プロジェクトごとに任意に設定され、休暇中や前後期にまたがることもありえる。また、内容に応じて交通費や画材購入費等の金銭的な負担、医療施設などに立ち入る場合は自費での予防接種等を必要とする場合もある。グループ行動が多くなるため欠席しないようにしてほしい。

本講座の教育目標は、専門分野を通じた社会との接触により、専門の学びに対する必要性を体感し、更なる学びの方向性を発見することである。

小松原、山本、佐野、大日向、寺村で3～4のプロジェクトを担当する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

フィールドワーク授業は、各分野で様々な学修したことを統合し、グループワークの中からコミュニケーション能力を高め、そこで得られた学習を社会で実践していく授業である。したがって下記、アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって身につけておくべき力）を身につける、最も重要な授業として位置付けている。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解

している。

2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。

3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

アート・デザインに関わる仕事は、依頼者をはじめ複数の専門家と協力し合いながら遂行される場合が多い。業務におけるフィールドワークは、与件の確認やプロジェクトのさまざまな可能性を発見するためにおこなわれる。

本講座の学習目標は、フィールドワークを通じて、社会や仕事の現場で何が求められているのかを知る能力を養うこと。また、フィールドワークでの結果を尊重し、第三者と協力し合いながら業務を進められるようになることである。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	前提講義	授業概要説明、各プロジェクトについての詳細について説明。	予習20分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習25分：講義内容の確認
第2回	リサーチ	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。 ※業界や製品について（概念、機能、設備、組織） ※必要に応じてフィールドワークも行う。 ※前期は5限90分で授業を行う予定。その後は夏季集中授業として実施する。	予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第3回	リサーチ	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。	予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第4回	リサーチ	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。	予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第5回	リサーチ	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。	予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第6回	リサーチ	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。	予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
	リサーチ	・デザイン提案作成。 ・各プロジェクトごとにリサーチ結果をま	予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をす

第7回	チ結果 発表	とめ、プレゼンテーションを行う。（アク ティブラーニング） ・ディスカッションするとともに、今後の スケジュールについて決定する。	る。 復習45分：各プロジェクト 毎に実施された内容につ いて復習内容を指示する。
第8回	//	//	//
第9回	フィー ルド ワー ク、制 作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協 力機関等と話し合いをしていく中で方向性 を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト 毎に予習内容の指示をす る。 復習45分：各プロジェクト 毎に実施された内容につ いて復習内容を指示する。
第10回	//	//	//
第11回	フィー ルド ワー ク、制 作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協 力機関等と話し合いをしていく中で方向性 を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト 毎に予習内容の指示をす る。 復習45分：各プロジェクト 毎に実施された内容につ いて復習内容を指示する。
第12回	//	//	//
第13回	フィー ルド ワー ク、制 作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協 力機関等と話し合いをしていく中で方向性 を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト 毎に予習内容の指示をす る。 復習45分：各プロジェクト 毎に実施された内容につ いて復習内容を指示する。
第14回	//	//	//
第15回	フィー ルド ワー ク、制 作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協 力機関等と話し合いをしていく中で方向性 を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト 毎に予習内容の指示をす る。 復習45分：各プロジェクト 毎に実施された内容につ いて復習内容を指示する。
第16回	//	//	//
第17回	フィー ルド ワー ク、制 作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協 力機関等と話し合いをしていく中で方向性 を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト 毎に予習内容の指示をす る。 復習45分：各プロジェクト 毎に実施された内容につ いて復習内容を指示する。
第18回	//	//	//
第19回	フィー ルド ワー ク、制 作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協 力機関等と話し合いをしていく中で方向性 を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト 毎に予習内容の指示をす る。 復習45分：各プロジェクト 毎に実施された内容につ いて復習内容を指示する。
第20回	//	//	//
第21回	フィー ルド ワー ク、制 作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協 力機関等と話し合いをしていく中で方向性 を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト 毎に予習内容の指示をす る。 復習45分：各プロジェクト 毎に実施された内容につ

			て復習内容を指示する。
第22回	//	//	//
第23回	フィールドワーク、制作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第24回	//	//	//
第25回	フィールドワーク、制作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第26回	//	//	//
第27回	フィールドワーク、制作	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。	予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第28回	//	//	//
第29回	プレゼンテーション	各プロジェクトごとに関係する協力機関等に来てもらい、プレゼンテーションを行う。（アクティブラーニング）	予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第30回	//	//	//

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上

各努力目標に対する達成度：70%、作品や活動の質：30%

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

各プロジェクトチームにおいて、プレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング) 講評を適宜実施する。

履修のポイント

各プロジェクトごとに必要な準備（材料、情報、資料収集等）は、担当教員の指示に従い事前に準備すること。

グループで行動することが多いので、出席や集合時間等、行動に責任を持つ事。

オフィス・アワー

授業に関する質問:月曜日 12:30～13:20

小松原：124研究室

山本：131研究室
大日向：123研究室
佐野：121研究室
寺村：122研究室

講義コード	40430001	
講義名	デザイン史	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
代表曜日	水曜日	
代表時限	3 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C213	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

「デザイン」とは、目的に対して機能性や経済性などの付加価値を考慮しながら造形（表現）することであるとすれば、デザインされた製品の造形（表現）は、社会の価値観や時代の風潮などを包括する「環境」の影響をうけているといえる。このような観点から、過去にデザインされた製品の造形（表現）を分析すると、それがつくられた「環境」を推察することが可能であろう。そこで、本講座では、各時代の製品や造形（表現）に着目して、「デザイン」の概念が意識され始めたとする19世紀半ば以降から現代までの「デザイン」とそれに影響を与えた「芸術運動」について時間軸に沿って考察し、それぞれの環境における造形（表現）の意味および表現の理由などについて解釈していく。

なお本講座は、デザインやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得と、先人たちが歩んだ軌跡から今後における新たなデザインの役割について示唆を得ることから、デザインやクリエイションの現場で出現するさまざまな新しいことに対して、相応しい判断をするための材料をもつことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、デザインやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得を目指す。また、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、デザインやクリエイションの現場で出現するさまざまな新しいことに対して、相応しい判断をするための材料をもつことを目指す

到達目標

本講座の到達目標は

1. デザインやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得
2. 先人たちが歩んだ軌跡から今後における新たなデザインの役割について示唆を得る力の習得
3. デザインやクリエイションの現場で出現するさまざまな新しいことに対して、相応しい判断をするための材料をもてること

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含	予習・復習と
--	----	----------------------------	--------

		む)	そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	デザインの概念および美術史について	予習：90分 周辺にある製品を一つあげ、それがいつごろつくられたものなのか調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	技術とデザインⅠ	イギリス産業革命以降	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第3回	技術とデザインⅡ	新しい素材と表現	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	事例研究課題Ⅰ	現在における「技術」をキーワードとした製品や空間の考察	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第5回	装飾とデザインⅠ	ウィリアム・モリスとアーツアンドクラフツ	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	装飾とデザインⅡ	アール・ヌーボーと世紀末	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第7回	事例研究課題Ⅱ	現代における「装飾」をキーワードとした製品や空間の考察	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第8回	産業とデザイン	ドイツ工作連盟とバウハウスオランダの近代運動	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第9回	近代デザインⅠ	オランダの近代運動	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	近代デザインⅡ	ロシア構成主義	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分

			授業で講義したセクションの復習をおこなう
第11回	近代デザイン iii	アメリカ	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第12回	近代デザイン IV	ヨーロッパ	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第13回	近代デザイン V	日本	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	現代のデザイン	コンテンポラリーデザイン	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第15回	まとめ	総括、授業内試問	予習：90分 全てのセクションの復習をおこなう 復習：90分 授業内諮問の復習をおこなう

教科書

特に使用しない

参考書

「世界デザイン史，阿部公正監修」

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上，事例研究課題の成果（40％程度）と授業内試問（60％程度）

課題等に対する フィードバックの方法

事例研究課題のフィードバックは授業内でおこなう。授業内諮問のフィードバックは授業内ではおこなわず，授業外で希望者のみ個別におこなう。また，講義ノートを担当教員研究室前に公開するため，履修学生は自由に活用できる。

履修のポイント

ノートを作成すること

オフィス・アワー

月曜日、16:30-18:30、山本研究室（1号館131）

講義コード	40440001
講義名	ユニバーサルデザイン論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C260
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

近年までの大量生産、大量消費を前提としたデザインは、市場の最大公約数を対象とし、いわゆる健常者と括られている人のみを意識したものであったと言えよう。しかし、健常者といえども障がいを得る可能性や、加齢という観点からも永遠にそうあり続けるとは限らない。そのうえ、人には各々に身体能力や感覚、アイデンティティにも異なりがあることを忘れてはならない。すなわち、我々の生活する社会には「さまざまな人」が存在していると捉えるべきであり、今後における製品や空間のデザインにおいても、対象とする「人」とは、特定の「人」ではなく「さまざまな人」であると考えられるべきであろう。本講座では、以上のような観点からデザイナーやクリエイターを目指す私たちが、これからの社会にとって相応しいデザインを創出していくためのユニバーサルデザイン（UD）の基礎知識と実践例を学び、今後の社会でのデザイナーの業務や姿勢などについて議論する。

なお本講座は、UDの原則を理解してUDを実践するための知識を習得し、UDの意識をもって社会に貢献できる能力を身につけることを目標とする。また本講座は、商業施設士補資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、UDの意識をもって社会に貢献できる能力を身につけることを目指す

到達目標

本講座の到達目標は

1. UDの原則の理解
2. UDを実践するための知識の習得
3. UDの意識をもって社会に貢献できる能力の習得

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
			予習：90分 周辺にある UD製品を一つあげて使用方法を調べる

第1回	ガイダンス	UDの背景と概念	復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	UDにとっての背景-社会	風土と慣習，経済と産業	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第3回	UDにとっての背景-企業	企業の仕組みとデザイナーのポジションや業務	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	加齢と幼齢	人間の加齢と幼齢について	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第5回	身体の動きと障がい	生活における動作と障がいを得ることについて	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	観察と実験，体験学習	観察と実験の重要性について，障がいを得た状態を実体験する。 <アクティブラーニング> 視覚障害を想定した体験型の実験をおこない、グループで意見交換する。	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第7回	事例研究課題Ⅰ	「観察と実験」をテーマに制作	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第8回	UDの7原則-1～3	「公平な使用への配慮」ほか	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第9回	UDの7原則-4～7	「あらゆる感覚による情報への配慮」ほか	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクション

			の復習をおこなう
第10回	UDの7原則の付則-1～3	「耐久性と経済性への配慮」ほか	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第11回	事例研究課題Ⅱ	「UDの7原則と3つの付則」をテーマに制作	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第12回	UD製品の開発プロセスⅠ	販売やサービスの提供について	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第13回	UD製品の開発プロセスⅡ	デザインと生産について	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	UD製品の開発プロセスⅢ	調査分析と企画について	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第15回	まとめ	総括、授業内試問	予習：90分 全てのセクションの復習をおこなう 復習：90分 授業内諮問の復習をおこなう

教科書

特に使用しない

参考書

「ユニバーサルデザインの教科書，中川聡監修」，「ユニバーサルデザイン事例集100，日経BP社」

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上、事例研究課題の成果（30%程度）と授業内試問（70%程度）

課題等に対するフィードバックの方法

事例研究課題のフィードバックは授業内でおこなう。授業内諮問のフィードバックは授業内ではおこなわず、授業外で希望者のみ個別におこなう。

履修のポイント

ノートを作成すること

オフィス・アワー
月曜日、16:30-18:30、山本研究室（1号館131）

講義コード	40450001
講義名	コミュニケーション論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C233
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

日常の会話では、「言葉」とともに「表情」や「身振り」などを使用して情報のやりとりをしている。就職活動等にもなう面接試験などの場面では、髪型や服装などの表装まで意識されることもある。また、某有名アニメ制作会社内でのキャラクターデザインの発表時は、デザイナー自身が、提案するキャラクターを演じながらプレゼンテーションを行い、リアリティをもって訴えかけることも有名である。このように、生活の重要な場面や自分が創造したデザイン(作品)のプレゼンテーション時などでは、場に応じた的確なコミュニケーション手段を講じなければならない。本講座では、特に商行為に関わる「非言語コミュニケーション」に着目し、デザイナー(クリエイター)にとってのプレゼンテーション、および職場での打合せなどを念頭においたコミュニケーション手段の可能性と、その方法論を学ぶ。

なお本講座では、生活の観察を通したコミュニケーションを理解してコミュニケーション技術を習得し、自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力と面談等での円滑なコミュニケーションができる能力を得ることを教育目標としている。本講義は商業施設士補資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、本講座では、生活の観察を通したコミュニケーションの理解に取り組む。また、ディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、本講座では、特に専門職の面接試験時のコミュニケーション技術の習得に的を絞る。および、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力と、アート・デザインの現場での円滑なコミュニケーションができる能力を得ることを目指す

到達目標

本講座の到達目標は

1. 生活の観察を通したコミュニケーションの理解
2. コミュニケーション技術の習得
3. 自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力の習得
4. 面談等での円滑なコミュニケーションができる能力の習得

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	生活と商業的行為におけるコミュニケーションの目的と実例 <アクティブラーニング> ロールプレイングゲーム形式で非言語コミュニケーションの実践を試みる	予習：90分 特に商業におけるコミュニケーションのバリエーションについて調べる 復習：90分 自分のコミュニケーション能力について考える
第2回	絵によるコミュニケーション	絵の機能と時間軸	予習：90分 絵によるコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 絵によるコミュニケーションの事例をまとめる
第3回	文字によるコミュニケーション	文字の多様性と文化	予習：90分 文字によるコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 文字によるコミュニケーションの事例をまとめる
第4回	音によるコミュニケーション	ビジュアルにたよらない音の価値	予習：90分 音によるコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 音によるコミュニケーションの事例をまとめる
第5回	事例研究課題Ⅰ	情報伝達と感情の操作	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第6回	アート・デザインにおけるコミュニケーションⅠ	デザイン領域	予習：90分 デザイン領域のコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 デザイン領域のコミュニケーションの事例をまとめる
第7回	アート・デザインにおけるコミュニケーションⅡ	アート領域	予習：90分 アート領域のコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 アート領域のコミュニケーションの事例をまとめる
第8回	事例研究課題Ⅱ	メッセージの表現	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第9回	コミュニケーションの技術Ⅰ	コミュニケーションを成功させるための準備ほか	予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう

第10回	コミュニケーションの技術Ⅱ	コミュニケーション中におけるリアリティほか	予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第11回	コミュニケーションの技術Ⅲ	問題のある相手に対する対処法ほか	予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第12回	事例研究課題Ⅲ	コミュニケーションの実践	予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第13回	コミュニケーションの技術Ⅳ	集中を持続させる技術や質問の方法ほか	予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第14回	コミュニケーションの技術Ⅴ	コミュニケーション後の整理ほか	予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第15回	まとめ	総括、授業内試問	予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう

教科書
特に使用しない
参考書
授業内に適宜伝達
成績評価の方法・基準
50点以上、事例研究課題の成果（40％程度）と授業内試問（60％程度）
課題等に対する フィードバックの方法
事例研究課題のフィードバックは授業内でおこなう。授業内諮問のフィードバックは授業内ではおこなわず、授業外で希望者のみ個別におこなう。
履修のポイント
ノートを作成すること
オフィス・アワー
月曜日、16:30-18:30、山本研究室（1号館131）

講義コード	40460001
講義名	くらしのデザイン論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	2 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C261
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

生活文化全般に関わる、衣（医）・食・住のデザイン。
 長い人類の歴史の中でつくられた様々な造形・芸術・デザイン活動が、社会とどう関わり影響を与えてきたか、
 その表現形態に込められた思いや、メッセージ探り、デザインの社会的な役割を探究していきます。
 造形物の表現意図、芸術表現と社会へのメッセージ、メディアの選択や活用による情報伝達等、
 過去の実例と未来における可能性を考察し、デザイン活動を行う上での情報分析力（デザインを見る知性と感性）と企画構想力（デザインを創り出す視点と着想）の基礎を探究していきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

自らが取り組む研究課題や、制作主題に対し、その歴史や発展、現代の「人間の生活空間」における
 意義や役割を、「環境」や「コミュニケーション」の視点から多面的に理解すること。
 アートやデザインの対象となる「もの」や「こと」の本質を探究理解し、表現に生かせる専門的な
 「知識」や「技能」を修得すること。
 社会に役立つアートやデザインの担い手として、「もの」や「こと」の新たな方向性を思索し、
 提案していくプロセスの習得。

到達目標

社会の中で、アートやデザインの活動により、新たな生活文化の価値を創造し、
 社会環境の改善と、生活文化の発展に貢献できる情報分析力と活用力、企画構成力の基礎を修得
 することを
 目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために 必要な時間

第1回	ガイダンス	アート・デザインと生活文化の関わりについての考察。	予習として シラバス確認 通読 90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
第2回	造形表現に込められた意味	古代文物、伝統文様、宗教美術、寺院建築、民族衣装等の写真資料から、造形表現に込められた意味を探ります。 提示課題を観察し造形物の特徴や制作意図を「アクティブラーニング」型式の意見交換、討論を行う。	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
第3回	近代デザイン	近代デザイン、特にアーツアンドクラフツ運動や、バウハウスの理念と、現代のデザイン教育やデザインビジネスへの関連や問題について考察。	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
第4回	芸術と科学技術	芸術表現と科学技術のかかわりを、様々な分野の造形物の表現から考察してみます。	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
第5回	環境のデザイン	デザインワークのありかたを、社会環境や生活空間全体を見渡す中から着眼点を探求していきます。 提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分 課題レポ ート1
第6回	創造する姿勢	多様な情報環境の現代、新たにつくられていくアートやデザイン。 知的財産権と、創造する姿勢について考察していきます。	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
第7回	事例研究 1	視覚表現とデザイン 1	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として

			関連事項の 調査考 察90分
第8回	事例研究 2	視覚表現とデザイン 2	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
第9回	事例研究 3	空間表現とデザイン	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
第10回	事例研究 4	身体装飾とデザイン	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
第11回	メディアと アート・デザ イン 1	ＩＴ技術の進歩発達により、日常生活における様々 なモノと情報 の変化を考察し、メディアとアート・デザインの新 たな可能性を探っていきます。	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
第12回	メディアと アート・デザ イン 2	ＩＴ技術の進歩発達により、日常生活における様々 なモノと情報 の変化を考察し、メディアとアート・デザインの新 たな可能性を探っていきます。 提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アク ティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を 行う。	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分 課題レポ ート2
第13回	マーケッティ ングと 商品企画開発 のプロセス1	マーケティングの手法、様々なセグメンテーショ ン	予習として 資料の確認 読み込 み90分 復習として 関連事項の 調査考 察90分
			予習として 資料の確認

第14回	マーケティングと商品企画開発のプロセス2	デザインレビュー（商品の構想・企画・設計・試作・量産の過程） 提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分 課題レポート3
第15回	社会の変化とデザインの未来	総論／まとめ	予習として資料の確認 読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
教科書			
独自の資料を作成・配布し、参考文献や情報を随時紹介していきます。			
参考書			
デザインの生態学：後藤武・佐々木正人・深澤直人 / （東京書籍） デザインのデザイン：原 研哉 / （岩波書店）			
成績評価の方法・基準			
課題レポート1（30%）、課題レポート2（20%）、課題レポート3（20%）により評価、 単位認定 50点以上 とします。			
課題等に対するフィードバックの方法			
提示された課題テーマ、及び自ら選定した課題テーマに対する調査や考察、着眼や展開に対する取り組みを、 小論文型式のレポート作成という形で研鑽していきます。 課題の着眼において、手掛かりとなる情報の提示や、考察のプロセス、造形への展開方法などを提示し 理解を深め、研究や制作へ向かい、課題解決力を修得できるようなフィードバックを行っていきます。			
履修のポイント			
アート・デザインと社会生活（くらし）の関わりを様々な側面から考察していきます。 卒業研究や、作品やレポート課題へ取り組む際のプロセスノウハウとしても役立てましょう。			
オフィス・アワー			
非常勤) 前期：水曜日（1限は生活科学科授業）10：50～11：00 1号館131 ＊個別に質問や相談事項がある場合は、講義の前又は後に申し出てください。			

講義コード	40470001	
講義名	美術解剖学	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
代表曜日	月曜日	
代表時限	3 時限	
区分	専門科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C210	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

絵画やイラストレーション、漫画の熟達を目指す者にとって、人物や人体の理解は根本的な課題である。そこで美術解剖学を学ぶことにより、人体の構造を知り、表現の可能性を多面化する。この授業では、人体のプロポーションや各部位の構造などをテーマとし、課題制作を通して知識を表現力と結びつけることを教育の目的とする。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」ことを目指し、人物表現の基礎を学習する。

到達目標

感覚的に捉えがちな人体の構造、からだの特徴を、美術解剖学として理解することにより、それぞれの専門分野で制作するデザインや表現をより豊かにする。正面だけではなく、側面や背面、斜めからの描写を追う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	前提講義	アクティブ・ラーニング：何も見ないで自分を描く。その後作品を持ち寄りお互いに鑑賞し、意見・感想を述べ合う過程で、プロポーションを確認する。	予習：90分 何も見ないで自分を描く準備 復習：90分 授業の振り返り
第2回	プロポーションの理解と全	プロポーションについての理解、模写	予習：90分 プロポーションの模写準備 復習：90分 プ

	身の構造		ロポジションの模写制作
第3回	プロポーションの理解と全身の構造	プロポーションについての理解、模写	予習：90分 プロポーションの模写制作 復習：90分 プロポーションの模写制作
第4回	プロポーションの理解と全身の構造	プロポーションについての理解、模写	予習：90分 プロポーションの模写制作 復習：90分 プロポーションの模写制作
第5回	プロポーションの理解と全身の構造	プロポーションについての理解、模写	予習：90分 プロポーションの模写制作 復習：90分 プロポーションの模写制作
第6回	プロポーションの理解と全身の構造	プロポーションについての理解、模写提出	予習：90分 プロポーションの模写制作 復習：90分 プロポーションの模写振り返り
第7回	腕、手、脚、足、胴、全身の構造と理解	腕、手、脚、足、胴、全身の構造についての理解、模写	予習：90分 腕、手、脚、足、胴、全身の構造の模写準備 復習：90分 腕、手、脚、足、胴、全身の構造の模写制作
第8回	腕、手、脚、足、胴、全身の構造と理解	腕、手、脚、足、胴、全身の構造についての理解、模写	予習：90分 腕、手、脚、足、胴、全身の構造の模写制作 復習：90分 腕、手、脚、足、胴、全身の構造の模写制作
第9回	腕、手、脚、足、胴、全身の構造と理解	腕、手、脚、足、胴、全身の構造についての理解、模写	予習：90分 腕、手、脚、足、胴、全身の構造の模写制作 復習：90分 腕、手、脚、足、胴、全身

			の構造の模写制作
第10回	腕、手、脚、足、胴、全身の構造と理解	腕、手、脚、足、胴、全身の構造についての理解、模写提出	予習：90分 腕、手、脚、足、胴、全身の構造の模写制作 復習：90分 腕、手、脚、足、胴、全身の構造の模写振り返り
第11回	頭、首、顔の造作の構造と理解	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写	予習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写準備 復習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写制作
第12回	頭、首、顔の造作の構造と理解	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写	予習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写制作 復習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写制作
第13回	頭、首、顔の造作の構造と理解	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写	予習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写制作 復習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写制作
第14回	頭、首、顔の造作の構造と理解	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写	予習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写制作 復習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写制作
第15回	頭、首、顔の造作の構造と理解	アクティブ・ラーニング：第1回目の作品と第15回目の作品を持ち寄り比較しながら、お互いに鑑賞し意見・感想を述べ合う過程で、頭、首、顔の造作の構造を理解し確認する。頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写提出	予習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写制作 復習：90分 頭と首、顔の造作の構造の模写振り返り

やさしい美術解剖図 人物デッサンの基礎 J.シェパード著 マール社
参考書
やさしい人物画～人体構造から表現方法まで、手と足の描き方～骨格、筋肉、形状、動き、性別や年齢による違い（ジョヴァンニ・チヴァルディ著）、アーティストのための美術解剖学（ヴァレリー・L・ウインスロウ著）、美術解剖図譜（東京芸術大学美術解剖学教室編）、Anatomy for the Artist（Sarah Simblet著）他
成績評価の方法・基準
単位認定50点以上 課題1：プロポーションについての理解(40%) 課題2：腕、手、脚、足、胴、全身の構造(20%) 課題3：頭と首、顔の造作の構造(40%)
課題等に対する フィードバックの方法
第1回目と第15回目のアクティブ・ラーニングで得た意見や感想、個別指導時のコメントを、フィードバックとして各自授業内容の理解に役立てる
履修のポイント
骨格を意識した模写を試みる、教科書、参考書の熟読
オフィス・アワー
月曜日 14:50-15:00 9号館902教室

講義コード	40480001
講義名	美術史
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	4 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C211
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

歴史の中でも美術史は、少し特異な性格をもっています。過去の事実だけでなく、私たちの目の前にある芸術作品がその対象であり、現在と過去が作品を通して立体的に交差するところに美術史は成り立ちます。芸術作品を鑑賞しながら、過去の事実を検証することで、美術の歴史の流れを浮かび上がらせ、その時代の天才たちが、現代に生きる私たちに何を問いかけているのかを考えたいと思います。そして、美術の歴史を学ぶことにより各自の作品制作、創作活動の基礎、参考になることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、美術の歴史を学び、その知識を身につけることは最低限必要なことです。歴史を検証し、新しきを知るという姿勢は、作品制作、創作活動の基本となることです。そして将来的な展望として、教職必修でもある本授業は、芸術作品の鑑賞を通して心豊かな人を育てる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

美術の歴史を検証し、芸術作品を鑑賞することで、各自の作品制作、創作活動の基礎、参考になり感性豊かな作家を育てることを目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	西洋の美術、日本の美術、アジアの美術について	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など） [アクティブ・ラーニングの内容] 履修者に対して西洋美術史、日本美術史、アジアの美術史に登場する芸術家、芸術作品に関して問題提起し、意見交換する。	予習 90分：興味ある芸術家、芸術作品について調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第2回	原始美術と古代オリエント	旧石器時代の美術、メソポタミア美術について検証し、講義する。	予習 90分：原始美術、メソポタミア美術について調べる。

	美術		復習 90分：配布資料を見直す。
第3回	エジプト美術	エジプト美術について検証し、講義する。	予習 90分：エジプト美術について調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第4回	ギリシア美術	クレタ美術、ミュケナイ美術、ギリシア美術について検証し、講義する。	予習 90分：クレタ美術、ミュケナイ美術、ギリシア美術について調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第5回	ローマ美術	エトルリア美術、ローマ美術について検証し、講義する。 [アクティブ・ラーニングの内容] エジプト美術、ギリシア美術、ローマ美術などの古代美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習 90分：エトルリア美術、ローマ美術について調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第6回	ルネサンス美術①	ルネサンス美術の映像を鑑賞し、ルネサンスについて考える。 [アクティブ・ラーニングの内容] ルネサンスについて、どういう時代だったのかディスカッションし、意見交換する。	予習 90分：ルネサンスという時代について調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第7回	ルネサンス美術②	初期ルネサンス美術について検証し、講義する。	予習 90分：初期ルネサンス美術について調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第8回	ルネサンス美術③	盛期ルネサンス美術（レオナルド・ダヴィンチ）について検証し、講義する。	予習 90分：レオナルド・ダヴィンチについて調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第9回	ルネサンス美術④	盛期ルネサンス美術（ミケランジェロ）について検証し、講義する。 [アクティブ・ラーニングの内容] ルネサンス美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習 90分：ミケランジェロについて調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第10回	印象派①	印象主義（マネ、ドガ、モネ、ルノワール、ピサロ）について検証し、講義する。	予習 90分：印象派について調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第11回	印象派②	後期印象主義（セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャン、スーラ）について検証し、講義する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 印象派についてディスカッションし、意見交換する。	予習 90分：後期印象派について調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。
第12回	20世紀の美術①	フォービズム、表現主義について検証し、講義する。	予習 90分：フォービズム、表現主義について調べる。 復習 90分：配布資料を見直す。

第13回	20世紀の美術②	キュビズム、ダダイズム、シュールレアリスムについて検証し、講義する。	予習90分：キュビズム、ダダイズム、シュールレアリスムについて調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	20世紀の美術③	抽象表現、構成主義について検証し、講義する。	予習90分：抽象表現、構成主義について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	20世紀の美術④	抽象表現主義、ネオ・ダダ、ポップ・アートについて検証し、講義する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 20世紀の美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習90分：抽象表現主義、ネオ・ダダ、ポップ・アートについて調べる。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

使用しない。

参考書

西洋美術史（監修＝高階秀爾）

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

筆記試験80%、レポート・課題10%、授業への参加度10%

課題等に対する フィードバックの方法

毎回資料を配布する。
授業内でレポートや課題を課すことがあり、返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、12:30～13:20（昼休み）
1号館111研究室で行う。

講義コード	40490001
講義名	コミック・アニメ文化論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	4 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C212
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三友 恒平	指定なし

授業の概要と教育目標

日本は、マンガやアニメーションの文化的レベルにおいて世界を圧倒的にリードし、特異な進化を遂げてきた。日本以外のほとんどの国ではマンガやアニメの類は基本的に子供向けであり、大人のためのマンガが存在し、それを実際に大人が真剣に読んでいる国などと言うのは、我が国以外では他に余り例がない。

こうした状況がどのようにして生まれ、現在に至っているのかについて多角的に学んで行く。

また作品の理解を深めるため、歴史・作品の学習に並行して物語の組み上げ方の

基本学習を行う。

*シラバスの内容についてはマンガ・アニメの最新情報、授業進行上の状況により変更する場合もある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アートデザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、国を代表する文化の一つとなり、世界的にも高い評価を受けているマンガやアニメーションについて学び、より広い知識を身につける事で理解を更に深めて行く。

また実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するためには、コミュニケーション、伝達性の面から見て物語性の理解もまた有効な手段の一つである。その技術的な骨組みを理解することで深い考察能力を身につけ、物語性を各自の作品制作等にも取り入れることができ、多様な表現の幅を持ち社会のニーズや変化に対応できるアーティストを育成する事を目的とする。

到達目標

- 日本のマンガ・アニメが発達して行く過程と要因についての理解。
- 手塚治虫に代表される作家達の作品への知識を深める。
- 魅力的なキャラクターの制作意図を理解し、作品考察の補助とするとともに、自らも作り出す力をつける。
- ストーリーの骨組み、必要な手順を理解し、作品考察の補助とするとともに、自らも作り出す力をつける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
--	----	------------------------------	----------------------

第1回	オリエンテーション	授業の概要について・評価方法について・その他留意点等 【アクティブラーニングの内容】 漫画体験実習。配布された四コマ漫画(二コマ目まで記入済)の続きを考え、各自で記入し物語として完結させる。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第2回	現代マンガ、アニメの骨格	キャラクターとは何か ①	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第3回	現代マンガ、アニメの骨格	キャラクターとは何か ②	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第4回	現代マンガ、アニメの骨格	キャラクターとは何か ③ 【アクティブラーニングの内容】 キャラクター制作実習。授業において解説された、魅力的なキャラクターに共通する特徴四種類を使い、キャラクターを作る	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第5回	日本マンガの歴史	現代マンガのルーツ ① + 物語の文法 ①	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第6回	日本マンガの歴史	現代マンガのルーツ ② + 物語の文法 ②	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第7回	日本マンガの歴史	現代マンガのルーツ ③ + 物語論 プロップ31の機能 ① 【アクティブラーニングの内容】 物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第8回	日本マンガの歴史	現代マンガのルーツ ④ + 物語論 プロップ31の機能 ② 【アクティブラーニングの内容】 物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第9回	日本マンガの歴史	現代マンガのルーツ ⑤ + 物語論 プロップ31の機能 ③ 【アクティブラーニングの内容】 物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第10回	日本マンガの歴史	現代マンガのルーツ ⑥ + 物語論 プロップ31の機能 ④ 【アクティブラーニングの内容】 物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる

		書き進める。	
第11回	日本マンガ・アニメの歴史	現代マンガのルーツ ⑦ + 物語論 ヒーローズジャーニー ① 【アクティブラーニングの内容】 物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第12回	日本マンガ・アニメの歴史	現代マンガのルーツ ⑧ + 物語論 ヒーローズジャーニー ② 【アクティブラーニングの内容】 物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第13回	日本マンガ・アニメの歴史	現代マンガのルーツ ⑨ + 物語論 ヒーローズジャーニー ③ 【アクティブラーニングの内容】 物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第14回	日本マンガ・アニメの歴史	現代マンガのルーツ ⑩ + 物語論 ヒーローズジャーニー ④ 【アクティブラーニングの内容】 物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第15回	まとめ	授業総括・レポート等について	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる

教科書

なし

参考書

著者・大塚英志 『ストーリーメーカー』 発行所・株式会社星海社

成績評価の方法・基準

単位認定 50 点以上 ※レポートの提出 100% ※本授業はレポート提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また授業において資料を配布するので、漫画の歴史の再認識を行うとともに、キャラクターや物語の理解、制作に役立てること。

履修のポイント

授業内容をよく聞き、興味と表現の幅を広げること

オフィス・アワー

金曜日 16:30-16:40 9号館902教室

講義コード	40500001
講義名	現代アート論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	4 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C132
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

スライドや映像を交えながらコンテンポラリーアートシーンを紹介してゆく。時系列に沿った説明にこだわる事なく、国内外の著名なアーティストや傾向を同じくするグループ、批評家の考察、美術館、ギャラリー、研究機関、非営利団体、地域に根ざした芸術活動やワークショップ、話題の展覧会、イベントなどに焦点を絞って展開してゆく。現代アートに対する関心を高めることを教育目標とし、多くの文化やコードの中で、現代美術が担う役割や表現の可能性について考える。

※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある

※本授業はレポート提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、現代美術に関わるレポートの作成・提出を通し、対象の理解をもとにして表現するための知識、および選択した専門分野の知識、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識を修得することを目指す。

到達目標

今まで触れる機会のなかった作家や作品を知ることにより視野を広げ、現代アートに対する興味関心を養う。授業を通して得た知識や刺激を、個々の制作活動にも幅広く役立てることを到達目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な 時間
第1回	前提講義	アクティブ・ラーニング：「アートとは何か」を自由に考え、意見を交換し、自分なりに定義する。アイデアを記録したメモを提出する。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る

第2回	アートフェア、国際芸術祭の紹介	瀬戸内国際芸術祭、大地の芸術祭、岡山芸術交流、Reborn-Art Festival、横浜トリエンナーレ、アートフェア東京、ヴェネチア・ビエンナーレ、アート・バーゼル、Frieze London 他	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第3回	アートフェア、国際芸術祭の紹介	瀬戸内国際芸術祭、大地の芸術祭、岡山芸術交流、Reborn-Art Festival、横浜トリエンナーレ、アートフェア東京、ヴェネチア・ビエンナーレ、アート・バーゼル、Frieze London 他	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第4回	アートフェア、国際芸術祭の紹介	瀬戸内国際芸術祭、大地の芸術祭、岡山芸術交流、Reborn-Art Festival、横浜トリエンナーレ、アートフェア東京、ヴェネチア・ビエンナーレ、アート・バーゼル、Frieze London 他	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第5回	現代アートの流れを追う	さまざまな表現主義からマルチカルチャリズムまで	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第6回	現代アートの流れを追う	さまざまな表現主義からマルチカルチャリズムまで	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第7回	現代アートの流れを追う	さまざまな表現主義からマルチカルチャリズムまで	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第8回	作家紹介	アクション・ペインティング以降から2019年までの代表的な作家とその思想を、テーマ、メソッド、傾向別に読み解く。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第9回	作家紹介	アクション・ペインティング以降から2019年までの代表的な作家とその思想を、テーマ、メソッド、傾向別に読み解く。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で

			授業を振り返る
第10回	作家紹介	アクション・ペインティング以降から2019年までの代表的な作家とその思想を、テーマ、メソッド、傾向別に読み解く。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第11回	作家紹介	アクション・ペインティング以降から2019年までの代表的な作家とその思想を、テーマ、メソッド、傾向別に読み解く。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第12回	作家紹介	アクション・ペインティング以降から2019年までの代表的な作家とその思想を、テーマ、メソッド、傾向別に読み解く。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第13回	アートの可能性、有用性	教育、福祉、環境、地域との関わり、コミュニティ、オルタナティブスペースなどの紹介。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第14回	アートの可能性、有用性	社会での実践や展開例を元に、アートの役割や可能性を考察する。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第15回	意見交換	アクティブ・ラーニング：第1回目授業で各自が定義した「アートとは何か」を再考する。アイデアを記録したメモを提出する。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る

教科書

使用しない（必要に応じて資料を配布）

参考書

現代アートとは何か（小崎哲哉著）、アート・インダストリー～究極のコモデティを求めて（辛美沙著）、反美学～ポストモダンの諸相（ハル・フォスター編）、20世紀の美術（末永照和監修）、現代美術～ウォーホール以降（美術手帳編集部編）他

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 最終授業終了後に提出するレポート（データ）を100%として、下記の基準で採点する（文字数1000字以上：40%、正しい日本語表現：20%、記述内容の正誤：20%、文章

のクオリティ：20%)
課題等に対する フィードバックの方法
授業の内容については随時質問を受け付けている。第1回目と第15回目のアクティブ・ラーニングの意見や感想を授業の理解に役立てる。
履修のポイント
興味を持った作家や作品についてリサーチを行い、ノートを作成すること。 日頃から美術に関する批評やコラムを読み、言語表現に関心を払うこと。
オフィス・アワー
火曜日 16:30-16:40 9号館902教室

講義コード	40510001
講義名	映像論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	2 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C250
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

映像を用いた芸術表現は、テクノロジーや映像制作環境の推移とともに日々変化している。初期の映像玩具、映画黎明期及びアニメーション、メディア・アート、実験的映像等にも触れつつ、毎回多様な映像を紹介してゆく。特徴ある映像作家への言及、近年の映像に関わるイベントや研究機関などについての紹介も織り交ぜる。さまざまなジャンルの映像作品を鑑賞することにより、楽しみつつ知識と理解を深めることを教育の目標とする。

※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある

※本授業はレポートのデータ提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、映像に関するレポート作成・提出を通して、新たな角度から日常を取り巻く映像を見つめ直すきっかけを与えることを目指す。

到達目標

アート領域における映像の可能性や表現を幅広く知り、視野を広げることを到達目標とする。それぞれの専門分野での作品制作に、新たな刺激と厚みをもたらしたい。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	黎明期	光を記録する写真が映像に至るまで（映像玩具、エジソン、マイブリッジ、リュミエール兄弟他）	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、 レポート準備 復習：90分 メモ・ノー

			ト・資料で授業を振り返る
第2回	黎明期	サイレントからトーキーの作品紹介（メリエス、オブライエン、ディズニー他）	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第3回	黎明期	サイレントからトーキーの作品紹介（メリエス、オブライエン、ディズニー他）	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第4回	アニメーション	テーマや技法別、または国、時代ごとに特徴ある作家を紹介する	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第5回	アニメーション	テーマや技法別、または国、時代ごとに特徴ある作家を紹介する	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第6回	アニメーション	テーマや技法別、または国、時代ごとに特徴ある作家を紹介する	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第7回	アーティストと映像作品	映像を用いた芸術表現の多様性を示す作品例を紹介する。映像に関わるイベント、研究機関、プロジェクトマッピング、パフォーマンスアート、ビデオアート、ドキュメントやインタラクティブアートなど、昨今の映像作品についての紹介	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授

			業を振り返る
第8回	アーティストと映像作品	映像を用いた芸術表現の多様性を示す作品例を紹介する。映像に関わるイベント、研究機関、プロジェクトマッピング、パフォーマンスアート、ビデオアート、ドキュメントやインタラクティブアートなど、昨今の映像作品についての紹介	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第9回	アーティストと映像作品	映像を用いた芸術表現の多様性を示す作品例を紹介する。映像に関わるイベント、研究機関、プロジェクトマッピング、パフォーマンスアート、ビデオアート、ドキュメントやインタラクティブアートなど、昨今の映像作品についての紹介	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第10回	アーティストと映像作品	映像を用いた芸術表現の多様性を示す作品例を紹介する。映像に関わるイベント、研究機関、プロジェクトマッピング、パフォーマンスアート、ビデオアート、ドキュメントやインタラクティブアートなど、昨今の映像作品についての紹介	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第11回	ミュージックビデオ・CM・VJ	エポックメイキング的な作品や、ユーモア溢れる作品を紹介	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第12回	実験的映像	前衛的、実験的な作品を紹介	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第13回	個性的な監督	特色ある監督の紹介	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る

第14回	個性的な監督	特色ある監督の紹介	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第15回	意見交換	アクティブ・ラーニング：今まで紹介された作品の中から興味深いものについて、お互いの意見や感想を述べる。映像の歴史や今後の展望を考察しながらレポート作成に役立てる。	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る

教科書

使用しない（必要に応じて資料を配布）

参考書

メディアアートの教科書（白井雅人、森公一、砥綿正之、泊博雅編）、芸術・メディアの視座～映像と音楽を学ぶ人へのアート・スタディーズ（芸術メディア研究会編）、映像の修辞学（ロラン・バルト著）、映像論（港千尋著）、写真論（スーザン・ソントグ著）、複製技術時代の芸術作品（ヴァルター・ベンヤミン著）メディアアートの世界～実験映像1960-2007（伊奈新祐）他

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 最終授業終了後に提出するレポート（データ）を100%として、下記の基準で採点する
（文字数1000文字以上：40%、正しい日本語表現：20%、記述内容の正誤：20%、文章のクオリティ：20%）

課題等に対する フィードバックの方法

授業の内容については随時質問を受け付けている。第15回目のアクティブ・ラーニングの意見や感想を授業の理解に役立てる。

履修のポイント

興味を持った映像作家や作品を各自リサーチすること、客観的視野を養うこと。

オフィス・アワー

月曜日 12:30-12:40 9号館902教室

講義コード	40520001	
講義名	色彩学	
(副題)		
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
代表曜日	金曜日	
代表時限	3 時限	
区分	基礎科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C117	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

カラーコーディネータ検定試験3級公式テキスト（東京商工会議所）に沿って授業を行う。色彩における身近な参考例（インテリア、ファッション、自然、歴史、商品、広告、テーブルコーディネートなど）を取り上げ、学生の色に関する興味を高めつつ、検定対策問題で効率的にポイントを学習する。本科目では、普段の生活にごく当たり前に溶け込んでいる色についての認識を新たにすると共に、その重要性や効用、歴史的背景、測定方法等にも幅広く意識を向けることを、教育の目標とする。

※必要に応じて練習問題や参考資料を配布する

※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある

※本授業は2回の中間テストの合計により成績評価を行い、定期試験は実施しない

※中間テストは授業で扱った範囲内から出題する

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、環境やコミュニケーションの側面から、人間の生活空間について多面的に理解することを目指し、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得する。将来的な展望としては、色に関する興味・関心を引き出し、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、積極的にカラーコーディネーションを活用する人材を育て、多様な社会のニーズ、変化に対応できる学修を目指すものとする。

到達目標

日々の生活をより豊かにするため、色の効果を楽しんで活用できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	第1章 色の	第1節 色の効用とカラーコーディネーション 第2節 色が見えるまで アクティブ・ラーニングの内容：パワーポイント資	予習90分：教科書第1章を読む 復習90分：配布

	性質	料を用いて、色の性質についての意見を引き出す質問やクイズを行う	資料・ノートを見直す
第2回	第2章 色と心理	第1節 色の連想と象徴 第2節 色がもたらす心理的效果 アクティブ・ラーニングの内容：パワーポイント資料を用いて、色と心理についての意見を引き出す質問やクイズを行う	予習90分：教科書第2章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第3回	第3章 色を表し、伝える方法	第1節 色の表示方法とその特徴	予習90分：教科書第3章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第4回	第3章 色を表し、伝える方法	第2節 カラーオーダーシステムによる方法	予習90分：教科書第3章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第5回	第4章 配色と色彩調和	第1節 色彩調和の考え方	予習90分：教科書第4章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第6回	第4章 配色と色彩調和	第2節 主な色彩調和論と調和の原則	予習90分：教科書第4章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第7回	第5章 光から生まれる色	第1節 光とは 第2節 色が織りなす色彩現象	予習90分：教科書第5章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第8回	第5章 光から生まれる色	中間テスト：第1-7回までの範囲から出題 第3節 光源	予習90分：教科書第1-5章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第9回	第6章 色が見える仕組み	第1節 眼および脳の構造と働き	予習90分：教科書第6章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第10回	第6章 色が見える仕組み	第2節 眼の変化による色覚の多様性 第3節 色の見えを決める要因	予習90分：教科書第6章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第11回	第7章 色の測定	第1節 色の測定の種類 第2節 三原色を使った色表示	予習90分：教科書第7章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す

第12回	第8章 混色と色再現	第1節 混色の原理 第2節 色再現の方法	予習90分：教科書第8章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第13回	第9章 色と文化	第1節 日本の色彩文化	予習90分：教科書第9章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第14回	第9章 色と文化	第2節 絵画における色彩調和のとらえ方	予習90分：教科書第9章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す
第15回	第9章 色と文化	中間テスト：第8-14回までの範囲から出題 第3節 現代日本における商品色彩の変遷	予習90分：教科書第9-15章を読む 復習90分：配布資料・ノートを見直す

教科書

カラーコーディネーションの基礎～カラーコーディネータ検定試験3級公式テキスト（東京商工会議所編）

参考書

カラーコーディネータ検定試験3級問題集（東京商工会議所編）、色の知識（城一夫）、カラーコーディネーター入門色彩（大井義雄・川崎秀昭）色彩デザイン学（三井直樹・三井秀樹）、色彩学概論（千々岩英彰）、ヨハネス・イッテン色彩論（大智浩訳）ほか

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 第1回中間テスト50% 第2回中間テスト50%

課題等に対する フィードバックの方法

教科書第1章から第9章までの検定対策問題とその解答を、授業中に配布する。2回の中間テストはその問題からセレクトして構成されるため、対策問題の自習を通して知識を深めることを推奨する。授業の内容や対策問題、検定については、随時質問を受け付けている。中間テストは、採点して返却する。

履修のポイント

教科書を熟読すること。検定対策問題等で要点を理解し、問題形式や解答方法に慣れること。カラーコーディネータ検定試験3級取得を目指す場合は、問題集を購入することが望ましい。

オフィス・アワー

金曜日 14:50-15:00 9号館902教室

講義コード	40530001
講義名	インターンシップ
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	5 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C353
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし
教員	山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

企業・団体等で求められる下記項目を向上させることを、教育目標とする

- ・事前準備 = 調査・書類構成能力
- ・現場研修 = 技能・コミュニケーション能力
- ・報告会 = プレゼンテーション能力

研修を通し、現場でなければ得られない知識と技術・コミュニケーション能力を習得する。また社会人に必須とされる書類におけるコミュニケーション能力を養う。

※定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、本科目では、学生が現場で求められるスキルや役割を臨機応変に把握し、主体的に対応することを旨とする。

到達目標

社会で求められる能力を理解し、アート・デザインの活動に反映させることを到達目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために 必要な 時間
	授業概		予 習：90分 興味のある企業を

第1回	要説明	過去の研修例をもとに、実施計画と目標を設定する	リサーチ 復 習：90分 授業の振 り返り
第2回	企業と のマッ チング	アクティブ・ラーニング：キャリアデザイン 自分のキャリアをデザインする上で、具体的にどのような行動が必要なのかディスカッションする。自分の意見を述べると共に、他の学生の意見に対して質問や批評も行う。最後にオリジナルメモを作成し提出する。個別面談あり。企業・団体を選定、応募、提出書類作成	予 習：90分 興味のある企業を リサーチ 復 習：90分 授業の振 り返り
第3回	企業と のマッ チング	アクティブ・ラーニング：企業研究 研修希望分野の職種・業務内容ほか、企業での研修を遂行する上で具体的にどのような行動が必要かを分析する。自分の意見を述べると共に、他の学生の意見に対して質問や批評も行う。個別面談あり。企業・団体を選定、応募、提出書類作成	予 習：90分 興味のある企業を リサーチ 復 習：90分 授業の振 り返り
第4回	企業と のマッ チング	企業・団体を選定、応募、提出書類作成	予 習：90分 興味のある企業を リサーチ 復 習：90分 授業の振 り返り
第5回	企業と のマッ チング	企業・団体を選定、応募、提出書類作成	予 習：90分 興味のある企業を リサーチ 復 習：90分 授業の振 り返り
第6回	企業と のマッ チング、事 前研修	企業・団体を選定、応募、提出書類作成、研修前の留意点等	予 習：90分 興味のある企業を リサーチ 復 習：90分 授業の振 り返り
第7回	イン ターン シップ	企業・団体で研修、報告書作成	予 習：90分 事前準 備、確認 復

			習：90分 研修の振 り返り
第8回	イン ターン シップ	企業・団体で研修、報告書作成	予 習：90分 事前準 備、確認 復 習：90分 研修の振 り返り
第9回	イン ターン シップ	企業・団体で研修、報告書作成	予 習：90分 事前準 備、確認 復 習：90分 研修の振 り返り
第10回	イン ターン シップ	企業・団体で研修、報告書作成	予 習：90分 事前準 備、確認 復 習：90分 研修の振 り返り
第11回	イン ターン シップ	企業・団体で研修、報告書作成	予 習：90分 事前準 備、確認 復 習：90分 研修の振 り返り
第12回	イン ターン シップ	企業・団体で研修、報告書作成	予 習：90分 事前準 備、確認 復 習：90分 研修の振 り返り
第13回	イン ターン シップ	企業・団体で研修、報告書作成	予 習：90分 事前準 備、確認 復 習：90分 研修の振 り返り
	イン		予 習：90分 事前準 備、確認

第14回	ターン シッ プ	企業・団体で研修、報告書作成、レポート作成	復 習：90分 研修の振 り返り
第15回	実習成 果報告 会	アクティブラーニング：実習成果報告会として研修内容をプレゼンテーションする。報告書、レポート提出	予 習：90分 実習成果 報告会準 備 復 習：90分 実習成果 報告会の 振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（就職活動やマナーに関する資料を必要に応じて配布する）

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 各書類提出50%、企業からのフィードバック20%、授業への参加度30%

課題等に対する フィードバックの方法

アクティブ・ラーニングでの意見交換、書類作成や企業とのマッチングにおける個別指導、実習成果報告会でのプレゼンテーションに対する意見や感想、これらのフィードバックを各自授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

提出書類が一定水準に達していない時は再提出とする。授業では積極性、主体性を重要視する。

オフィス・アワー

火曜日 16:30-16:40 18:10-18:20 1号館104教室

講義コード	40540001
講義名	学外研修（H31年度入学生）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C255
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし
教員	松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインや芸術に関する分野は、時代と共に変化し続けている。こうした分野を学び志す者にとって、現状把握やリサーチ作業は非常に重要であり、社会の流れを読みとる力を養う必要性は高いと言える。本授業ではこうした点を踏まえ、美術館や作家のアトリエ、イベント等に出かけ、鑑賞及び分析作業を行っていく。実際に体験することにより、将来の自分のスキルアップや、これからのアート・デザインのあり方と可能性について模索し考えるきっかけとすることが、本授業の教育目標である。

*シラバスの内容については授業進行上の状況により変更する場合がある。（実施日程等の詳細については決定次第発表する）

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間の生活空間について多面的に理解し、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を深め、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる能力を養う。事前のリサーチと、現場における実際の鑑賞を通して事後の記録にまとめる。こうした作業により、分析する力や客観的な評価能力を強化することを目的としている。また、そうした経験を今後の作品制作や研究活動に活かしていく。

到達目標

- 団体行動における個人の責任について意識を高める
- 鑑賞力、分析力等を身につける
- 適確な事前リサーチと事後の資料作成能力を養う

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な 時間
第1回	オリエンテーション・	概要説明、見学する施設・地域に関す	予習90分：群馬 県内の美術関連施 設調査

	事前説明	るりサーチ	復習90分：群馬 県外の美術関連施 設調査
第2回	県外美術館見学	施設見学、展示鑑賞（1年生美術館研 修での鑑賞）	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第3回	県外美術館見学	施設見学、展示鑑賞（1年生美術館研 修での鑑賞）	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第4回	県外美術館見学	施設見学、展示鑑賞（1年生美術館研 修での鑑賞）	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第5回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加高 崎市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第6回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加高 崎市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第7回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加高 崎市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第8回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加太 田市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第9回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加太 田市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第10回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加館 林市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第11回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加館 林市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第12回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加 桐生市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第13回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加 桐生市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
		見学後の意見交換、レポート等プレゼ	予習90分：事前 リサーチ

第14回	資料準備	ンテーション資料制作	復習90分：事後 リサーチ
第15回	プレゼンテーション	アクティブ・ラーニングの内容：パ ワーポイントや資料を用いた発表、意 見交換、総評	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
教科書			
使用しない			
参考書			
使用しない（必要に応じて関連資料を配布）			
成績評価の方法・基準			
単位認定50点以上 プレゼンテーション50% 授業への参加度50% ※本授業は、現地での施設見学やシンポジウム等への参加と、最終日に行うパワーポイントを用 いたプレゼンテーションにより成績評価を行い、定期試験は実施しない。			
課題等に対する フィードバックの方法			
プレゼンテーション時の意見や感想、シンポジウム等で質問をした際のフィードバックを、各自 授業内容の理解に役立てる。			
履修のポイント			
交通費、入場料等は各自で負担。現地集合・現地解散が基本。見学、移動中の飲食は出来かねる ため、食事は事前に済ませること。記録やメモを取ること。積極的な姿勢が望ましい。			
オフィス・アワー			
金曜日 16:30-16:40 18:10-18:20 1号館104教室			

講義コード	40550001
講義名	卒業制作（松村/佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R375
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。

卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。

2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村、佐野／マンガ・コミックイラスト：大日向、吉澤、門倉／グラフィック：小松原、三関／ファッション：久保田、寺村、石井／インテリア・空間：山本、峰岸、及川で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

- 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。
- 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
- 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出	予習90分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習90分：
第2回	〃	〃	〃
第3回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	〃	〃	〃
第5回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	アイデア 決定期間	〃	
第7回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	アイデア 決定期間	〃	
第9回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	アイデア 決定期間	〃	
第11回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	アイデア 決定期間	〃	
第13回	制作期間	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

第14回	//	//	//
第15回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	//	//	//
第17回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	//	//	//
第19回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	//	//	//
第21回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	//	//	//
第23回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	//	//	//
第25回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	//	//	//
第27回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	//	//	//
第29回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	//	//	//
第31回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	//	//	//
第33回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
34			

第 回	//	//	//
第35回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	//	//	//
第37回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	//	//	//
第39回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	//	//	//
第41回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	//	//	//
第43回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	//	//	//
第45回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	//	//	//
第47回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	//	//	//
第49回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	//	//	//
第51回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	//	//	//
第53回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
54			

第 回	//	//	//
第55回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	//	//	//
第57回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	//	//	//
第59回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	//	//	//
第61回	全体中間 チェック	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	//	//	//
第63回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	//	//	//
第65回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	//	//	//
第67回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	//	//	//
第69回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	//	//	//
第71回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	//	//	//
第73回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
74			

第 回	//	//	//
第75回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	//	//	//
第77回	制作期間	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	//	//	//
第79回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	//	//	//
第81回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	卒業制作展準備	//	//
第83回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	卒業制作展準備	//	//
第85回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	//	//	//
第87回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第88回	//	//	//
第89回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 最終確認	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第90回	//	//	//

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

完成度や取り組みを総合的に評価する。

※卒制展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。

最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。

2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

専任教員については基本的に開いている時間は、いつでも可。

講義コード	40550002
講義名	卒業制作（大日向/吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R375
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし
教 員	吉沢 正美	指定なし
教 員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。

卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。

2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村、佐野／マンガ・コミックイラスト：大日向、吉澤、門倉／グラフィック：小松原、三関／ファッション：久保田、寺村、石井／インテリア・空間：山本、峰岸、及川で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標	
○ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。 ○ 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。 ○ 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。	

授業計画			
	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：卒業制作の内容について検討をすすめる。
第2回	//	//	//
第3回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	//	//	//
第5回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	アイデア決定期間	//	
第7回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	アイデア決定期間	//	
第9回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	アイデア決定期間	//	
第11回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	アイデア決定	//	

	期間		
第13回	制作期間	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	//	//	//
第15回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	//	//	//
第17回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	//	//	//
第19回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	//	//	//
第21回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	//	//	//
第23回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	//	//	//
第25回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	//	//	//
第27回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	//	//	//
第29回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	//	//	//
第31回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
32			

第 回	//	//	//
第33回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	//	//	//
第35回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	//	//	//
第37回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	//	//	//
第39回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	//	//	//
第41回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	//	//	//
第43回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	//	//	//
第45回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	//	//	//
第47回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	//	//	//
第49回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	//	//	//
第51回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
52			

第 回	//	//	//
第53回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	//	//	//
第55回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	//	//	//
第57回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	//	//	//
第59回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	//	//	//
第61回	全体中間チェック	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	//	//	//
第63回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	//	//	//
第65回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	//	//	//
第67回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	//	//	//
第69回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	//	//	//
第71回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
72			

第 回	//	//	//
第73回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	//	//	//
第75回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	//	//	//
第77回	制作期間	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	//	//	//
第79回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	//	//	//
第81回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	卒業制作展準備	//	//
第83回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	卒業制作展準備	//	//
第85回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	//	//	//
第87回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認	予習45分：展示の準備 復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	//	//	//
第89回	卒業制作展講評	各分野の展示会場でプレゼンテーション・講評を実施する。 (アクティブラーニング)	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	//	//	//

教科書
使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準
単位認定50点以上 作品の完成度80% 授業への参加度20% ※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。 最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。
履修のポイント
卒業制作の時間に必要なもの(材料の購入や資料収集等)は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。 2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。
オフィス・アワー
月曜日 12:30～13:10 各コース担当の専任教員の研究室 松村：111研究室／佐野：121研究室（イラストレーション・絵画） 大日向：123研究室（マンガ・コミックイラスト） 小松原：124研究室（グラフィックデザイン） 山本：131研究室（インテリア・空間デザイン） 寺村：122研究室（ファッション・造形）

講義コード	40550003
講義名	卒業制作（小松原/三関）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R375
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。

卒制制作展の事前準備・搬入・搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。

2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村、佐野／マンガ・コミックイラスト：大日向、吉澤、門倉／グラフィック：小松原、三関／ファッション：寺村、久保田、石井／インテリア・空間：山本、峰岸、及川で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

- 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。
- 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
- 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：卒業制作の内容について検討をすすめる。
第2回	//	//	//
第3回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	//	//	//
第5回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	アイデア決定期間	//	
第7回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	アイデア決定期間	//	
第9回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	アイデア決定期間	//	
第11回	アイデア決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	アイデア決定期間	//	

第13回	制作期間	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	//	//	//
第15回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	//	//	//
第17回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	//	//	//
第19回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	//	//	//
第21回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	//	//	//
第23回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	//	//	//
第25回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	//	//	//
第27回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	//	//	//
第29回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	//	//	//
第31回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	//	//	//
			45

第33回	制作期間	制作	予習 分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	//	//	//
第35回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	//	//	//
第37回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	//	//	//
第39回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	//	//	//
第41回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	//	//	//
第43回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	//	//	//
第45回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	//	//	//
第47回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	//	//	//
第49回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	//	//	//
第51回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	//	//	//
			45

第53回	制作期間	制作	予習 分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	//	//	//
第55回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	//	//	//
第57回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	//	//	//
第59回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	//	//	//
第61回	全体中間チェック	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	//	//	//
第63回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	//	//	//
第65回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	//	//	//
第67回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	//	//	//
第69回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	//	//	//
第71回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	//	//	//

第73回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習 分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	//	//	//
第75回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	//	//	//
第77回	制作期間	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	//	//	//
第79回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	//	//	//
第81回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	卒業制作展準備	//	//
第83回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	卒業制作展準備	//	//
第85回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	//	//	//
第87回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認	予習45分：展示の準備 復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	//	//	//
第89回	卒業制作展講評	各分野の展示会場でプレゼンテーション・講評を実施する。 (アクティブラーニング)	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	//	//	//

使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準
単位認定50点以上 作品の完成度80% 授業への参加度20% ※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。 最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけでなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。
履修のポイント
卒業制作の時間に必要なもの(材料の購入や資料収集等)は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。 2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。
オフィス・アワー
月曜日 12:30～13:20 各コース担当の専任教員の研究室 松村：111研究室／佐野：121研究室（イラストレーション・絵画） 大日向：123研究室（マンガ・コミックイラスト） 小松原：124研究室（グラフィックデザイン） 山本：131研究室（インテリア・空間デザイン） 寺村：122研究室（ファッション・造形）

講義コード	40550004
講義名	卒業制作（久保田/寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R375
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 恵美子	指定なし
教員	寺村 サチコ	指定なし
教 員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。

卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。

2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村、佐野／マンガ・コミックイラスト：大日向、吉澤、門倉／グラフィック：小松原、三関／ファッション：久保田、寺村、石井／インテリア・空間：山本、峰岸、及川で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

- 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。
- 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
- 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出	予習90分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習90分：
第2回	//	//	//
第3回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	//	//	//
第5回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	アイデア 決定期間	//	
第7回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	アイデア 決定期間	//	
第9回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	アイデア 決定期間	//	
第11回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	アイデア 決定期間	//	
第13回	制作期間	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証

			する。
第14回	//	//	//
第15回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	//	//	//
第17回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	//	//	//
第19回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	//	//	//
第21回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	//	//	//
第23回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	//	//	//
第25回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	//	//	//
第27回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	//	//	//
第29回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	//	//	//
第31回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	//	//	//
第33回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

			する。
第34回	//	//	//
第35回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	//	//	//
第37回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	//	//	//
第39回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	//	//	//
第41回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	//	//	//
第43回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	//	//	//
第45回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	//	//	//
第47回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	//	//	//
第49回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	//	//	//
第51回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	//	//	//
第53回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

			する。
第54回	//	//	//
第55回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	//	//	//
第57回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	//	//	//
第59回	制作期間	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	//	//	//
第61回	全体中間 チェック	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	//	//	//
第63回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	//	//	//
第65回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	//	//	//
第67回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	//	//	//
第69回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	//	//	//
第71回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	//	//	//
第73回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

			する。
第74回	//	//	//
第75回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	//	//	//
第77回	制作期間	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	//	//	//
第79回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	//	//	//
第81回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	卒業制作展準備	//	//
第83回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	卒業制作展準備	//	//
第85回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	//	//	//
第87回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第88回	//	//	//
第89回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 最終確認	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第90回	//	//	//

教科書
使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
完成度や取り組みを総合的に評価する。
※卒制展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。
最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。
2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

専任教員については基本的に開いている時間は、いつでも可。

講義コード	40550005
講義名	卒業制作（山本博/峰岸/及川）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	3 時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-R375
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教員	峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。

卒制制作展の事前準備・搬入・搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。

2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村、佐野／マンガ・コミックイラスト：大日向、吉澤、門倉／グラフィック：小松原、三関／ファッション：久保田、寺村、石井／インテリア・空間：山本、峰岸、及川で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

- 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。
- 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
- 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：
第2回	〃	〃	〃
第3回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	〃	〃	〃
第5回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	アイデア 決定期間	〃	
第7回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	アイデア 決定期間	〃	
第9回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	アイデア 決定期間	〃	
第11回	アイデア 決定期間	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	アイデア 決定期間	〃	
第13回	制作期間	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

第14回	//	//	//
第15回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	//	//	//
第17回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	//	//	//
第19回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	//	//	//
第21回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	//	//	//
第23回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	//	//	//
第25回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	//	//	//
第27回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	//	//	//
第29回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	//	//	//
第31回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	//	//	//
第33回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
34			

第 回	//	//	//
第35回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	//	//	//
第37回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	//	//	//
第39回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	//	//	//
第41回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	//	//	//
第43回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	//	//	//
第45回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	//	//	//
第47回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	//	//	//
第49回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	//	//	//
第51回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	//	//	//
第53回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
54			

第 回	//	//	//
第55回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	//	//	//
第57回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	//	//	//
第59回	制作期間	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	//	//	//
第61回	全体中間 チェック	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	//	//	//
第63回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	//	//	//
第65回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	//	//	//
第67回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	//	//	//
第69回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	//	//	//
第71回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	//	//	//
第73回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
74			

第 回	//	//	//
第75回	制作期間	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	//	//	//
第77回	制作期間	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	//	//	//
第79回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	//	//	//
第81回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	卒業制作展準備	//	//
第83回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	卒業制作展準備	//	//
第85回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	//	//	//
第87回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第88回	//	//	//
第89回	卒業制作展準備	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 最終確認	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第90回	//	//	//

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

作品評価80%、取り組みの姿勢20% 定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。 最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。
履修のポイント
卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。 2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。
オフィス・アワー
月曜日、16:30-18:30、山本研究室（1号館131）

講義コード	40560001
講義名	教師論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	4 時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C430
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 野口 周一	指定なし

授業の概要と教育目標

「教師論」は教職資格取得に必要な教職科目の一つで、教職とは、学校の教師の仕事、教師のあり方など教職の基本について学ぶ。
教育目標としては、①教職の意義や教員の役割を理解すること、②教職の歴史と現状を認識し、教職に関わることの意志を育むこと、③教職の役割や職務内容を理解し、自分なりの「目指すべき教員像」を創り上げる――以上3点を掲げる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生活を取り巻く社会的環境を理解し、コミュニケーション能力を磨く。

到達目標

次の3点を考えている。①教職の意義や教員の役割を理解し、説明することができる。②教職の歴史と現状を認識し、教職に関わることの意志を明確にすることができる。③教職の役割や職務内容を理解し、自分なりの「目指すべき教員像」を創り上げることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	教師とは何か。	本講義「教師論」のガイダンス及び標記のテーマについて「教える」と「学ぶ」ことを手掛かりに考えていく。 【ALについて】 学生各自は予習のメモをもとにプレゼンテーションを行なう。	予習：60分 学生諸君の今までに出会った先生の具体像から、教師とはというテーマでメモを作成してくる（オリエンテーションで課題を出しておく） 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第2回	教職の魅力。	標記について、「思い出に残る先生」のメモをもとにプレゼンテーションを行なうことにより、その魅力を探る。	予習：60分 学生各自に「思い出に残る先生」についてメモを作成させる。 復習：30分

		【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第3回	教職の意義・役割・使命について。	標記について、「教職の役割」をプレゼンテーションさせ、それをもとに意義及び使命について解説する。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 学生各自に「教職の役割」についてメモを作成させる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第4回	教師像について。	教師は聖職者か労働者かという議論について学び、教師についての理解を深める。	予習：60分 教師は聖職者である面と労働者である面、それぞれの要因についてメモを作成させる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第5回	教員養成制度の変遷	戦前、戦後の教員養成制度の理念と内容について理解を深める。	予習：60分 標記のテーマについて調べ、メモを作成してくる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第6回	教員の職務について。	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 標記について調べ、メモを作成してくる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第7回	教員の研修について。	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 標記について調べ、メモを差読性してくる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第8回	教員の身分と服務及び倫理について。	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 標記について調べ、メモを作成してくる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第9回	学級経営と教師の力について。	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 標記について、「学級通信」を手掛かりに調べ、メモを作成してくる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第10回	カリキュラムを創ることに	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】	予習：60分 「ヒドゥン・カリキュラム」を手掛かりに調べ、メモを作成してくる。 復習：30分

	ついて。	プレゼンテーションの部分。	本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第11回	教師のメンタルヘルスについて。	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 標記について「教師の心の危機」を手掛かりにメモを作成してくる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第12回	チーム学校について	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 標記について、その具体例を調べ、メモを作成してくる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第13回	専門職としての教師について。	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 標記について、その具体例を調べ、メモを作成してくる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第14回	教職への道	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 学生各自の出身地における公立学校の教員への道を調べ、メモを作成してくる。 復習：30分 本講義の内容を、どのように理解したかノートに纏めておく。
第15回	復習	標記について、学生のメモをもとにプレゼンテーションを行ない、然る後に教授者が解説を行なう。 【ＡＬについて】 プレゼンテーションの部分。	予習：60分 14回の講義における疑問点・問題点について、メモを作成してくる。 復習：30分 上記の疑問点・問題点について、どのように理解したかノートに纏めておく。

教科書

佐島群巳・小池俊夫『新訂版 教職論』（学文社、2017年）

参考書

講義中に適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。

筆記試験：50%、授業への取り組み姿勢（課題、プレゼンテーション）：50%

課題等に対する フィードバックの方法

講義中に適宜行なう。

履修のポイント

教職の意義、教員の役割、その職務内容、チーム学校等にポイントをおき、学修を進める。

オフィス・アワー

火曜日、12：30～13：20、野口研究室

講義コード	40570002	
講義名	教育原論・教育課程論（旧 教育学）	
(副題)	【教職必修】	
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
代表曜日	火曜日	
代表時限	5 時限	
区分	教職科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C410	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 野口 周一	指定なし

授業の概要と教育目標

昨今、子どもや学校をめぐるさまざまな問題が噴出している。そのような状況下で、教諭を志す者には「教育」の知識が求められる。本講義では、教育の意義・目的、教育の基礎的概念と諸理論、歴史、実践など、教育学の基本的知識を学ぶ。さらには現代の教育問題を念頭におきながら、学習指導要領の変遷及び新学習指導要領の目標を理解することにより、教育課程が社会において果たしている役割や機能について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生活を取り巻く社会的環境を理解し、コミュニケーション能力を磨く。

到達目標

「教えるー学ぶ」という人間特有とされる営みの重要性と、特に学校教育における現代的な課題について、具体的な事例を通して学び、考えられるようになる。そのために、①「教えるー学ぶ」という教育の基本的関係を、さまざまなテーマを通して学ぶ。②私たちは、自らが学んできた現代日本の学校教育に大きな影響を受けていることをきちんと認識する。③いま、その学校がどのような現実と直面し、どのような対応を求められているかについて理解を深めたい。④学校教育における指導の過程について、学習指導要領の変遷と新学習指導要領を学ぶことにより、その基本的な知識を得る。以上の学習を通じて、教職を志す者としての資質・能力を培い、教職における教育の根本原理を学ぶ。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	本講義の地付け、進め方について説明する。 【ALについて】 「教諭を志す」ことについて語る。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べてくる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。

第2回	人間探求から教育を考える	人間の生涯と教育、発達における教育の役割、文化と教育を扱う。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第3回	歴史探求から教育を考える ①	子ども観の歴史的変遷を行なう（西洋を中心に）。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第4回	歴史探求から教育を考える ②	子ども観の歴史的変遷を行なう（日本を中心に）。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第5回	歴史探求から教育を考える ③	欧米の教育思想と発展を扱う。 【ALについて】講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第6回	歴史探求から教育を考える ④	日本の教育思想と発展を扱う。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
	学校の制	日本の近代化と学校教育を考える。 【ALについて】	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分

第7回	度と歴史を学ぶ①	講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第8回	学校の制度と歴史を学ぶ②	壺井栄著『二十四の瞳』を素材に考える。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第9回	学校の制度と歴史を学ぶ③	教育勅語と教育基本法（旧・新）について考える。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第10回	社会のなかの学校組織	学校と家庭、地域の連携・共同の必要性を、特に学校安全に焦点をあてて考える。 【ALについて】講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第11回	学校の経営・学級の経営	学校経営の必要性や定義、内容、校内体制の重要性について、次いで学級と教育内容・方法を制度的に確認、「チーム学校」についても言及する。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第12回	教育課程の意義及び編成を学ぶ①	学習指導要領の変遷の性格・位置づけ・目的・内容等について理解を深め、新学習指導要領の内容と目標を学習する。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。

第13回	教育課程の意義及び編成を学ぶ②	学習指導要領等に基づき、各学校における教育課程の変遷・実施・評価・改善の一連のカリキュラム・マネジメントを理解する。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第14回	教育課程の意義及び編成を学ぶ③	教育課程の実践・評価とさあい編成を行なうことにより、教育活動全体の質の向上を図ることを理解する。 【ALについて】 講義概要を各自まとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。
第15回	総括とまとめ	全14講の内容を復習する。 【ALについて】 各自の問題点をまとめ、そのテーマについて自分なりに学ぶ。	予習：60分 毎回のテーマについて課題を出し、それについて調べる。 復習：30分 授業の総まとめを各自行ない、テーマについて自分なりに理解をする。

教科書

特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

テーマに応じて適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上（筆記試験：5割、授業への取り組み姿勢（課題、口頭発表）5割）

課題等に対する フィードバックの方法

授業後に行なう。

履修のポイント

「教育とは何か」について絶えず考えること。

オフィス・アワー

火曜日、12：30～13：20、野口研究室

講義コード	40580001
講義名	教育心理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	5 時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C412
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

教師が学校現場で児童・生徒と対応する際には、彼らが、今現在発達的にどのような状況におかれているのか、また、そのときの心の状態はいかなるものなのか、ということに配慮しながら接することが求められる。この科目では、人は環境と相互に作用しあう存在であることを踏まえて、人の発達過程、学習過程、教授過程について講義する。授業は講義形式で行うが、授業後半では実習も取り入れ、学生による「模擬授業」を実施する。なお、青年期までの人の発達過程とその特徴、学習のしくみと学習を規定する要因と障がい、教授の類型について理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解することを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解するという発達の側面、そして知識を収めていく学習の側面、発達課題に直面した際の課題未達成からくる適応の問題の側面から、教職実践の基盤となる学修を目指すものとする。

到達目標

1. 教育心理学で使用されるさまざまな専門用語の意味を理解する。
2. 青年期までの人の発達過程とその特徴について理解する。
3. 学習のしくみと学習を規定する要因、および障がいについて理解する。
4. 「教える」ということを体験を通じて実感し、自ら「教える」立場をシュミレーションする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために 必要な時間
	ガイダンス	講義の進め方、成績評価のしかたなどについて	予習90分： 教科書pp.12-

第1回	教育心理学の概要	教育心理学で取り扱う内容について、その概要（発達・学習・教授）を取り上げる。	21を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第2回	人生初期の発達①	発達の基本的な原理、発達の最近接領域について取り上げる。	予習90分： 教科書pp.22-25,33-39を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第3回	人生初期の発達②	認知発達を中心に、乳児期から児童期の発達を取り上げる。	予習90分： 教科書pp.25-30を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第4回	青年期の発達①	人生初期からの人間関係と社会性の発達を取り上げる。	予習90分： 教科書104-123を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第5回	青年期の発達②	青年期の発達課題として、エリクソンのアイデンティティの獲得について取り上げる。	予習90分： 教科書pp.30-33を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第6回	障がいの理解	発達障がいの種類や特徴、学級内で障がいを抱えた児童・生徒への理解と対応について取り上げる。	予習90分： 教科書pp.159-174を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第7回	さまざまな学習理論①	刺激と反応の結びつきを重視する学習の連合理論と認知の変容を重視する学習の認知理論を中心に、学習のしくみを取り上げる。	予習90分： 教科書pp.41-54を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第8回	さまざまな学習理論②	記憶、授業における学習指導の理論、学習の個性化を取り上げる。	予習90分： 教科書pp.55-70、175-182を読む。 復習90分：

			配布資料を見直す。
第9回	学習の規定因①	学習の規定因としての動機づけ理論と、動機づけ向上に必要な事項について取り上げる。	予習90分：教科書pp.72-88を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	学習の規定因②	学習を規定する要因としてのパーソナリティの理論、知能の構造、測定方法を取り上げる。	予習90分：教科書pp.89-103を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	学習の規定因③	発達や学習を促進したり、阻害したりする適応と不適応、適応機制の考え方を取り上げる。	予習90分：教科書pp.141-157を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	学校教育相談	教育相談の意義と役割および教育相談の歩みとその方法について取り上げる。	(予習90分：教科書8章を読む。) 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	教育評価	教育評価の方法や手法、さまざまな観点から見た評価の種類と特徴、学力のとらえ方や測定方法について取り上げる。	予習90分：教科書pp.182-192を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	教授技法①	教える技術、伝える技術、授業づくりの留意点をおさえて、「教える」ことをシュミレートする模擬授業を行う。他の履修者は、授業評価をし、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返し。
第15回	教授技法②	第14回目の授業から、さらに発展させ、応答技法の留意点もおさえて、「教える」ことをシュミレートする模擬授業を行う。他の履修者は、授業評価をし、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返し。

櫻井茂男監修 『実践につながる教育心理』 北樹出版

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。

筆記試験40%、レポート課題30%、模擬授業・授業への参加度30%を総合して評価します。

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習として、主に配布資料・ノートのまとめを勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11号館第8研究室。

※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

講義コード	40590001
講義名	美術科教育法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	3 時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C431
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 奥西 麻由子	指定なし

授業の概要と教育目標

主に中学校美術科に焦点を当て、意義、目的、内容を概観する。その際歴史的背景、学習指導要領の展開を踏まえ、今日の美術科で必要な要素を検討していく。授業の後半では、学習指導案の書き方を学び、実際に指導の計画を立て、それにともなった授業が展開できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

- ①美術科の意義と目的の理解
- ②教育内容の理解
- ③授業構想の実践

到達目標

中学校美術科の意義と目的を理解すると共に、教育内容・方法について学ぶことを通して、美術科の授業を自分なりに構想し、実践することが出来るようにする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）
第1回	ガイダンス	授業の概要
第2回	美術科の意義と目的	なぜ学校教育で美術を学ぶのか、その意義と目的について考える
第3回	学習指導要領の変遷と概説	目標と内容の把握、その変遷を概観する
第4回	美術科の内容と指導①	絵画（ワークシートをもとに検討）
第5回	美術科の内容と指導②	立体（ワークシートをもとに検討）
第6回	美術科の内容と指導③	デザイン（ワークシートをもとに検討）
第7回	美術科の内容と指導④	工芸（ワークシートをもとに検討）
第8回	美術科の内容と指導⑤	映像メディア表現（ワークシートをもとに検討） およびICTの活用について
第9回	美術科の内容と指導⑥	鑑賞（ワークシートをもとに検討、演習含む）
	美術科における教師の役割、	教師の支援の在り方について、評価方法とその観

第10回	評価の観点と方法	点
第11回	学習指導案の作成①	題材設定、ねらい、導入、展開、まとめまで
第12回	学習指導案の作成②	①の修正及び効果的な授業のための改善検討
第13回	模擬授業①	模擬授業演習
第14回	模擬授業②	模擬授業演習
第15回	模擬授業③ 授業のまとめ	模擬授業演習、授業のまとめ

教科書

「中学校学習指導要領解説 美術編 平成29年7月—平成29年告示」文科省 日本文教出版、2018

参考書

福田隆真・茂木一司・福本謹一『美術科教育の基礎知識』建帛社、2010

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。
筆記試験 25% 提出物（ワークシート 45%、指導案 15%） 模擬授業 15% 再試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

ワークシートを毎回だしますので、復習として行ってもらいます。また、提出されたワークシートは個別に添削等を行い、内容理解をはかります。

履修のポイント

主体的に学ぶ姿勢を望みます。

オフィス・アワー

授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

講義コード	40600002	
講義名	道徳理論・指導法（旧 道徳教育研究）	
（副題）	【教職必修】	
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	後期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日	金曜日	
代表時限	5 時限	
区分	教職科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C432	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

道徳教育の歴史、その意義と役割を理解しつつ、学習指導案作りを実践する。他の教科との連携を踏まえ、教育実習の場でしっかりと道徳の授業ができる教育力を養うものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

道徳、総合的な学習の時間等の指導及び生徒指導、教育相談等に関する科目で、アート・デザイン学科のディプロマポリシーにある「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解」していることを再確認し、その理解したことを学校現場の道徳等の授業等で、生かすことができるかを問う。

到達目標

道徳の授業を展開する際の材料集めに始まり、学習指導案を作成し、じっさいに模擬授業を行い、学生自身が主体的に考え行動し、道徳の授業実践のできる指導力を養う。人間としての徳性を備え、他者や環境を尊重する人材を育成できる力量を身につける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	道徳教育とは何か	道徳教育の定義と、人格の完成に欠かせない道徳教育の意義を理解する。	復習 90 分。最近の道徳についての記事を調べる。
第2回	修身教育と今日の道徳教育	道徳教育の歴史を知る。＜アクティブラーニング＞今日の日本や国際社会での道徳教育の課題について考える。	予習 90 分。復習 90 分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、資料探索を行う。
第3回	子どもの発達に応じた道徳の話題	成長の各段階における人間の道徳性の発達と開花（学年に適した教材に関する考察を含む）のプロセスをたどる。	予習 90 分。復習 90 分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導要領を事前に読んでおく。
	学習指導		

第4回	要領に記された道徳の教育目標	学習指導要領に記された道徳教育の内容と教育目標（多様な指導方法の理解を含む）を知る。	予習90分。復習90分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、資料探索を行う。
第5回	他教科・特別活動等との連携	学習指導計画と、教育活動全体のなかでの道徳教育の位置づけを理解する。	予習90分。復習90分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、発表の大筋を決める。
第6回	学習指導案の作成	<アクティブラーニング>道徳の授業目標の設定し、授業プログラム案（学習指導案）の作成と発表を行う。	予習90分。復習90分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、発表資料づくりを行う。
第7回	道徳への取り組み評価について	個々の児童・生徒における道徳教科の評価方法を知る。	予習90分。復習90分。事前に配布された資料を読み込む。最近の道徳についての記事を調べ記事と概要と感想を書いてレポートにまとめ提出する。
第8回	道徳教育のまとめ、授業の振り返り	学生による模擬授業の実施と、その振り返り（学生による自己評価を含む）を行う。	予習90分。復習90分。事前に配布された資料を読み込む。作成した各自の指導案、発表資料等を提出する。

教科書

「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示 文部科学省）
「小学校学習指導要領解説」「中学校学習指導要領解説」にある「特別の教科道徳」（平成29年6・7月告示 文部科学省）

参考書

小寺正一・藤永芳純『三訂道徳教育を学ぶ人のために』世界思想社、2009年

成績評価の方法・基準

道徳教育に関するレポート（60点）、各時間の振り返りシート（20点）、模擬授業の発表（20点）の合計点をもとに、総合的に評価する。

課題等に対する フィードバックの方法

課題のレポートに、コメントを入れて後日、返却する。補足説明があるときは、授業内で提示し、または印刷して配布してフィードバックとする。

履修のポイント

授業回数が8回のみであるから、休まず出席すること。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みの時間をオフィス・アワーの時間とする。質問等を受け付けます。

講義コード	40610001
講義名	教育方法論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	5 時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C451
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

限られた時間内に教育が行われる学校では、指導上の効果を高めるため、教育方法について理解し研究することがとりわけ肝要である。被教育者の知識・技術の習得をより効果的なものにし、さらに生徒の自主的・創造的な学習を発展させるうえで、教員を目指す者にとって教育方法の学習は、以前にも増して重要性が高まっている。この授業では、教授ないし学習指導と呼ばれている事柄を中心に扱う。また、コンピュータを中心とした教育機器の利用法や教育評価についても、教育方法にとって不可欠な分野として、取り上げる。

一方で、特別活動は、構成の異なる集団での活動を通して学校生活を捉え、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動である。

そこで、この授業では、学校教育の中で行われる、指導の効果を高めるための方法について理解し研究することを目標とし、学習指導要領に則しながら、特別活動の各活動の内容や指導方法など事例を通して検討していく。

また、授業ではMoodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学科のDPとは別に、教員免許状取得のために必要な学校教育法施行規則に定める科目「教育方法及び技術（情報機器および教材の活用を含む。）」と「特別活動の指導法」に該当している

到達目標

- ・教育方法の基礎理論、方法、技術について理解する
- ・コンピュータなどの機器の教育における利用方法を理解し、活用できる
- ・教育評価の理論と応用について理解する
- ・学習指導要領における特別活動の意義を理解する
- ・特別活動の指導の在り方を理解する

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
	求められる学	求められる学力とは何かを検討し、学校教育と学習指導要領の基本理念について考える	予習90分：教科書第1章を熟読すること

第1回	力と学校教育・教育方法	課題：指導案（細案）の作成とその意図の発表	復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題の作成
第2回	教育方法の基礎理論	教育方法の基礎理論について	予習90分：教科書第2～4章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題の相互評価
第3回	教師の指導技術と学習の動機づけ 指導案の発表と討議	具体的な指導技術の問題点を確認し、代表的な方法と留意点を見る 学習者が意欲的に学ぶにはどのような工夫が必要か考える 【アクティブラーニングの内容】 各自で作成した指導案を発表し、検討をおこなう （受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性あります）	予習90分：教科書第5～9章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第4回	学習の評価 指導案の発表と討議	学習における評価の意味について考える 【アクティブラーニングの内容】 各自で作成した指導案を発表し、検討をおこなう （受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性あります）	予習90分：教科書第12章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第5回	情報機器及び教材の活用 指導案の発表と討議	メディア教材の利用と、ICT機器を利用する意味とその理論について学び、ICTを利用した授業の展開について考える 【アクティブラーニングの内容】 各自で作成した指導案を発表し、検討をおこなう （受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性あります） 課題レポート：授業におけるICT機器の活用について	予習90分：教科書第10章・11章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題レポートの作成
第6回	特別活動の意義	学習指導要領における特別活動の意義と内容について検討する	予習90分：学習指導要領解説を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題レポートの作成
第7回	特別活動の内容	学級活動・生徒会活動・学校行事の目標とその内容について事例を通して考える（小学校・高等学校との違いを踏まえながら） 【アクティブラーニングの内容】 グループワーク：特別活動の指導案	予習90分：学習指導要領解説を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第8回	特別活動の指導	特別活動における指導方法および評価について検討する 【アクティブラーニングの内容】 グループ発表：特別活動の指導案の発表	予習90分：学習指導要領解説を熟読すること 復習90分：振り返り

教科書

『新しい教職教育講座 教職教育編 教育の方法と技術』（篠原正典・荒木寿友 編著）ミネルヴァ書房
 中学校学習指導要領（平成29年告示）文部科学省
 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編（平成29年7月）文部科学省

参考書

「教育工学への招待」赤堀侃司（ジャストシステム）、「「教えて考えさせる授業を」を創る」市川伸一（図書文化）、「学習評価の新潮流」植野真臣他（朝倉書店）など

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。毎回の課題とその取組（40%）、模擬授業（30%）、レポート（30%）を総合的に評価する。

課題等に対する フィードバックの方法

授業では課題を課します。それらは相互に評価することがあり、その結果をMoodleを通して、個別もしくは全体にコメントしますので、参考にしてください。

履修のポイント

授業日程についてはしっかり確認し、遅刻・欠席がないように注意してください。
 また、受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性があります。
 授業の回数が少ないため、各自で教科書を熟読し理解を深めてください。
 欠席（公欠含む）した場合は、後日内容の確認をしてください。
 課題は必ず提出すること。

オフィス・アワー

火曜日の昼休み。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。また、研究室は9号館3階第11研究室。

講義コード	40611001	
講義名	特別支援教育論	
(副題)	【教職必修】	
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	後期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
区分	教職科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C450	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 小林 徹	指定なし

授業の概要と教育目標

担当者の中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験や市町村教育支援委員としての幼稚園・保育所等との連携の経験に基づき、研究成果も踏まえて以下の内容を講義する。

1. 特別支援教育を支える理念や歴史的変遷について理解する。
2. 特別支援教育の場（機関）と制度の現状をとらえる。
3. さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもの理解の視点と方法について理解する。
4. 障がい児等の個別支援計画の作成、評価について理解する。
5. 特別支援教育の実際について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもについて学ぶことで「人間の生活空間」についての多面的な理解を目指す。

また、特別支援教育の理解を通して、多様な社会のニーズや変化に対応できる知識・技術の修得を目指す。

到達目標

1. 特別支援教育の理念や制度、その歴史や支援機関の現状をどの程度理解できたか。
2. 障がい児や特別な配慮を要する子どもの個別指導（支援）計画の作成、評価についてどの程度理解できたか。
3. さまざまな障がいと障がい児や特別な配慮を要する子どもを支援するための視点と方法について理解できたか。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	特別支援教育の考え方、制度と仕組み	障がい児、特別な配慮を要する子ども、特別支援教育の基礎概念、特別支援教育と障がい児福祉の制度とその仕組みについて学習する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。

第2回	障がいとの出会いと子育て、保護者支援	保護者と障がいとの出会いと保護者支援、障がいのある子どもの子育ての考え方と療育の実際を映像を通して学習する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第3回	障がい児の理解と支援①発達障がい・知的障がい・情緒障がい	映像を通して発達障がい、知的障がい、情緒障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第4回	障がい児の理解と支援②肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がい	肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第5回	障がい児の理解と支援③病弱・重複障がい・その他の特別な教育的ニーズ	病弱・重複障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。また、障がいはないが、特別な教育的ニーズをもつ子どもについて学び、その支援方法を考える。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第6回	他機関との連携、幼保小中高の接続	障がい児支援に関わるさまざまな工夫について紹介し、理解を深める。また、幼保小中高の接続を含めたさまざまな機関との連携について学習する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第7回	個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用	子どもの有する特別な教育的ニーズをどのように見出し、理解するかを個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成を通して学習する。また、作成した計画をもとにして具体的な支援を考察する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第8回	特別支援教育のこれまでとこれから	特別支援教育の歴史的変遷について学習する。そして、今後のインクルーシブ教育システムの構築に向けた考察を行う。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。

教科書

小林徹・栗山宣夫編著『ライフステージを見通した障害児の保育・教育』みらい,2016

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。

レポート試験（50%）、毎回提出する小レポート（30%）、小テスト（20%）

課題等に対するフィードバックの方法

毎回提出する小レポートや小テストを参考にして、期末のレポート試験を受けること。

履修のポイント

障がいや障がい児について関心をもち、学習を深めてほしい。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。

講義コード	40620002	
講義名	生徒指導・進路指導論（旧 生徒指導論）	
(副題)	【教職必修】	
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	後期	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
代表曜日	木曜日	
代表時限	5 時限	
区分	教職科目	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C434	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

子どもたちを取り巻く状況は、社会の変化に呼応するかのように多様な問題を内包している。不登校・いじめ（いじめ自殺）・ネットトラブル・引きこもり、将来の不透明さなどがあげられる。これらに対応することを前提として、①生徒指導とはなにか、②生徒指導が担うべき役割はなにか、③生徒指導において教師が備え持つべき資質はなにか、について考える。そして、具体的問題を取り上げながら、これらへの対応について共同で考える。

進路指導は、キャリア教育の観点に立ち、①進路指導の意義と指導の方法は何か、②生徒が抱える個別の課題に即しながら「自分を生かす進路選択」とは何かについて共同で考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的な生活空間そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

生徒指導は、一人ひとりの児童及び生徒の人格を尊重し、社会的資質や行動力を高めることを目指し、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。

進路指導は、児童及び生徒が、将来の進路を選択し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸張するように、組織的・継続的に指導・支援する教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。この進路指導・キャリア教育に必要な知識や素養を身に付ける。

授業計画

	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	教育課程における生徒指導の位置付けについて理解する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第2回	生徒指導について集団指導と個別指導の実態を踏まえ、その方法原理を理解する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	基礎的な生活習慣の必要性と規範意識が培われる指導について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	校則の実態を学びながら、なぜ校則が存在し、なぜ必要であるかについて考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	体罰の実態を学びながら、体罰禁止の根拠と懲戒について学び、考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	いじめ（いじめ自殺）についての視聴覚教材を用いて、いじめについて考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	いじめの構造を理解し、その対応方法（生徒指導）についてディスカッションを行う。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	不登校や暴力行為の生徒指導上の課題や対応の視点について学び、考える。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第9回	生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第10回	教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けについて学ぶ。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第11回	進路指導の歴史及びキャリア教育の概念を学び、その発展の方向性を確認する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第12回	職業についての体験活動を中心に、進路指導・キャリア教育の意義を学ぶ。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第13回	中学校段階における進路指導・キャリア教育の考え方とポートフォリオ作成。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第14回	第13回で作成したポートフォリオを発表し、相互検討を行う。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
		予習90分：教育に関する事

第15回	高校時代までに経験してきた生徒指導・進路指導と本授業を通して学んだ内容を比較検討し、改めて生徒指導・進路指導のあり方について考える。	象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
教科書		
なし		
参考書		
『生徒指導提要』（平成23年）『小学校学習指導要領』（平成29年） 『中学校学習指導要領』（平成29年） 岩城孝次・森嶋昭伸『生徒指導の新展開』ミネルヴァ書房 適宜、資料を配付する。		
成績評価の方法・基準		
定期試験（80％）、授業時のレポート（20％） 単位認定基準50％以上		
課題等に対する フィードバックの方法		
授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。		
履修のポイント		
主体的、対話的で深い学びを期待します。		
オフィス・アワー		
火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室 ※授業終了後も、適宜受け付けます。		

講義コード	40630001
講義名	教育相談
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	5 時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C453
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 裕詞	指定なし

授業の概要と教育目標

学校における教育相談について、その目的の理解から入り、徐々に具体的技法や現実の児童生徒を想定した教育相談の在り方を明らかにしていきます。カウンセリングやソーシャルワークの技法にも学びながら、教師の専門性として教育相談が展開されることの意義について理解を深めていきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学校教育やそれを囲む社会との関係で、教育相談の必要性を理解し、基礎的知識を得るとともに、ディプロマポリシーで重視する実践する際の基礎力を身に付けます。

到達目標

- 1.教育相談の必要性、学校教育上の位置付けについて理解する。
- 2.子どもの成長発達上の課題や、それに対する現代社会の影響を踏まえた対応を理解する。
- 3.教育相談の技法を支える人間観を理解する。
- 4.教育相談に係わる多様な専門職性を理解し、チームアプローチの基礎的知識を得る。
- 5.事例を通して、教育相談を実践する基礎を培う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	1.オリエンテーション 2.教育相談の目的	1.授業のねらい、方法、評価の在り方について 2.なぜ学校が必要で、なぜ学校で教育相談が必要とされるのか アクティブ・ラーニングの内容（上記2について、自己の体験を省みて意見をまとめ、発表を通して学びを共有する）	復習180分
第2回	教育相談の現在	1.広義の教育相談と狭義の教育相談 2.近年の学校教育相談の動向 アクティブ・ラーニングの内容（生徒指導と教育相談の関係を実感できた経験を、グ	生徒指導提要等によって、事前に教育相談と生徒指導の概念間の関係を下調べする。

		ループ間で話し合い、発表を通して学びを共有する)	復習。合計180分
第3回	教育相談の機能と学校内の位置付け	1.学校教育相談の4機能 2.学校内組織における教育相談の位置付け アクティブ・ラーニングの内容(自己の体験を上記1の4機能に分けてワークシートにまとめる)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第4回	教育相談の基本姿勢	1.心理的事実の受容・共感と客観的指導 2.教育相談の「心」 アクティブ・ラーニングの内容(グループ・ワークにより受容と共感を体験的に学ぶ)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第5回	教育相談の理論と技法	1.理論と技法に関する基礎知識の必要性 2.主な理論と技法に学ぶ アクティブ・ラーニングの内容(上記2について、個々人でワークシートに整理する)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第6回	児童生徒理解とは何か	1.意義と分類 2.児童生徒理解の基本姿勢と具体的方法 アクティブ・ラーニングの内容(ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第7回	児童生徒の一般的理解	1.一般的理解の必要性 2.心に関わる疾病・障害・行動特性・言動 アクティブ・ラーニングの内容(ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第8回	発達段階の理解	1.「発達」という概念の特徴 2.発達課題の考え方 アクティブ・ラーニングの内容(ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第9回	児童生徒理解の手法	1.「みる」「きく」ことによる理解 2.「探る」ための基礎知識 アクティブ・ラーニングの内容(心理テストを体験し、その結果について自己分析し、効果と感想をワークシートにまとめる)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第10回	校内教育相談体制の構築	1.管理職の役割と可能性 2.校内教育相談体制と担任の役割 アクティブ・ラーニングの内容(ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第11回	教育相談の組織的展開	1.異なる専門職との連携 2.専門機関との連携 アクティブ・ラーニングの内容(ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第12回	教育相談に必要な法令解釈	1.教育相談と法令 2.専門団体の倫理規定と校内の申し合わせ アクティブ・ラーニングの内容(当該主題に関する教員採用試験既出問題を各自が解いて提出する)	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
		1.	

第13回	開発的・ 予防的教育 相談	自尊感情を育て、共感力を高める支援 2.相互支援を進め、集団成長を促す アクティブ・ラーニングの内容（ケース事 例について、教師として適切な対応を考察 し、意見を述べ合う）	生徒指導提要等によっ て、当該主題の下調べを 行う。 復習。合計180分
第14回	問題解決 的教育相 談	1.発達障害のある児童生徒への対応 2.多様化する問題への対応 アクティブ・ラーニングの内容（ケース事 例について、教師として適切な対応を考察 し、意見を述べ合う）	生徒指導提要等によっ て、当該主題の下調べを 行う。 復習。合計180分
第15回	これから の教育相 談	1.授業のまとめ 2.小試験による学習効果の自己確認	復習180分

教科書

使用しません。授業中、必要に応じてプリント等を配布いたします。但し、下記「参考書」に示した『生徒指導提要』は予習復習に活用できますので、用意することを強く推奨します。

参考書

文部科学省『生徒指導提要』2010年、文部科学省「児童生徒の教育相談の充実について（報告）」（以上の2点は、文科省HPから入手可能）、島崎政男『入門 学校教育相談』学事出版2014年。

成績評価の方法・基準

50点以上の評価で単位を認定します。評価の割合は、授業中に数回実施予定の確認テストで50%、授業最終回のまとめの後に実施する試験によって50%です。欠席、遅刻、早退、課題の未提出等は減点の対象とします。詳細は、初回授業オリエンテーションにおいて説明します。

課題等に対する フィードバックの方法

授業内容の予習・復習を中心とした自主的な学びが必要となります。

履修のポイント

「教育相談」の原理的理解に努めながらも、同時に、児童生徒の多様な状況・生活背景等を想像することが重要です。

オフィス・アワー

授業の前後で質問に応じます。また、文章で質問してくだされば、次回の授業時で回答をお渡しします。

講義コード	40640001
講義名	教職実践演習（中）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	5 時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C472
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 野口 周一	指定なし
教員	小松原 洋生	指定なし
教員	田口 和人	指定なし
教員	橋爪 博幸	指定なし
教員	橋本 まさ子	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習の実施を踏まえて、学校教育のさまざまな場面で、教育者として対応できる実践力を養う。具体的には、栄養学、生活科学、芸術学の各教科の壁を取り払ったうえで、①食とパッケージデザイン作品づくり、②自己表現の表現方法の学び、③教員としての資質向上に関する議論などを行う。履修カルテにより、教員としての実践的な能力を個別に把握し、個々の学生の教育指導力を高める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この演習では教育職という専門性の高い仕事について理解を深める。また栄養教諭になるための、実践的な指導能力を養う。教職科目のひとつであるが、生活科学科の教育目的・目標にある「実践を重視し、『健康』『栄養』の分野で活躍できる人材を育成する」点にもかかわる。みずから進んで、課題解決に努力したか、他の学生と協調してレシピや作品づくりに取り組めたか、グループ内でアイデアを出し合い、それを発表できるまでの形にできたかを問う。

到達目標

教職課程のいくつかの教科の中で総まとめの科目に相当するので、教職課程の講義や実習を総合的に振り返り、小中学校における教育の理念や、各教科の教育方法について学んだことをまとめる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	教職実践演習のガイダンスを行う。演習内容を理解し、小中学校での教育理念について理解する。	予習に90分、復習に90分。事前に配布されたプリントを熟読する。
			予習として90分、オリジナルビ

第2回	オリジナルビジョンボード	学生自身を鼓舞する思考、理想とする生き方を、一枚の模造紙に色彩豊かに表現する。	ジョンボードの作り方を配布するので、事前に写真やイラストなどを準備する。復習として90分、模造紙に自分の意見を補足する。
第3回	子どもの貧困と学校教育	現代日本社会にみられる貧困問題を確認し、学校教育の現場で貧困に苦しむ子どもたちにできる援助を考える。	予習に90分、復習に90分。事前に配布されたプリントを熟読する。
第4回	教育実習報告と意見交換①	教育実習をふり返し、学校現場で実践したこと、学んだこと、反省したこと等をまとめ、発表し、他学生と意見交換する。	教育実習ノートを見直し、反省点等を補足する。予習に90分。復習に90分。
第5回	教育実習報告と意見交換②	教育実習をふり返し、学校現場で実践したこと、学んだこと、反省したこと等をまとめ、発表し、他学生と意見交換する。	教育実習ノートを見直し、反省点等を補足する。予習に90分。復習に90分。予習に90分、
第6回	教育実習報告と意見交換③	教育実習をふり返し、学校現場で実践したこと、学んだこと、反省したこと等をまとめ、発表し、他学生と意見交換する。	教育実習ノートを見直し、反省点等を補足する。予習に90分。復習に90分。
第7回	教育実習報告と意見交換④	教育実習をふり返し、学校現場で実践したこと、学んだこと、反省したこと等をまとめ、発表し、他学生と意見交換する。	教育実習ノートを見直し、反省点等を補足する。予習に90分。復習に90分。
第8回	映画『学校Ⅱ』の視聴①	特別支援教育の実際の現場を知る。	事前に映画『学校Ⅰ』を視聴しておく。
第9回	映画『学校Ⅱ』の視聴②	特別支援教育の問題点や改善点について自分なりの意見をまとめる。	『学校Ⅱ』を通して学んだ特別支援教育についてレポートにまとめる。
第10回	合同企画「食とパッケージ」デザイン①	生活科学科の学生とアート・デザイン学科の学生が協力して、お菓子や惣菜とそのパッケージをデザインする。1回目は、グループ分けと作品の素案作りを行う。	予習に90分、復習に90分。事前に配布されたプリントを熟読する。
第11回	合同企画「食とパッケージ」デザイン②	生活科学科の学生とアート・デザイン学科の学生が協力して、お菓子や惣菜とそのパッケージをデザインする。2回目は、具体的なレシピとパッケージの形を決め、作品を仕上げるまでの計画をたてる。	予習に90分、復習に90分。事前に配布されたプリントを熟読する。
第12回	合同企画「食とパッケージ」デザイン③	生活科学科の学生とアート・デザイン学科の学生が協力して、お菓子や惣菜とそのパッケージをデザインする。3回目は、学科ごとに分かれて調理実習とパッケージづくりを行う。	予習に90分、復習に90分。事前に配布されたプリントを熟読する。

第13回	合同企画「食とパッケージ」デザイン④	生活科学科の学生とアート・デザイン学科の学生が協力して、お菓子や惣菜とそのパッケージをデザインする。4回目は、各グループが作品をもちより、発表と意見交換を行う。	予習に90分、復習に90分。パッケージデザインの合同企画をふり返りレポートを作成し、提出する。
第14回	言葉の力と教育	教育者として、伝えたり、話を聞いたり、理解を促したりするとき、教員と子どもたちのあいだにある「言葉」の秘める作用について考察する。	予習に90分、復習に90分。事前に配布されたプリントを熟読する。
第15回	演習の振り返り	教育にかかわる授業や演習をふり返り、教育実習や演習の授業等を通じて学びや気づき、教育者としての振る舞いに必要なことをまとめる。	予習に90分、復習に90分。事前に配布されたプリントを熟読する。まとめのプリントを提出する。

教科書

必要な時に提示する。

参考書

授業内で、必要な時に提示する。

成績評価の方法・基準

100点満点で、50点以上で単位認定する。形となった作品だけでなく、授業への積極的な取り組み、内容のある相手に伝わる口頭発表を評価する。

課題等に対する フィードバックの方法

口頭発表やグループ討議の結果発表を行い、演習の中で随時、教員からコメント等を伝える。この返答をもってフィードバックとみなす。質問等は演習の時間内、またオフィスアワーでいつでも受け付ける。

履修のポイント

演習科目であるため、グループ学習、口頭発表等で自分から進んで意見を述べること、他の学生たちと協力する姿勢で授業に臨むことが大切である。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みをオフィスアワーとします。9号館3階の第10研究室に来てください。

講義コード	40650001
講義名	事前・事後指導（H30入学生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C413
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	野口 周一	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習事前・事後指導は、教育実習の事前と事後に2年間を通じて行う。事前指導においては、実習を効果的なものにするために、学校組織についての学習をはじめ、心構え・態度・姿勢など、身につけておかなければならないことを中心に行う。事後指導においては、教育実習を終えての報告会を通じて、経験交流と意見交換を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的「生活空間」そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

次の4つを学習目標とします。
 ①教育実習の意義を理解すること、②教育実習についての基礎的事項（知識・技能・心構え）を理解すること、③教育実習に自信をもって臨むための準備をすること、④教育実習の経験をみんなで共有し、自分なり成果等をまとめること。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	教育実習の現実	学校とはどんなところか、教師の仕事（組織）がどのようなになっているかについて学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	教育実習に向けて	学校の教育活動の1年間（3年間も含む）を学習する。 教師の1週間および1日の教育活動について学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	学習指導要領についての学習	学習指導要領及び「解説」について学ぶ	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第4回	教材研究	指導案とは、なにかについて学習する。 指導案を作成する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	教材研究	指導案を作成する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	模擬授業	作成した指導案をもとに、模擬授業を行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	実習報告会 ①（まとめ）	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	実習報告会 ②（まとめ）	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

適宜、資料を配付します。

成績評価の方法・基準

授業時の発言、レポート。
単位認定基準60%以上

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

講義コード	40650003
講義名	事前・事後指導（H31入学生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C413
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	野口 周一	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習事前・事後指導は、教育実習の事前と事後に2年間を通じて行う。事前指導においては、実習を効果的なものにするために、学校組織についての学習をはじめ、心構え・態度・姿勢など、身につけておかなければならないことを中心に行う。事後指導においては、教育実習を終えての報告会を通じて、経験交流と意見交換を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的「生活空間」そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

次の4つを学習目標とします。
 ①教育実習の意義を理解すること、②教育実習についての基礎的事項（知識・技能・心構え）を理解すること、③教育実習に自信をもって臨むための準備をすること、④教育実習の経験をみんなで共有し、自分なり成果等をまとめること。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	教育実習の現実	学校とはどんなところか、教師の仕事（組織）がどのようなになっているかについて学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	教育実習に向けて	学校の教育活動の1年間（3年間も含む）を学習する。 教師の1週間および1日の教育活動について学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	学習指導要領についての学習	学習指導要領及び「解説」について学ぶ	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第4回	教材研究	指導案とは、なにかについて学習する。 指導案を作成する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	教材研究	指導案を作成する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	模擬授業	作成した指導案をもとに、模擬授業を行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	実習報告会 ①（まとめ）	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	実習報告会 ②（まとめ）	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

適宜、資料を配付します。

成績評価の方法・基準

授業時の発言、レポート。
単位認定基準50%以上

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

講義コード	40660001											
講義名	教育実習											
(副題)	【教職必修】											
開講責任部署	アート・デザイン学科											
講義開講時期	前期											
講義区分	実習											
基準単位数	4											
代表曜日												
代表時限												
区分	教職科目											
必修/選択	選択											
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C436											
学年	2学年											
担当教員												
<table border="1"> <tr> <th>職種</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>◎ 田口 和人</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>野口 周一</td> <td>指定なし</td> </tr> </table>				職種	氏名	所属	教員	◎ 田口 和人	指定なし	教員	野口 周一	指定なし
職種	氏名	所属										
教員	◎ 田口 和人	指定なし										
教員	野口 周一	指定なし										
授業の概要と教育目標												
教育実習事前事後指導を踏まえ、15日間の教育実習に取り組む。学校現場での教育活動全般の実際について学ぶ。 そして美術教諭として役割について、研究授業や子どもたちとの関わりを通じて学ぶ。												
卒業認定・学位授与の方針との関連												
人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的な「生活空間」そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。												
到達目標												
中学校美術教諭であることを自覚した上で、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員、の三つの観点を到達目標とします。												
授業計画												
	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間									
第1回	教育実習 (15日間)	実習校での指導の下、「主体的、対話的で深い学び」を目指す。 実習そのものが<アクティブ・ラーニング>であることを理解する。	毎日の実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なうこと。									
教科書												
なし												
参考書												
なし												
成績評価の方法・基準												

自習校での指導評価に基づく。
課題等に対する フィードバックの方法
実習ノートを返却しますので、振り返りをしっかり行なうこと。
履修のポイント
主体的、対話的で深い学びを期待します。
オフィス・アワー
火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室

講義コード	40670001
講義名	介護等体験実習（事前事後指導含む）30入
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C435
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	橋爪 博幸	指定なし
教員	野口 周一	指定なし

授業の概要と教育目標

教職免許を取得するにあたり、「社会福祉施設等において障害者、高齢者等に対する介護や介助、交流等の体験」が義務づけられています。この主旨は、教員を志望する者が介護等の体験を通じて、「個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めること」により、教員としての資質の向上を図ろうとするとところにあります。この主旨を十分に理解して、「体験実習」に望むこと。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

社会的弱者の存在や生活を認識・了解した教員像をめざすにあたり、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員、の三つの観点を到達目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	介護等体験実習 事前指導	社会福祉施設等での障害者・高齢者の実情を踏まえ、介護や介助、交流等について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第2回	介護等体験実習	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第3回	介護等体験実習	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと

			行なう。
第4回	介護等体験実習	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第5回	介護等体験実習	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第6回	介護等体験実習の報告会	5日間の体験実習について報告する。	報告の準備をする。他の報告者の話を聞く。
第7回	介護等体験実習事前指導	特別支援学校での児童・生徒の学習や生活について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第8回	介護等体験実習（特別支援学校）	特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第9回	介護等体験実習（特別支援学校）	特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第10回	介護等体験実習（特別支援学校）報告	2日間の体験実習についてレポートを提出する。	体験自習をよく振り返ること。

教科書

事前指導においては、資料を配付します。

参考書

『新版・よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会
『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』全国特別支援学校長会編

成績評価の方法・基準

体験実習先の評価による。

課題等に対する フィードバックの方法

実習ノートを返却するので、それをもとに体験実習を振り返る。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室

講義コード	40670002
講義名	介護等体験実習（事前事後指導含む）31入
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CM-C435
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	橋爪 博幸	指定なし
教員	野口 周一	指定なし

授業の概要と教育目標

教職免許を取得するにあたり、「社会福祉施設等において障害者、高齢者等に対する介護や介助、交流等の体験」が義務づけられています。この主旨は、教員を志望する者が介護等の体験を通じて、「個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めること」により、教員としての資質の向上を図ろうとするところにあります。この主旨を十分に理解して、「体験実習」に望むこと。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

社会的弱者の存在や生活を認識・了解した教員像をめざすにあたり、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員、の三つの観点を到達目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	介護等体験実習 事前指導	社会福祉施設等での障害者・高齢者の実情を踏まえ、介護や介助、交流等について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第2回	介護等体験実習	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第3回	介護等体験実習	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと

			行なう。
第4回	介護等体験実習	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第5回	介護等体験実習	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第6回	介護等体験実習の報告会	5日間の体験実習について報告する。	報告の準備をする。他の報告者の話を聞く。
第7回	介護等体験実習事前指導	特別支援学校での児童・生徒の学習や生活について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第8回	介護等体験実習（特別支援学校）	特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第9回	介護等体験実習（特別支援学校）	特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第10回	介護等体験実習（特別支援学校）報告	2日間の体験実習についてレポートを提出する。	体験自習をよく振り返ること。

教科書

事前指導においては、資料を配付します。

参考書

『新版・よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会
『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』全国特別支援学校長会編

成績評価の方法・基準

体験実習先の評価による。

課題等に対する フィードバックの方法

実習ノートを返却するので、それをもとに体験実習を振り返る。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室

講義コード	80190003
講義名	学外研修（H30年度入学生）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	5 時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	CD-C255
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし
教員	松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインや芸術に関する分野は、時代と共に変化し続けている。こうした分野を学び志す者にとって、現状把握やリサーチ作業は非常に重要であり、社会の流れを読みとる力を養う必要性は高いと言える。本授業ではこうした点を踏まえ、美術館や作家のアトリエ、イベント等に出かけ、鑑賞及び分析作業を行っていく。実際に体験することにより、将来の自分のスキルアップや、これからのアート・デザインのあり方と可能性について模索し考えるきっかけとすることが、本授業の教育目標である。

※シラバスの内容については、授業進行上の状況により変更する場合がある（実施日程等の詳細については決定次第発表）

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間の生活空間について多面的に理解し、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を深め、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる能力を養う。事前のリサーチと、現場における実際の鑑賞を通して事後の記録にまとめる。こうした作業により、分析する力や客観的な評価能力を強化することを目的としている。また、そうした経験を今後の作品制作や研究活動に活かしていく。

到達目標

- 団体行動における個人の責任について意識を高める
- 鑑賞力、分析力等を身につける
- 適確な事前リサーチと事後の資料作成能力を養う

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な 時間
第1回	オリエンテーション・	概要説明、見学する施設・地域に関す	予習90分：群馬 県内の美術関連施 設調査

	事前説明	るりサーチ	復習90分：群馬 県外の美術関連施 設調査
第2回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加高 崎市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第3回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加高 崎市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第4回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加高 崎市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第5回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加高 崎市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第6回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加高 崎市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第7回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加高 崎市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第8回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加太 田市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第9回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加太 田市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第10回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加館 林市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第11回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加館 林市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第12回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加 桐生市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
第13回	県内美術館見学、地域 イベント等への参加 桐生市内	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ やシンポジウム参加等	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
		見学後の意見交換、レポート等プレゼ	予習90分：事前 リサーチ

第14回	資料準備	ンテーション資料制作	復習90分：事後 リサーチ
第15回	プレゼンテーション	アクティブ・ラーニングの内容：パ ワーポイントや資料を用いた発表、意 見交換、総評	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ
教科書			
使用しない			
参考書			
使用しない（必要に応じて関連資料を配布）			
成績評価の方法・基準			
単位認定50点以上 プレゼンテーション50% 授業への参加度50% ※本授業は、現地での施設見学やシンポジウム等への参加と、最終日に行うパワーポイントを用 いたプレゼンテーションにより成績評価を行い、定期試験は実施しない。			
課題等に対する フィードバックの方法			
プレゼンテーション時の意見や感想、シンポジウム等で質問をした際のフィードバックを、各自 授業内容の理解に役立てる。			
履修のポイント			
交通費、入場料等は各自で負担。現地集合・現地解散が基本。見学、移動中の飲食は出来かねる ため、食事は事前に済ませること。記録やメモを取ること。積極的な姿勢が望ましい。			
オフィス・アワー			
金曜日 16:30-16:40 18:10-18:20 1号館104教室			